

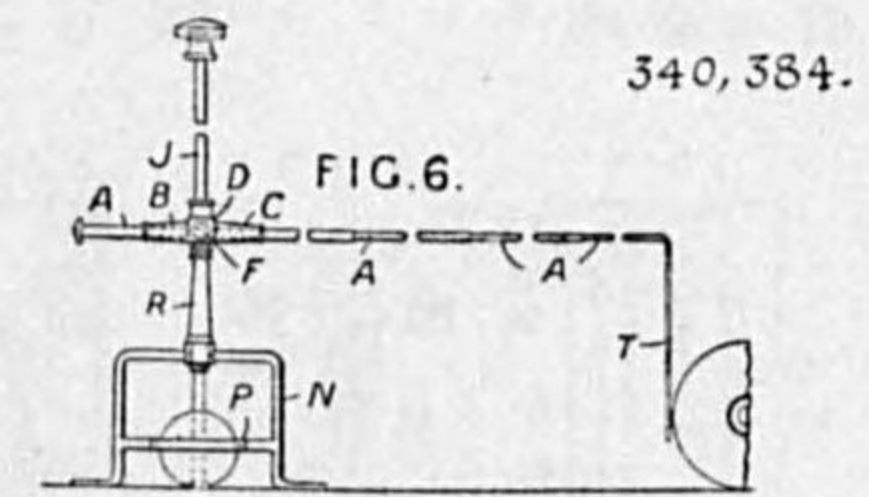
機 定 測 法 寸

英 340384 (XIX)
(Nov. 26, 1929)

線寸法ゲージ
Linear dimension gauges.

發明者
Kellar, J. D. B.,
McLaren Road, Newington,
Edinburgh.

木球「ゲーム」ニ使ハレル計測機ノ1種デ、3脚臺ヲ「チャツク」上ニ乗セ、「ピボット」サレタ計測用ノ腕ヲ使用スル。此ノ計測用ノ腕ハ望遠鏡式ニナツテキルガ、此ノ機ハ尙、「チャツク」ニ對シテ機ノ心ヲ合ハセル機構ヲ備ヘ、且身體ヲカバメズニ測定ヲ行フタメノ取手ヲモ備ヘテアル。望遠鏡式ノ腕Aハ、ソノ兩側ニ中空ノ腕B,Cヲ持ツタ「ハブ」Dヲ貫通シ、且3脚Nニ附屬スル垂直ノ軸受R内デ廻ルコトガ出來ル。部品Fハ「ハブ」Dヲ貫通シ、且互ニ直角ヲナス2ツノ方向ニ孔ガアケテアル。片方ノ孔ハ腕Aノ通路ヲナシ、他方ノ孔ニハねぢガ切ツテアツテ取手Jガ嵌マル。3脚ノ心ヲ「チャツク」ニ合ハセルタメノ環Pガツイテキル。此ノ機ヲ使用スル場合ニハ3脚ヲ「チャツク」上ニ据エ、指針Tガ「ウッド」ニ接觸スルマデ腕ヲ引出ス。取手Jヲ螺込メバ腕ガ固定セラレ、部品Fヲ「ハブ」内ニ固着セシメル。



340,384.

歪ミ測定機

發明者
Huggenberger, A.,
Zurich, Switzerland.

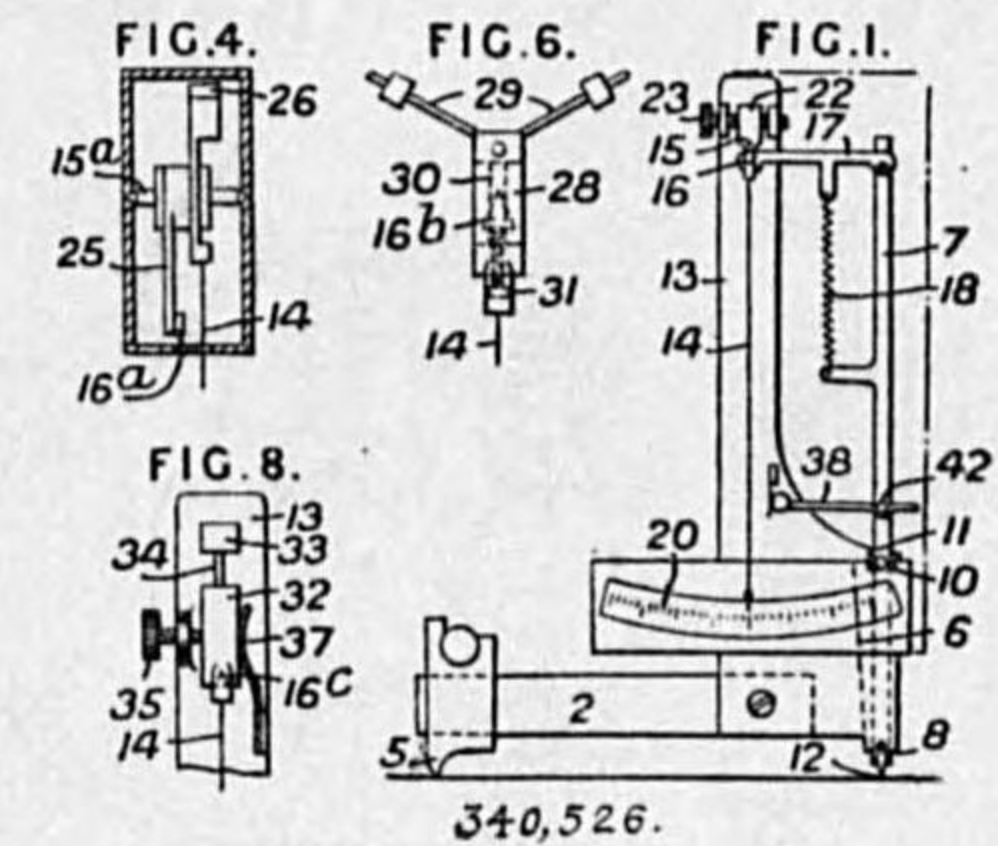
英 340526 (XIX)
(July 31, 1929)

Linear dimension gauges.

計器ト計ラルベキ物體トノ接觸點、即チ「ゲージ・ポイント」相互間ノ關係運動ガ、此等ノ「ポイント」ノ 1 ツヲ持ツ挺ニヨツテ擴大サレル型ノ「ゲージ」デ、此ノ測定機ノ本體 2 ニハ、ソノ一端ニ近ク可動式ノ「ゲージ・ポイント」5 ガアリ、尙本體ヲ支エル處ノ支エヌ保持子 8 ヲ持ツタ挺 7 ノ嵌合スル溝ガアリ、8 ノ下端ハ尖端 12 ヲナシテキル。挺 7 上ノ止メ「ピン」10 ハ本體 2 ノ上端ニアル切缺キ 11 ニ嵌マル。此ノ挺ハ發條 18 ノタメニ引張ラレ、片 7, 14 上ニアル支エヌ 16 上ニ横タハツテキル「リンク」17 ニヨツテ指針 14 ニ連結セラレテキル。指針用ノ「ピボット・ピン」15 ハ、ねぢ 23 ニヨツテ調整シ得ル片 22 内ニ挿入セラレテキル。此

ノ機構ノ代リニ、指針ヲ支エル板 13 ノ上方ニ可動部分ヲ備ヘルカ、目盛 20 ヲ適當ニ調整シ得ルヤウニ取付ケタモノデモヨイ。尙又、指針 14 ヲ「ピボット・ピン」15a (第 4 圖) 上ニ摩擦的ニ乗セテ廻轉角度ヲ調整シ得ルヤウニシ、釣合重リ 26 ヲツ

ケ腕 25 上ノ支エヌ 16a ヲ使ツテ挺 7 ト「リンク」連結ヲ行ツテモヨイ。指針 14 (第 6 圖) ハ釣合重リノツイタ腕 29 ヲ備ヘ、且ねぢ 31 ニヨツテ溝孔 30 内ヲ移動シ得ル支エヌ 16b ヲ持ツタ、「ピボット」サレタ腕 28 ニ取付ケテモヨイ。「ピボット・ピン」15 ヲ使フ代リニ、指針 14 ヲ取付ケタ腕 32 (第 8 圖) ヲ屈撓性ノ薄片 34 ヲ介シテ棒 13 上ノ出張リ 33 デ支持シテモヨイ。此ノ場合ニ、腕 32 ヲねぢ 35 ノ先端ト發條 37 トノ間ニ挟ミ、「リンク」17 ニ穿タレタ切缺キニ嵌合スベキ支エヌ 16c ヲ備ヘルヤウニスル。本機ヲ持運ビスル場合ニ、挺 7 ガ動搖スルノヲ防グタメニ、發條デ押サレタ腕 38 ヲ振ラセテ挺



(174)

上ノ「ピン」42ニ嵌合セシメル。尙之ニ代ルベキ「カム」ト溝孔式ノ鎖
定機構モ記載シテアル。

(175)

ねぢ検査器

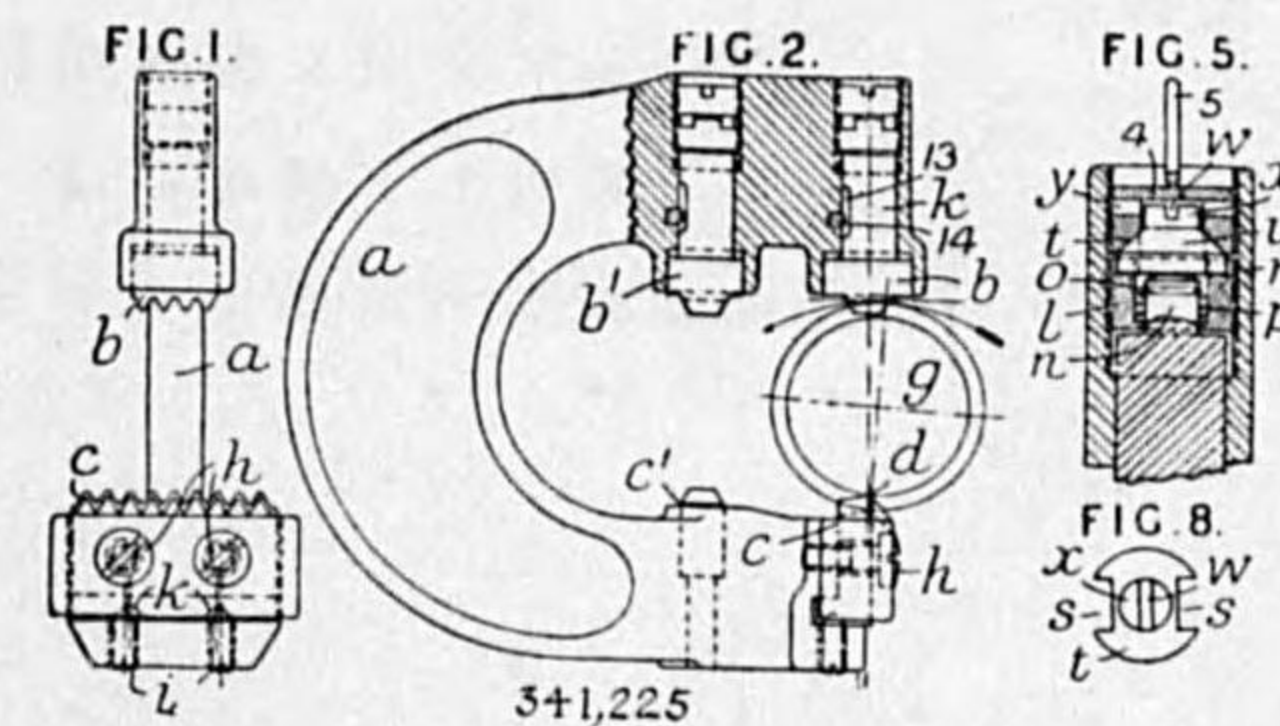
英 341225 (XIX)
(Dec. 6, 1929)

Screw thread gauges

發明者
Stock & Co.
Marienfelde, Berlin.

「ゴ-」ト「ナツト・ゴ-」カリバス式ノ特殊ナ構造ヲ持ツタねぢ検査器デ、ソノ接觸面ハ螺山ノ断面ヲ持ツテキル。弓形「フレーム」*a*ニハ、通リ「ゲ-ジ」ト、止リ「ゲ-ジ」トヲナス處ノ各1對ノ爪 *b*, *c*ト *b'*, *c'*トガ備ヘテアル。爪 *c*ハ傾斜面ヲナシ、ソノ突端ガ *d*デアリ、之ニ對應スル爪 *b*ハ平デ、検査スベキ「ボルト」ノ谷底ノ圓ニ接線ヲナスヤウニ置カレテアル。「ボルト」ハ突端 *d*上ニ置カレ、爪 *b*ノ間ヲ滑ツテ通サレル。爪 *b*ハ僅バカリ廻ルコトガ出來ルヤウニナツテアリ、柄 *k*ニハ平面ヲナスヘコミ13ガアリ、ソノ内ニ「フレーム」*a*デ保持サレタ「ピン」14ガ突出シテキル。爪 *c*ハ、之ニ穿タレタ圓錐形ノヘコミニ嵌マル2本ノ押シねぢ *i*ニヨツテ、「ボルト」ノ軸線ニ平行ノ方向ニ

調整スルコトガ出來ルノデアツテ、ヘコミノ中心距離ハねぢ *i*間ノ距離ヨリモ僅ニ小サクシテアル。爪ヲ「フレーム」ニ固定スル押シねぢ *h*ニハ僅少ノ遊びガアル。鎖定用嵌メ管



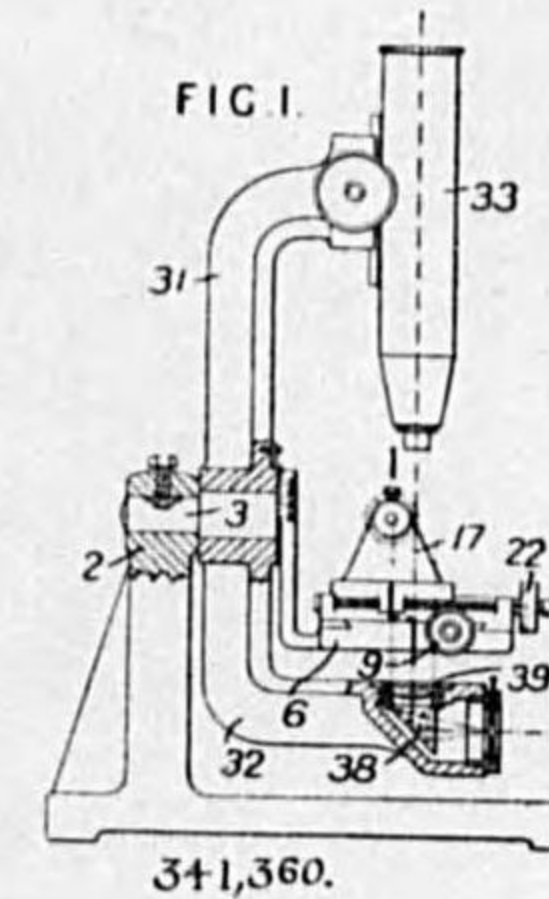
「フレーム」*a*中ニ螺込マレ、ソノ下端ニハ發條 *p*ノ受台ヲナス内
向ノ鏝ガアリ、發條 *p*ノ他端ハ柄ノ「ピボット」部ニ穿タレタ溝 *o*ニ
ハマル。嵌メ管 *l*ノ上端ニハ齒 *r*ガアリ、推力部分 *t*ノ溝 *s*中ニ
突出シテアリ、*t*ハ圓錐形ヲナシ、體中ニ螺込マレタ調整用嵌メ
管 *u*ノ圓錐形ヘコミニ吻合シ、ねぢ廻シ用ノ溝孔 *y*ヲ持ツテキル。
推力部分 *t*ノ「ピボット」部 *x*ニハねぢ廻シ用ノ溝 *w*ガアル。封緘用
ノ座金 *4*ヲ最後ニ「フレーム」中ニ螺込ミ、細イ指片 *5*ヲ折取ル。座
金ヲ螺込ンダ後ノ残りノ部分ニハ封緘劑ヲ填充スル。

英 341360 (XIX)
(April 23, 1930)

外形検査器
Outline gauges

發明者
Zeiss, C.
Jena, Germany

顯微鏡ヲ使ツテねぢヲ検査、計測シ、ねぢノ軸線ニ對シテ、ねぢト同ジ角度デ傾イテキル光線デ之ヲ照ラサンガタメニ、檢鏡臺6ニハ計測サルベキねぢヲ支持スル軸受17ガアリ、後者ハ檢鏡臺上ヲ、互ニ直角ヲナス2ツノ方向ニ移動スルコトガ出來ル。ねぢノ端ハ「フレーム」31, 32上ニ乗セラレタ反射鏡38ト「レンズ」39トニヨツテ下方カラ照ラサレル。「フレーム」31, 32ニハ又顯微鏡ノ筒ガツイテキル。此ノ「フレーム」ハ檢鏡臺6ヲ支持シ、且ツ「スタンド」2ニ螺込マレテキル支柱3上ニ「ピボット」サレテキル。測定「ヘッド」9, 22ガ、計測用トシテ、軸受17ノ送りねぢニ取付ケテアル。此ノ裝置ニヨレバ、視視機構ヲ照明用光束ト同心的ニ保チナガラ、ねぢニ對シテ照明光線ノ傾キノ角度ヲ變ヘルコトガ出來ル便ガアル。



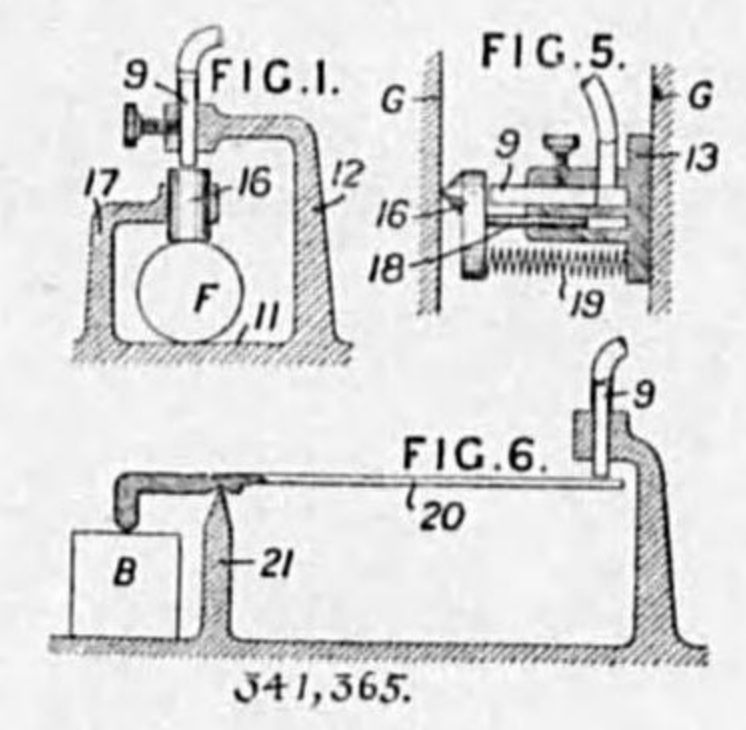
英 341365 (XIX)
(April 30, 1930)

ゲージ
Gauzing apparatus

發明者
Soc. Anon. de Construction de
Material Automobilee, Paris.

一定壓力ヲ受ケテ流動スル流體中ニ並ベラレタ 2 個ノ流レ口ノ内、第 2 番目ノモノノ断面又ハ流出量ヲ測定スル(横面積ハ 2 個ノ流レ口間ノ壓力ヲ計レバ定メラレル)コトニヨツテ、物體ノ大サヲ計測スルトイフ親明細書ニ記述サレタ方法及ビ裝置ニ關聯シタモノデ、豫定シタ高サ、長サ及ビ形狀ヲ持チ、ソノ一方ノ面ハ流體ノ出口ニ對向シテヨリ、他方ハ計ラントスル物體ト接觸スルヤウニ、適當ニ形ヅクラレタ處ノ補助部品ヲ備ヘテキル。第 1 圖ニ示シタ型デハ、板 11 上ニ乗ツテキル圓筒 F

ガ計測サレル品物デア。壓力アル空氣ノ出口 9 ハ板 11 カラ上ニ延ビタ支エ腕 12 中ニ支持セラレ、支エ腕 17 中ヲ滑ル圓筒 16 ガ補助部品ヲナス。此ノ型ハ 3 角柱又ハ 6 角柱ヲ計測スルノデアツテ、圓筒 16 ノ底ガ柱體ノ稜ニ接觸スル。他ノ型デハ圓筒 16 ノ底ガ圓錐形ヲナシ、計測シヨウトスル物體ノ斜面ニ接觸スル。第 5 圖ニ示シタ型デハ、圓筒 G ノ内徑ヲ測定スル。片 16 ニハ案内 18 ガアリ、發條 19 ニヨツテ突張 13 カラ押出サレル。出口 9 ハ此ノ突張ニ取付ケテアリ、後者ハ圓筒ノ底ニ沿フテ動クヤウニ取付ケラレル。第 6 圖ニ示シタ型デハ、補助部品ハ、支エ又 21 デ支エラレ、1 端ガ品物 B ニ接觸シ、他端ハ流レ口ニ對向スル挺 20 ノ形ヲナシテキル。尙ホ他ノ型デハ、出口 9 ハ圓錐形ヲナシ、親明細書ノ第 6 圖ニ關シテ記述シタ型ト相似ノ方法デ、挺ノ 1 端ニ作用スル。何レノ型デモ、壓力計ガ 2 ツノ並ンデキル流レ口ノ中間ニ連結セラレ、警報機ヲ持ツ遠距離指示用ノ電路ヲ閉ヅルタメノ電氣接觸點ヲ備ヘルカ、壓力計ノ一方ノ脚中「フリント」或ハ電導液デ接觸ガ行ハレル或裝置ヲ操作スベキ電氣接觸點ヲ備ヘルコトガ出作ル。



341,365.

英 342002 (XIX)
(Nov. 2, 1929)

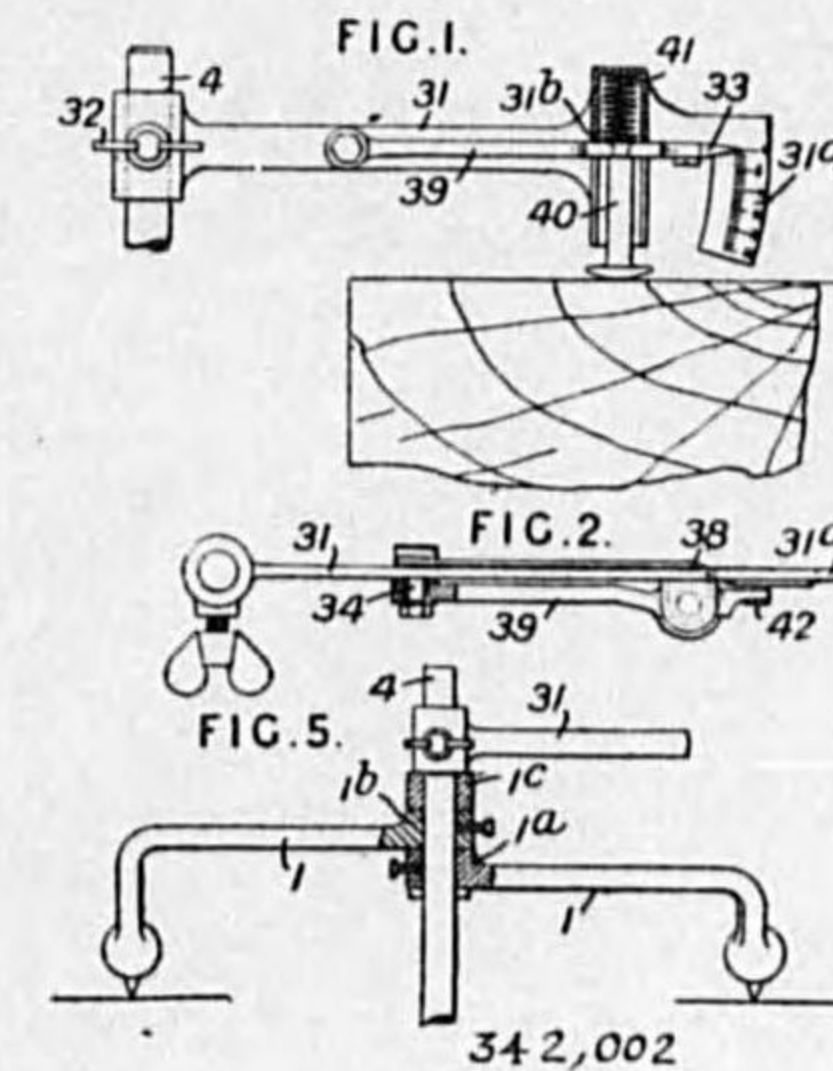
撓度計
Linear-dimension gauges

發明者
Lemaire, M. H.
Nord, France

親明細書ニ記述サレタ撓度計ヲ變形シテ、垂直ノ柱上ヲ動クコトガ出來ルヤウニ取付ケラレタ1本ノ腕ニ「ピボット」サレタ挺上ニ、發條デ押サレル接觸棒ヲ乗セ、摩擦的ニ支持セラレル指針ヲ、上記ノ棒デ動カスヤウニ裝置シタモノデアル。垂直棒4ノ周リヲ廻リ得ルヤウニ乗セラレ、且ツ押シねぢ32ニヨツテ任意ノ角度ヲナシテ之ニ締付ケラレル處ノ腕31ノ1端

ニ、目盛部分31aト、發條41ヲ收メタ函31bトヲ持ツテヨリ、發條41ノ彈力ハ、水平ナ接合部34上ニ、僅少ノ摩擦ヲ以テ支持セラレタ腕39上ニ働ク、針33ハ、腕31ノ背面ニアル同ジ接合部ノ周リヲ摩擦的ニ動キ、38ノ部分デ曲ゲラレテ、ソノ先端ハ目盛31a上ヲ動クヤウニナツテキル。指針上ノ止メ42ハ腕39ニ接觸スル。後者ニハ發條41ニヨ

ツテ壓下セラレテ、枕木ニ接觸スル處ノ棒40ガツイテキル。枕木ガ撓ム時ハ棒40ガ下リ、之ニ連レテ指針ヲ押下ゲ、後者ハ摩擦ノタメニソノ位置ニ留マツテ、最大撓度ヲ指示スル。棒4ハ3脚デ支持セラレ、脚ヲ持ツ腕1(第5圖)ニハ、棒4上ニ重ネラレ、之ニ固定セラレテキル處ノ環1a, 1b, 1cガツイテキル。1本ノ水平棒ニ同時ニ數本ノ枕木ニ接觸スル處ノ、數本ノ腕31ヲ支持サセルコトモ出來ル。



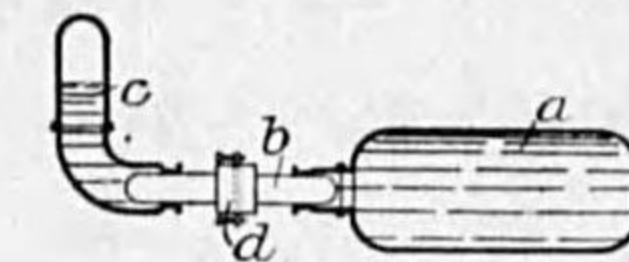
342,002

英 342378 (XIX)
(Nov. 6, 1929)

中空品ノ製作中ノ試験
Testing hollow-ware during
Manufacture

發明者
Vereinigte Stahlwerke Akt.-Ges.
Düsseldorf, Germany

親明細書ニ記載サレタ、非常ナ變形ニ堪エ得ル鐵及ビ鋼製品ノ
製作法ニ關聯スル考案デ、試験荷重トシテ、少ナクモ部分的ニ、
衝撃或ハ振動ヲ加ヘル方法デアアル。試験ス
ベキ中空體 *a* ニ流體ヲ充タシ、之ニ「ブラン
ヂャ」*b* ノ一端ヲ作用セシメル。*b* ノ他端ハ
氣室 *c* 内ノ壓縮空氣ノ作用ヲ受ケル。「ブラ
ンヂャ」ニハ電氣的ニ動かサレル廻轉體 *d* ガシツカリ固定シテア
リ、*d* ハ、既ニ世間ニ知ラレテキル通りノ状態ヲ以テ、「ブランヂ
ャ」ニ縦方向ノ振動ヲ附與スルノデアアル。



342,378.

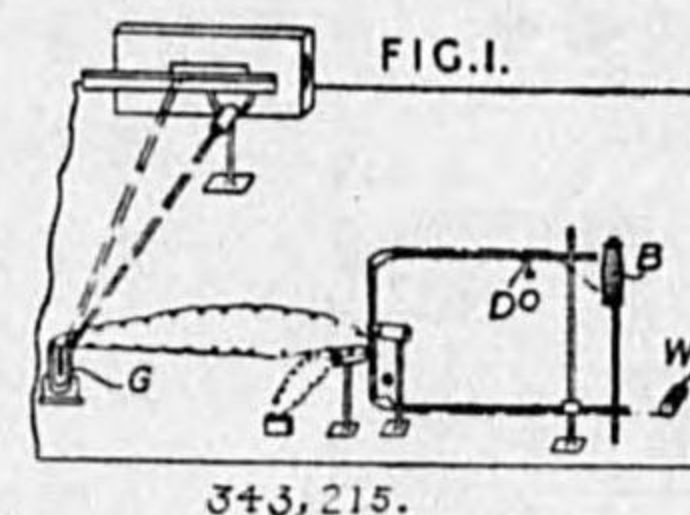
英 343215 (XIX)
(Dec. 4, 1929)

「フィラメント」等ノ太サヲ検査スル装置
Gauging-apparatus

發明者
Whitehead (Laister-Dyke), Ltd.
Bradford, Yorkshire

「フィラメント」等ノ規則正シサヤ、週期的變化ハ、之ニ一定ノ張力ヲカケテ熱電堆ノ溝孔ノ前ヲ動カシ、副射熱ヲ遮ツテ測ルコトガ出來ル。熱源トシテハ、蓄電池カラ電流ヲ供給セラレル「ランプ」ヲ用ヒ、之ヲ水「ジャケット」ノツイタ管内ニ挿入シ、管ノ一端ニ熱電堆ト調整シ得ル溝孔ヲ取付ケル。熱電堆

ヲ電流計 G ニ連結シ、ソノ讀ミヲ取ルカ、出來ルナラバ、廻轉「ドラム」ヲ使ツテ「フィルム」ニ撮影スルガヨイ。ソノ結果ハ、第2ノ「ドラム」ト尺度トノ助ケヲカリテ計測



343,215.

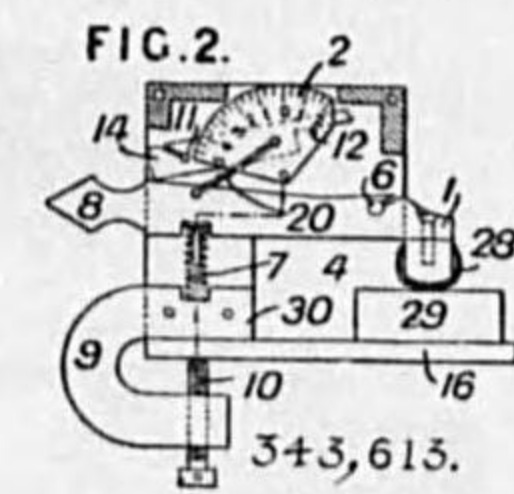
スル。「フィラメント」等ハ木管 B カラ出テ張力装置 D^o ヲ通り、轉子及ビ紐孔ヲ通過シテ時計仕掛等ニヨツテ廻サレル「ドラム」 W ニ達スル。2個ノ熱電堆ヲ直角ニ並べ、出テ來ル電流ヲ組合ハセテモヨク、1個ノ熱電堆ヲ「フィラメント」等ノ軸線ノ周リニ廻轉サセテモヨイ。

英 343613 (XIX)
(Nov. 27, 1929)

印刷版ノ高サヲ測ル「ゲージ」
Linear dimension gauges

發明者
Geiger Ges.,
Stuttgart, Germany

印刷版ノ丈ノ低イモノヲ所要ノ高サニ上ゲルノニ必要ナ「バック
ン」ヲ計ル「マイクロメーター・ゲージ」ハ、發條ノ作用ヲ受ケル感觸子
カラ成リ、ソノ一方ノ腕ハ計ラルベキ物體ニ接觸スルヤウニ、他
方指示機構ニ連結サレタ方ノ腕ハ取手ニナツテキル。挺 1, 8 ハ、
此ノ裝置ノ兩壁 4 ノ間ニアル耳軸 6 上ニ「ピボット」サレ、發條 7 ノ
作用ヲ受ケル。「ピボット」11 上ニ乗セラレタ挺
14 ノ一端ハ、腕 8 上ニ來リ、他端ハ「ピボット」サ
レタ扇形指示板 2 ニツイテキル「ピン」12 ニ接觸
スル。扇形指示板 2 ノ目盛ハ側壁ノ上部ニアル
間隙カラ見エ、讀ミハ函ノ頂ニアル固定ノ記號
ニ一致シタ所ヲ探レバヨイ。扇板指示板ト腕 8 トニ連結セラレタ
發條 20 ハ各部分ノ「ガタ」ヲ吸收スル。取換ヘノ出來ル「セルロイド」片
28 ガ、挺ノ感觸子ガツイタ方ノ端ニ固定セラレル。取手 8 ヲ押下
ゲテ標準版 29 ヲ版締付用板 16 ノ上ニ乗セル。此ノ板 16 ニ、此ノ裝
置ガ弓 9 トねぢ 10 トデ締付ケラレテキル。次ニ標準版ノ代リニ、
高サヲ計ルベキ版ヲ置キ、指示目盛ノ差ヲ求メル。垂直面 30 ハ版
ノ側面ノ角度ヲ検査スルノニ使ハレル。



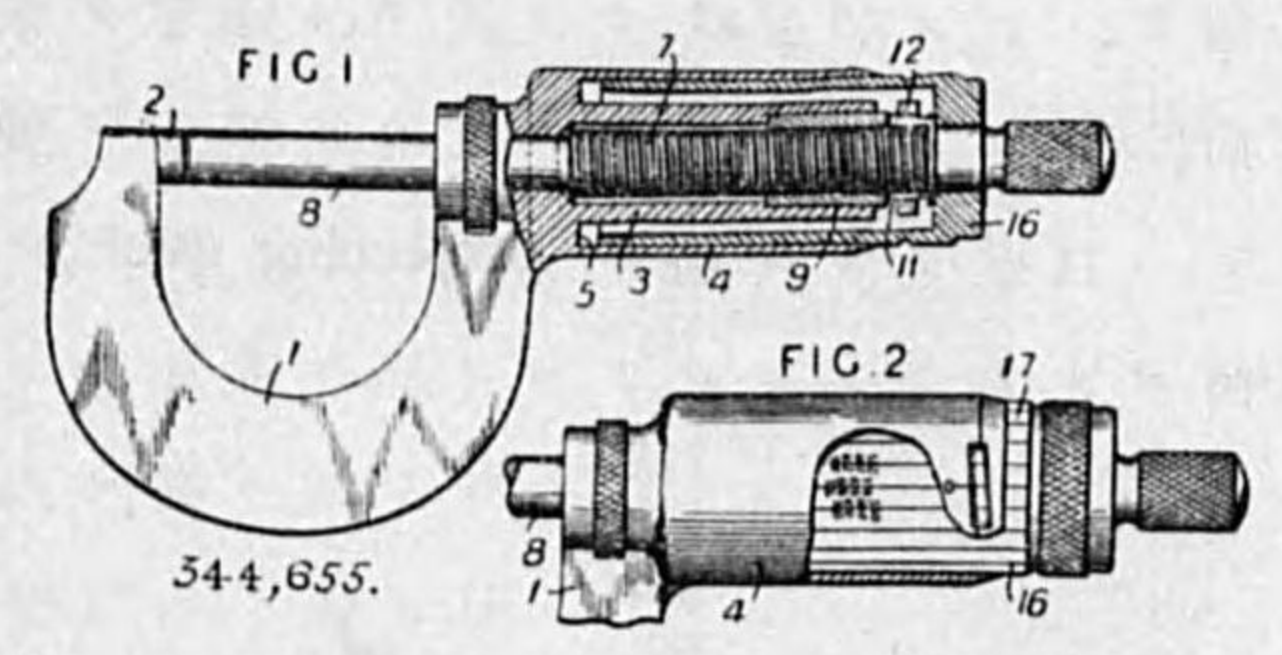
英 344655 (XIX)
(March 1, 1930)

線寸法「ゲージ」
Linear-dimension gauges

發明者
Mizzy, A. D. (米)
(Assignee of Favori, W.E.)

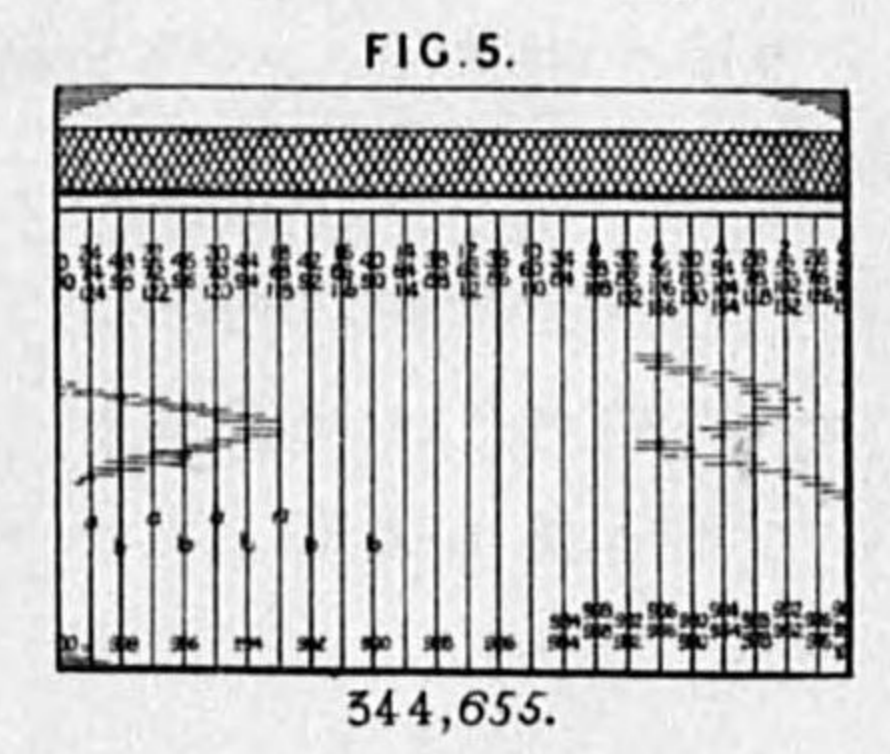
直讀ミ「マイクロメーター」ガ、ねぢ及ビ廻轉スルコトノ出來ル筒ヲ包含シ、筒ハ、ソノ周圍ニ、次ノヤウナぜんまい曲線ニ沿ツテ番號ヲ附ケタ。軸方向ノ目盛ヲ持つテキル。即チ、目盛ハ、ねぢノ「ピッチ」ト等シイ「ピッチ」ヲ有スルぜんまい曲線ニ沿ツテ番號ヲ附ケテアル。ソシテ、ソノ番號ハ、1ヨリモ大キイ公差ヲ持つ等差級數ニナツテキテ、之ヲ目

盛ニ應用シテアル。尙、目盛ノ數ハ、公差ノ倍數ニナラナイヤウニシテアル。普通ノ弓1ハ、一方ノ端ニ金數2ヲ、モ一方ノ端ニ2ツ



ノ同必圓筒3,4ヲ持つテキル。圓筒間ノ隙間5ニハ、目盛ヲシタ筒16ガ働ライテオル。ノコ筒16ハ、「マイクロメーター」ねぢ7ニシツカリト取り附ケテアル。ソノ「マイクロメーター」ねぢ7ハ、内側ノ圓筒内ヲ通ツテ、棒8ニ終ツテキル。(圓筒3ノ外側ノ端ハ、勾配ねぢ山11ヲ備ヘタ溝附「ナット」9ヲ有シ、ねぢ山11上ニハ、加減「ナット」12ガアツテ、摩耗ニ應ズル。)筒16ハ、25本ノ軸方向線17ヲ備ヘ、ねぢハ、1「インチ」ニ付40ノねぢ山ヲ備ヘテキル。1ツノ目盛カラ

次ノ目盛マデノ角運動デ、棒8ハ、軸方向ニ1/1000"ダケ動ク。1ツ置キノ目盛ニ、連續的ニ、次ノヤウナぜんまい曲線ニ沿ツテ番號ヲツケテアル。即チソノぜんまい曲線ハ、ねぢノ「ピッチ」ト等シイ「ピッチ」ヲ持つテキル。ダカラ目



盛ガミンナ番號ヅケラレルニハ、2回路ノぜんまい曲線ガ必要デアル。第1回路ニハ、番號ハ、0, 2, ..., 24ト續キ、第2ノ回路ニ

(190)

ハ 26, 28, &c ト續イテ、第 1 回路ニ番號ヲツケテナイ目盛ヲ取ル。隨ツテ、數字ヲ置クニ有効ナ軸方向距離ハ $1/20''$ ニナル。之ハ、讀ミヨイ大キサデアル。(筒上ニ奇數ノ目盛ガアルナラバ、ねぢノ他ノ「ピッチ」ヲ用ヒルトヨイ)。又、ソノ場合、3 番目ゴトノ目盛ニ番號ヲ附ケルトスレバ、25 本ノ目盛ガミンナ番號ヲ受ケルマデニハ筒ハ 3 廻リシナケレバナラナイ。コノ發明ハ、次ノヤウニスレバ通常ノ標準「マイクロメータ」ねぢ「ゲージ」ニ應用スルコトガ出來ル。即チ、ソノ目盛ヲシタ筒ヲ、通常ノ嵌メ輪ニシツカリト取り付ケ尙、「フレーム」ニ、次ノヤウナ第 2 ノ筒ヲ「クランプ」スルトヨイ。即チ、目盛ヲシタ筒ニ **projecting over** シ、尙割出標ヲ有スル第 2 ノ筒ヲ「クランプ」スルトヨイ。

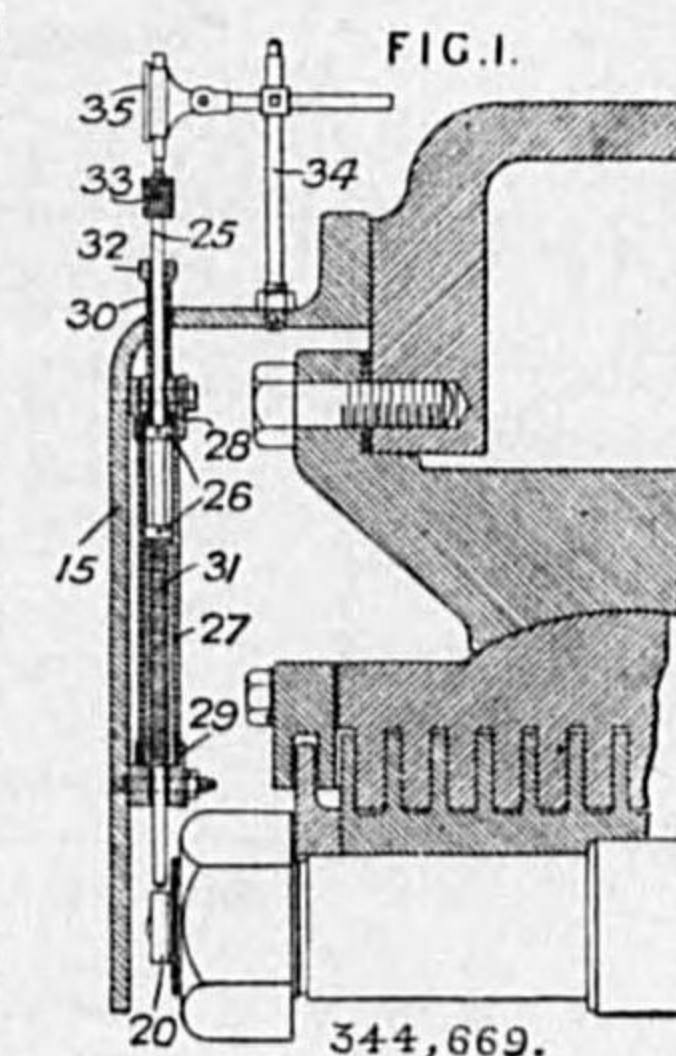
(191)

英 344669 (XIX)
(March 10, 1930)

線寸法「ゲージ」
Linear dimension gauges

發明者
British Thomson-Houston Co.,
Ltd. (英)
(Assignees of Roberts, J. L. (米))

「タービン」或ハ他ノ廻轉軸ニ用フル偏心距離「インデケータ」ヲ「ロータ」ノ近クニ取り附ケ、次ノヤウナ中間組子ヲ備ヘル。即チ、ソノ中間組子ハ、**離サントスル偏ラセ手段ニ反對シテ**、手デ「ロータ」ノ表面ニカカラセルコトガ出來ル。圖示シテアル例ニ於テ、同心ノ表面ハ圓板 20 デ作ラレル。圓板 20 ハ、「ロータ」ノ端ニアル凹ミニハ入ルヤウニ圓錐形ニナツテキテ、「ボルト」デ「ロータ」ニシツカリト取り附ケラレル。棒 25 ハ、圓板ノ周圍ノ近クカラ、覆ヒ板 15 ノ頂上ヲ通シテ、「ロータ」ニ對シテ直角ニ延ビテキル。ソシテ、案内管 27 内デ溝ニ滑リ枕 26 ヲ持ツテキル。コノ案内管 27 ハ、覆ヒ 15 へ締着セシメタ臺 28, 29 へネデコンデア。上ノ臺 28 ニハ、ソノ中ニ嵌メ管 30 ヲネデコンデアリ、嵌メ管 30 ハ延ビテキテ、コノ延長ガ、上ノ滑リ枕 26 ニアタルノニ適應スル。



棒 25 ノ下端ハ、臺 29 ヲ通シテ突き出テキル。ばね 31 ハ、下ノ滑リ枕 26 ヲ推シツケテ、上ノ滑リ枕ガ嵌メ管 30 ニアタルヤウニスル。摺ミ部分 32 ハ、嵌メ管ヲ廻シテ、棒 25 ト圓板 20 ノ表面トノ隙間ヲ加減スル役目ヲ有シ、又、棒上ノ摺ミ部分 33 ハ、手デ棒ヲ圓板ニ接觸スルヤウニ推シ付ケル助けニナル。振レ「インデケータ」35 ヲ、加減シテ棒 34 上ニ支持シ、接觸「ブランジャ」ガ 33 ノ部分ニカカルヤウニスル。使用ニ際シテ「タービン」ヲ徐々ニ始動セシメル時ニハ、「タービン」ガ全荷重ニナツテモ安全ニナルマデ、棒 25 ヲ折々下方ニ動かス。

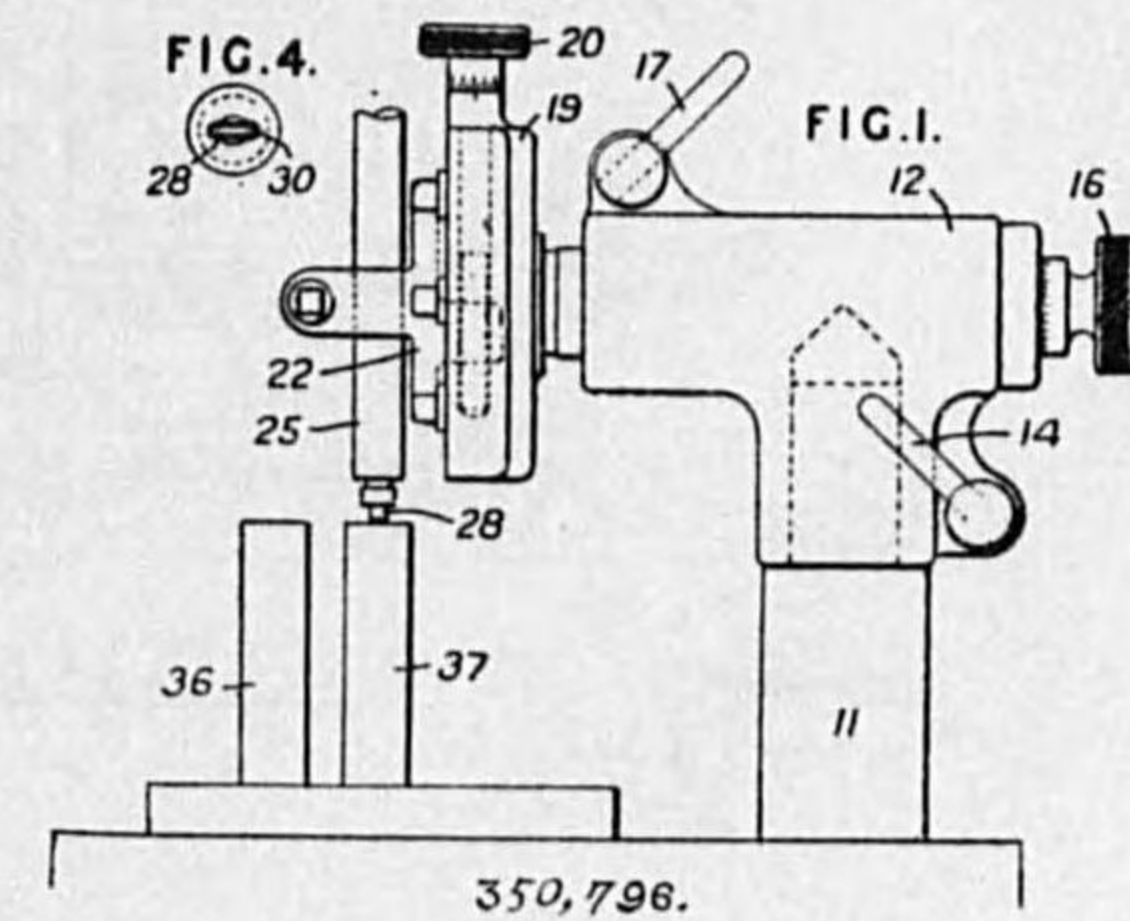
英 350796 (XIX)
(July 30, 1930)

線寸法ノ檢量
Gauging linear dimensions

發明者
Landis Tool Co. (米)
(Assignees of Steiner, A. P. (米))

コノ發明ハ、次ノヤウナ種類ノ線寸法檢量装置ニ關スルモノデア
アル。即チ、コノ装置ハ、1ツノ「ノズル」ヲ包含シ、コノ「ノズ
ル」ヲ通ツテ、壓力流體ガ流レル。ソシテ、ソノ「ノズル」ノ下ニ置
イタ工作物ノ大キサノ變化ガ、流レノ割合ノ變化ヲ起コシ、コ
ノ變化ヲ、壓力計ニヨツテ指示スル。而シテ、「ノズル」ハ、「ベース」

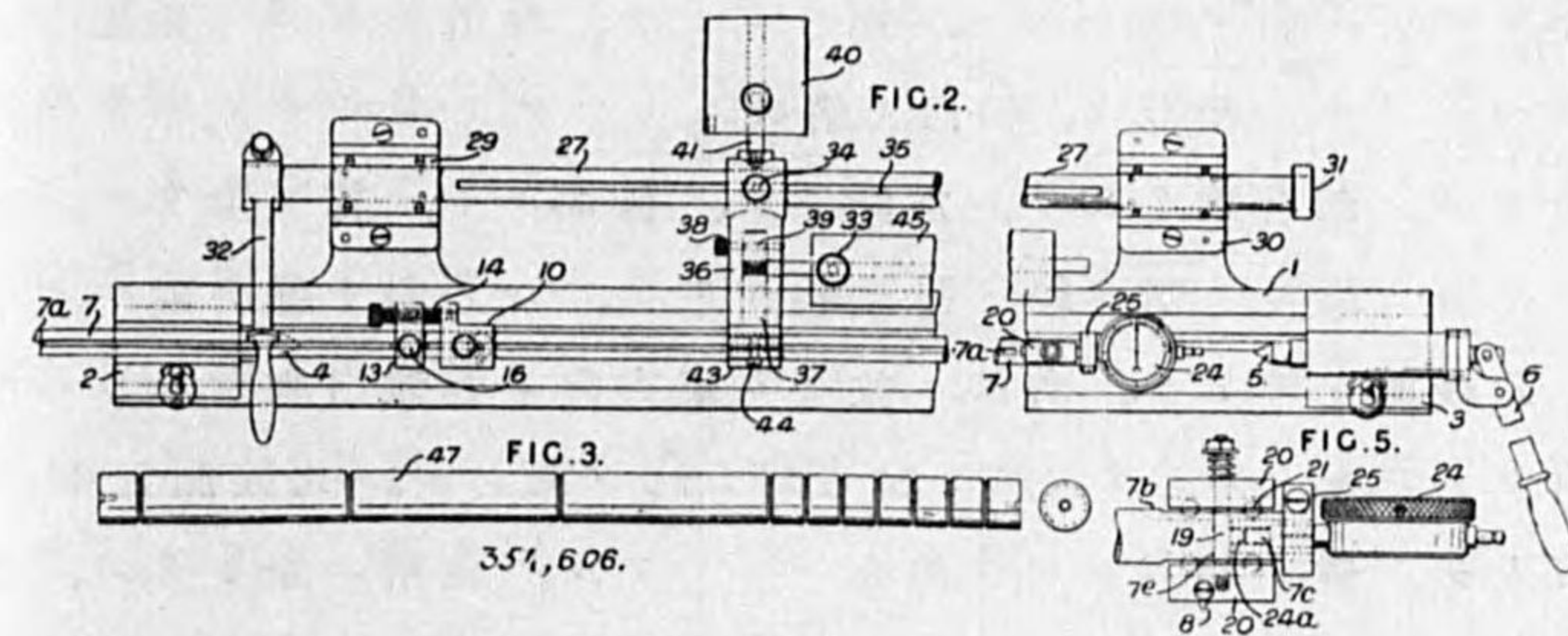
カラ突出シテキル可動腕上ニ
据エ附ケ、尙、檢量スベキ表
面ニ關シテソノ「ノズル」ノ位
置ヲ定メルタメノ、精密調整
装置ヲ備ヘテアル。腕12ハ、
柱11ノマワリニ振り、「ハンド
ル」14デ緊メ附ケル。又コノ
腕ハ、支エ腕19ヲ支持シテア



リ、支エ腕19ハ、ねぢ16デ水平方向ニ加減スルコトガ出來、「ハン
ドル」17ニヨツテ緊メ附ケル。ツマミ金22ハ、支エ腕19内ノ滑り子
ニ沿ツテ、ねぢ20デ、豎方向ニ動カスコトガ出來ル。ソシテ、コ
ノツマミ金ニ、管25ヲ緊メ附ケテアリ、管25ノ端ニ、引き延バシ
タ形 (elongated shape) 30ヲシタ、第4圖、「ノズル」28ヲ支持シテア
ル。管25ノ上端ニハ、T接手(書イテナイ)ヲ取り附ケ、ソノT^{ツギ}接手
ノ1ツノ水平腕ハ、壓力流體ノ源へ連結シ、モ1ツノ腕ハ、壓力
計ニ連結スル。ソシテコノ壓力計ハ、「ノズル」ガ工作物36, 37上
ヲ動カサレル場合ニ、ソノ「ノズル」ヲ通ル流體流レノ割合ガ變化
スルノヲ指示スル。

英 354606 (XIX) **ね ぢ 山 「ゲ ー ジ」** 発 明 者
 (Sept. 26, 1930) Screw thread gauges Easterbrook, Allcard, & Co., Ltd.
 and Inger, J. W. England

ね ぢ 山 ヲ ハ カ ル ノ ニ、 ソ ノ 「ピ ッ チ」 ヲ 次 述 ノ ヤ ウ ナ 基 準 棒 ト 比 較
 ス ル。 ソ ノ 方 法 並 ビ ニ 装 置 ヲ 包 含 ス ル。 即 チ、 基 準 棒 ハ、 2 ツ ノ
 突 起 針 (stylo) ヲ、 既 知 ノ 距 離 ダ ケ 離 シ テ 据 エ 附 ケ タ モ ノ デ 出 來 テ オ
 リ、 突 起 針 ノ 1 ツ ハ、 動 ク コ ト ガ 出 來、 「イ ン デ ケ ー タ」 ニ 連 結 シ テ
 ア ル。 ソ シ テ、 試 験 セ ン ト シ テ キ ル ね ぢ 山 ニ、 コ ノ 2 ツ ノ 突 起 針



ヲ ア テ ル ト、 ソ ノ 變 量 ガ 「イ ン デ ケ ー タ」 ニ 示 サ レ ル。 ベ ー ス 板 1 ハ
 主 軸 臺 及 ビ 心 押 臺 2, 3 ヲ 備 へ、 主 軸 臺 及 ビ 心 押 臺 ハ、 ソ ノ 「セ ン タ」
 4, 5 ヲ 支 持 シ テ キ ル。 ソ シ テ、 「セ ン タ」 5 ハ、 挺 6 ヲ 用 ヒ テ 加 減
 ス ル コ ト カ 出 來 ル。 「セ ン タ」 ハ、 必 要 ガ ア レ バ、 V 臺 ト 置 キ 換 へ テ
 モ ヨ イ。 比 較 測 定 棒 7 ハ、 殆 ン ド ソ ノ 全 長 ニ ワ タ ッ テ、 「キ ー」 溝 7a
 ヲ 備 へ テ キ ル。 コ ノ 棒 ノ 一 方 ノ 端 ノ 部 分 ハ、 2 ツ ノ 向 ヒ 合 ハ セ ニ
 ナ ッ タ V 7b ヲ 持 ッ テ キ ル。 コ ノ 端 ハ、 7c ノ 所 デ 錐 モ ミ シ テ ア リ、
 又 割 ッ テ ア ッ テ、 「ダ イ ヤ ル ・ イ ン デ ケ ー タ」 24 ノ 心 棒 ヲ 受 ケ ル。 「ダ
 イ ヤ ル ・ イ ン デ ケ ー タ」 ノ **feeder** ハ、 「ボ ル ト」 19 ニ カ カ ッ テ オ リ、 「ボ ル
 ト」 19 ハ、 溝 孔 7c ヲ 通 ッ テ、 頂 上 板 及 ビ 底 板 20 ヲ 連 結 シ テ キ ル。
 板 20 ト V ト ノ 間 ニ ハ 球 21 ガ ア ル。 心 棒 24 ハ、 割 罫 25 デ 締 メ 附 ケ
 ル。 底 板 ガ、 動 ク コ ト ノ 出 來 ル 突 起 針 8 ヲ 支 持 シ テ キ ル。 モ 1 ツ
 ノ 突 起 針 ハ、 板 10 ニ 支 持 サ レ テ オ リ、 板 10 ハ、 滑 ル コ ト ガ 出 來 ル

(196)

ヤウニシテ、棒7ニ「キ」シテアリ、又細目ねぢ14ニヨツテ、板13ニ連結シテアル。コノ板13モ亦同様ニ、棒7上ヲ滑ルコトガ出来ル。軸27ハ、自由ニ廻轉スルコトガ出来、又縦ニ滑ルノデアルガ、之ハ、柱29, 30内ノ球入軸受内ニ据エ附ケテアル。ソノ一方ノ端ニハ止メ31ガアリ、モ一方ノ端ニハ、手働挺32ガアル。軸27上ニハ、嵌メ管33ヲ据エ附ケテアリ、嵌メ管33ハ、軸27内ノ「キ」溝ニハマツテキルねぢ34デ、廻轉シナイヤウニシテアル。嵌メ管上ニ作ツテアル出ツ張り36ハ、錐モミシテ、軸37ノタメノ軸受ニコシラヘテアル。軸37ハ、軸内ノ溝39ニハマツテキル「ピン」38デ保持シテアル。釣合重り40ヲ、加減シテ、植「ボルト」ニ締メ附ケル。軸17ノ一方ノ端ニハ割リ締メ附ケ43ガアリ、コノ割リ締メ附ケノ中ニ、比較測定棒7ヲ、角的ニ並ビニ縦方向ニ加減出来ルヤウニ据エ附ケテアル。ソシテ、之ヲねぢ44デ締メ附ケル。比較測定棒ハ、軸37上デ、錘リ45ニヨツテ釣合ハシテアル。使用ニ際シテハ、基準棒47ヲ、「センタ」4, 5ノ間ニ置キ、突起針ヲ、希望ノ標準ノ長さニ相應スル溝ニ位置セシメル。板10デ支持サレテキル突起針ヲ「ダイヤル・インデケータ」ノ讀ミガ零ニナルヤウニ、ねぢ14デ加減スル。ねぢ16ヲシツカリト締メ、手働挺32ヲ働ラカセテ、突起針ヲ外ス。今度ハ、比較スベキ工作物ヲ棒47ト取り換へ、突起針ヲ、コノ工作物上ニオロス。「ダイヤル・インデケータ」ハ、標準カラノ如何ナル變量ヲモ示スダラウ。突起針ヲ上ゲテ、棒27ヲ滑ラズレバ、突起針ヲ、種々ノ異ツタ點ニ再ピアテルコトガ出来ル。單純ナ圓筒形ノねぢ工作物ナラバ、突起針ハソノママノ位置ニ殘シテ置イテ、ねぢノ方ヲ廻轉サセル。

(197)

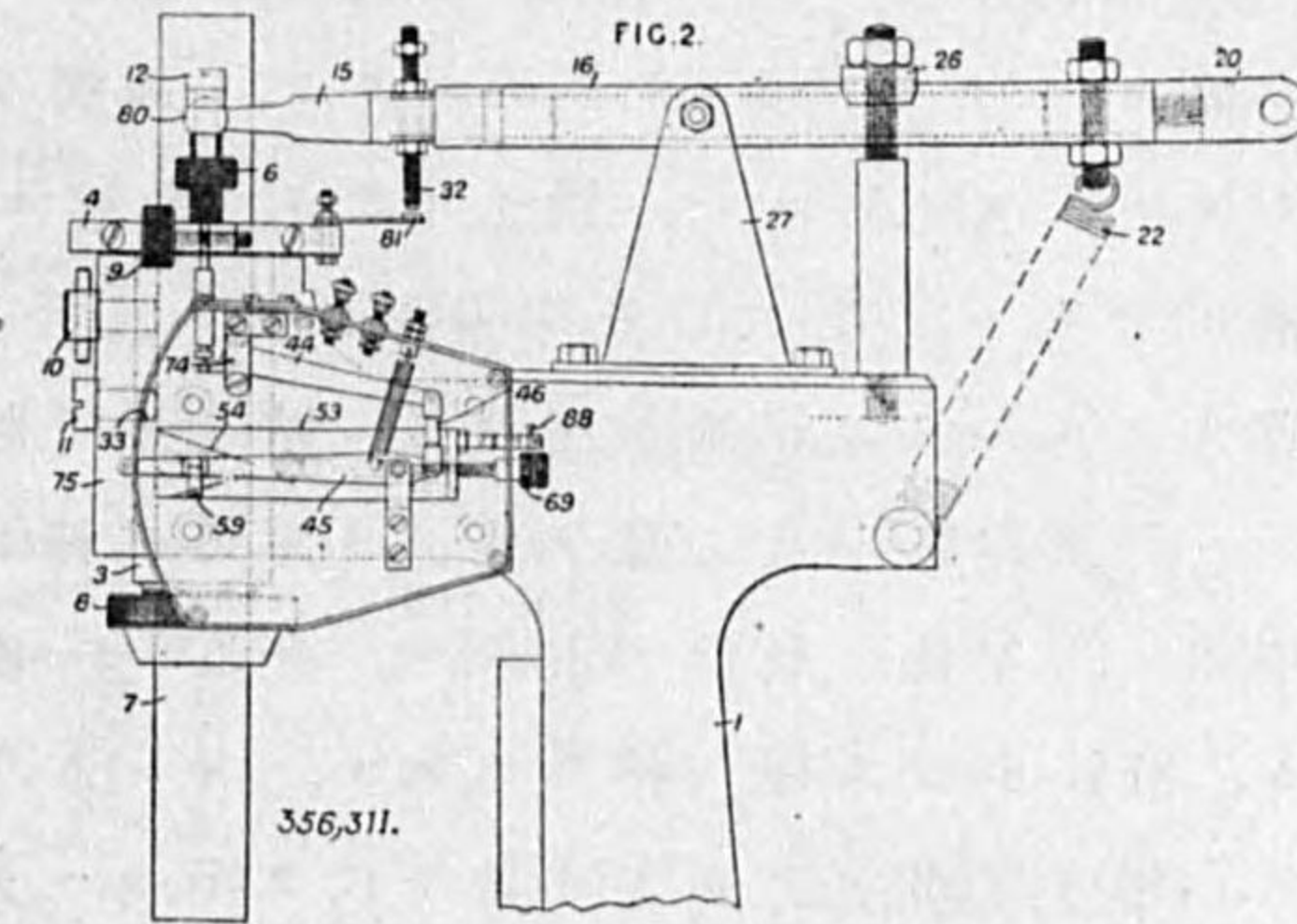
英 356,311 XIX
(June 12, 1930)

線寸法「ゲージ」
Linear dimension
gauges

發明者
Soc Anon des Etablissements
Repousseau et cie. (佛)

次ノヤウナ限界「ゲージ」装置ノ構造ヲ包含スル。即チ、コノ装置デハ、可視信號或ハ可聽信號ヲ起コスタメニ、電氣接觸ヲ開閉スルノデアル。例ヘバ、工作片ガ限界内ニアル時ニハ、「ランプ」ガ點ルガ、工作片ガ大き過ぎルカ小サ過ぎル場合ニハ、燈ガ點カナイヤウニナツテキル。臺、

コノ臺カラ柱1ガ立ツテキルノデアルガ、之ハ、見本ヲ受ケルタメノ定盤ヲ備ヘテキル。ソシテ、横ノ張り出シ方ハ、「ゲージ」装置ノミヲ支ヘテキル。張り出シ「ヘッド」75ハ、滑リ子3ヲ受ケルヤウニ中



グリヲシテアリ、ソノ滑リ子3ノ中ニ、感觸7ヲ取り附ケテアル。滑リ子3及ビ「ヘッド」75ハ、心向キノ孔ヲ備ヘテキテ、2ツノ孔ガregisterスル時ニ、「ピン」10ガソノ孔ニ嵌マルヤウニナツテキル。止メ「ピン」11ハ、滑リ子3内ノ溝33ニハマツテキテ、滑リ子ノ上向運動ヲ制限スル。「チャック」8ハ、感觸7ヲ滑リ子3ニ取り附ケル役目ヲシテキル。滑リ子ノ頂上部ニハ、案内ねぢ12ヲ備ヘテアツテ、コノねぢ12ハ、挺16ノ又15内ノ輪80ノ中ヲ通ツテキル。挺16ハ支エ腕27上ニ「ピボット」サレテオリ、ばね22ノ影響ニ抗ツテ、挺ノ端20ニ「リング」デ連結シテアル踏ミ子ニヨツテ、搖ルコトガ出来ル。止メ26ハ、挺16ガ確實ニ一定シタ行程ヲ行フヤウニスル。挺ニ支持サレテキル接觸32ハ、割リ「ボス」4ニヨツテ支持サレテキル絶縁接觸81ト接觸スルヤウニナツテキル。ソノ割リ「ボス」4ハ、

(198)

ねぢ9デ締メ附ケテアリ、加減ねぢ6ヲ持ツテキル。加減ねぢ6ハ、挺44ノ短腕上ノ支ヘ双上ニ支ヘラレテキル。挺44ハ、「ピボット」74上ニ据エ附ケテアツテ、「リング」46デ、挺45へ連結シテアル。ソシテコノ挺45ノ端ガ尺度上ヲ動クノデアアル。挺45ハ、ソノ背面ニ接觸59ヲ持ツテオリ、接觸59ハ、滑リ子53上ノ3角形接觸54上ヲ動ク。ソシテ、滑リ子53ヲ、「マイクロメータ」ねぢ69デ加減スルコトガ出来ル。使用ニ際シテハ、標準片ヲ、定盤上ニ置き、「チャック」8ヲユルメテ、感觸7ヲソノ工作片ト接觸セシメル。コノ時ニハ、滑リ子3ハ、又ニヨツテ上ヘ引キ上ゲラレ、溝33ノ底ガ、止メ11ニアタツテキル。今度ハ、心立テ「ピン」10ヲ導入スルコトガ出来ル所マデ、踏ミ子ヲ踏ミ下ゲル。ソノ際感觸7ハ、工作物上ヲ、豫メ定メタ壓力デ押シ下ゲル。ソシテ、滑リ子3ハ、平均ノ位置ヲ占メル。今度ハ、感觸ヲソノ滑リ子ニ固着シ、指針88ヲ零點ヘ持ツテ來ル。ソレカラ「ピン」10ヲ引キ抜ク。次ニ、滑リ子53ヲ、正シイ許シ代ヲ示スマデ動カス。

(199)

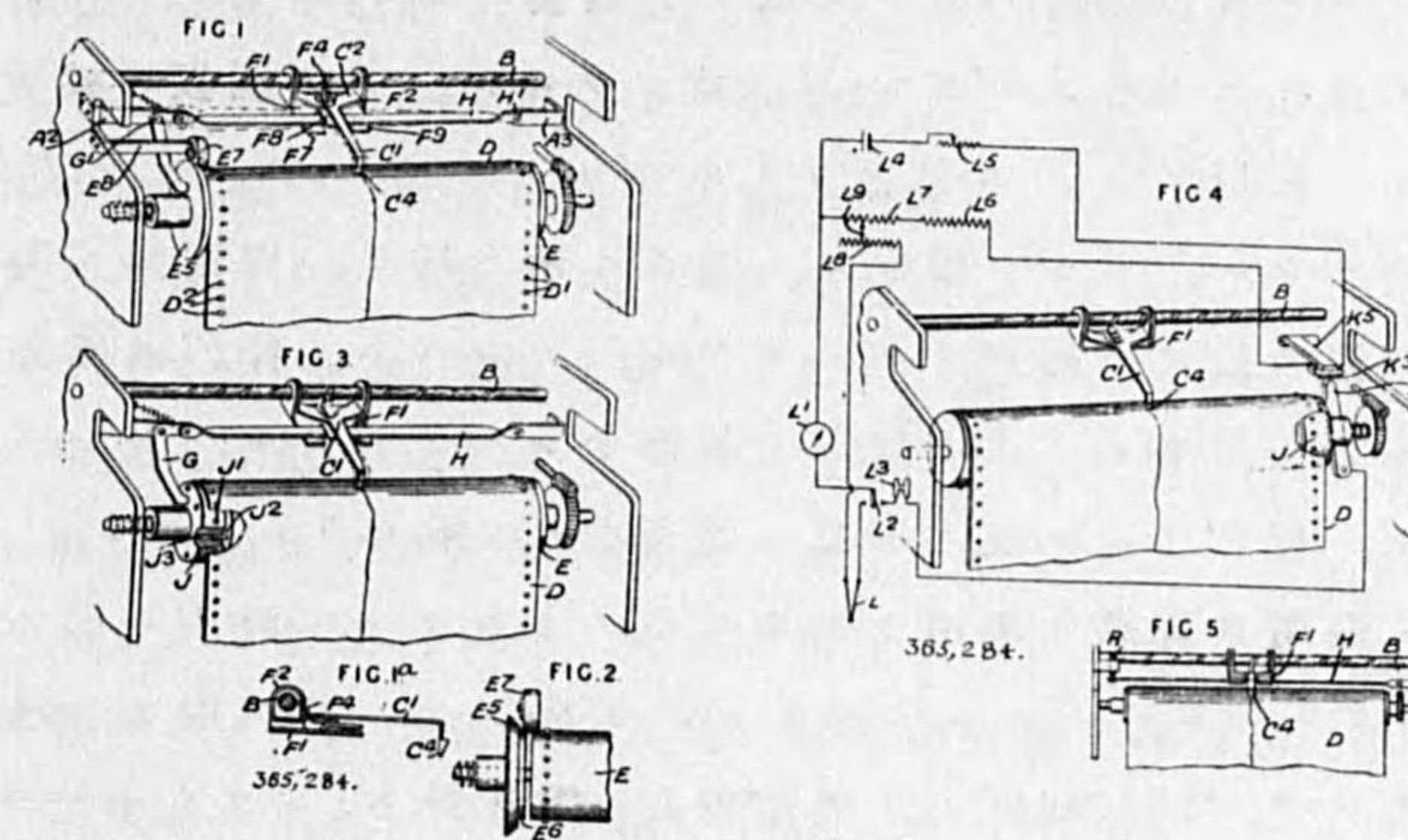
英 365,284 XIX
(Dec. 22, 1930)

測 定 器
Measuring instruments

發 明 者
Brown Instrument Co.
U. S. A.

坐標ニ依ル記録。

コレハ、現レル面即チ目盛紙或ハ記録圖表ノ上デ動ク事ノ出来ル指針或ハ印附要素ヲ持ツタ器械デ、周圍ノ大氣ノ状態デ、例ヘバ湿度ヤ溫度ニ依ツテ、現レル面ノ寸法ガ變化スル時、要素ト面トノ關係位置ヲ維持スル爲ノ補正裝置ヲ備ヘテキル。圖ニ示シテキル



モノハ、記録裝置ヲ持ツタ電氣計器ニ應用シタモノデ、測定値ガ、既知ノ方法デ、圖1及圖1aノねぢヲ切ツタ軸Bニ運動ヲ與ヘルノデアアル。コノ軸ハソノ測定値ト共ニ、大サ及ビ方向ヲ變ヘルノデアアル。軸Bニハ、耳部F²ヲ持ツタ板F'ガ乗ツテキテ、發條F¹ガ、軸ノ螺線溝ニ嵌ツテキル。板F'ノ自由端ハ、數箇ノ舌片F⁷, F⁸, F⁹ニ分レテキル。中央ノ舌片F⁸ニ支エラレテ、梓板c²ノ水平腕c'ガ、板F'ノ兩耳片間デ、軸Bノ上ニ乗セラレテキル。腕c'ノ自由端ハ、印附部分c⁴ヲカ、エテキル。記録附Dハ、時計仕掛デ驅動サレル「ロール」Eノ上ヲ通ツテキテ、ソノ紙ノ兩側デ、「ピン」ガ孔ト溝孔D¹, D²ニ係合シテキル。圖2ニ於テ、紙ノ一方側ニ接シテ、縮小部分Eヲ持ツタ發條制御板E⁵ガアツテ、ソノ上ニ、發條腕E³ノ「ローラ

一、 E^7 ニ依ツテ紙ガ支エラレテキル。大氣ノ状態ノ變化ニ依ル圖表ノ幅ノ變化ガ圓板 E^5 ニ傳ヘラレル。ソノ圓板ノ動キハ、支エ腕 A^1 ニ樞着サレタ發條制御「ベル・クランク」ヲ通ジテ、ソノ「ベル・クランク」ニ樞着サレ且反對側デ支エ腕 A^3 ニ對シ支持サレテキル棒 H ニ傳ヘラレル。ソノ棒ハ、舌片 F^8 ト舌片 F^7, F^9 ノ間ヲ通ツテキテ、ソノ「ピボット」 H' ノ周リノ角運動ハ、板 F' ト印附要素 c^4 ニ修正ヲ與ヘルノデアアル。圖3ハ變形デアツテ、圓板 E^5 ハ、「ロール」 E ト連續ノ形ヲナシタ發條制御圓板 J ニ依ツテ置換エラレテキル。ソシテ記録紙ノ溝孔ニ係合スル「ピン」 J' ヲ持ツテキル。ソノ圓板ノ縦方向ノ運動ハ、圓板ノ孔 J^3 ニ係合シテキル「ロール」 E ニアル「ピン」 J^2 ニ依ツテナサレル。ソシテ變化ハ、圖5ニ示ス様ニ、周期的ニ人手ニ依ル調節ニ依ツテ補正サルノデアアル。ソレニハ、棒 F' ニ係合シテキル棒 H ガ、押ねぢ R ニ依ツテ調節サレルノデアアル。ソシテ調節ねぢガ、板 F' ノ上ニ支エル爲ニ棒部分 c^2 ニ乗セラレテキル。

コノ發明ヲ實際ニ應用シテキルモノトシテハ、圖4ニ示ス様ニ「ヌル・メソード」或ハ「コムベンセーション・メソード」デ用ヒル記録電位計ガアル。電氣回路ハ、熱電對 L 、電流計 L' 、「スイッチ」 L^2 、標準電池 L^3 、乾電池 L^4 、可變抵抗器 L^5 、抵抗 L^6, L^8 、及び接觸 L^9 ヲ持ツタ可變線抵抗 L^7 ヨリ成リ立ツテキル。標準電池回路ハ、絶縁腕 K^5 ニ乗ツテキル抵抗 K^8 ヲ附加スル事ニ依ツテ變ヘラレル。コノ抵抗ハ、大氣ノ状態ノ變化ニ依ル記録紙ノ寸法ノ變化ニ依ツテ發條ノ働ニ抗シテ縦方向ニ動キ得ル圓板 J ト協同スル腕 K ニ依ツテ變ヘラレルヨウニナツテキル、平衡ヲ成リ立タスタメニ接觸 L^9 ヲ動カス事ハ、印附部分 c^4 ヲカ、エテキル軸 B ヲ作働サス爲ニ利用サレル。

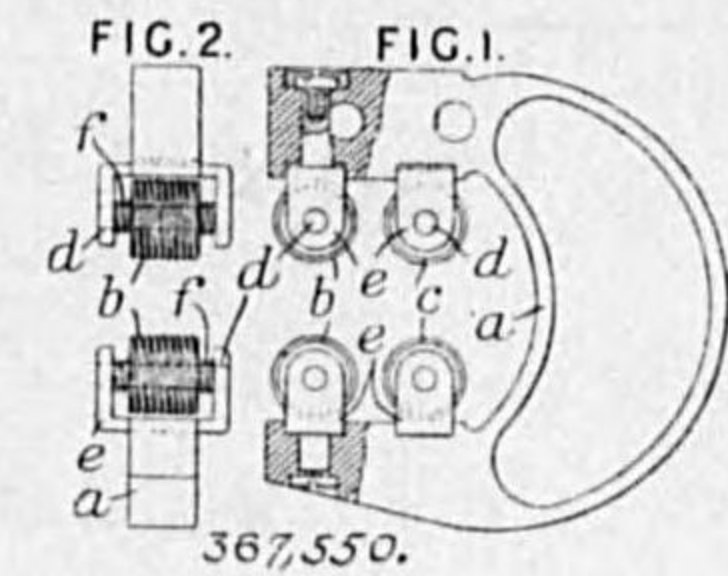
英 367550 XIX
(Feb. 11, 1931)

表面及輪郭「ゲージ」
Surface and outline
gauges

發明者
Newall Engineering Co. Ltd.
and Summers, K. E.
England

コレハ、ねぢ山「カリバーゲージ」デ、2對ノ「ローラー」ノ取付ケラレタ種類ノモノテアル。ソシテコレラノ「ローラー」ノ間ヲねぢガ、半徑方向ニ通過サセラレルノデアツテ、「ローラー」ニハ、夫々正シイねぢ山ガ切ツテアル。

サテ、2對ノ測定「ローラー」 b, c ガ、框 a ニ、普通ノ方法デ取付ケテアル。ソノウチノ1對ハ、ねぢ山ノ完全形以上ヲ制限シ、一方他ノ今1對ハ、有效直徑ガ、最小限度以上デアアルカドウカヲ決定スルノデアアル。



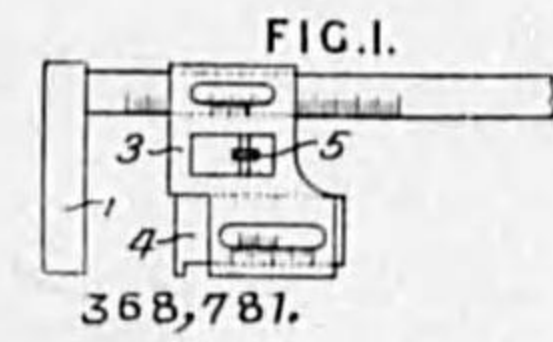
「ローラー」 b, c ニハ、ねぢ山ガ切ツテアリ、ソノウチ「ローラー」 c ハ、ねぢノ根部ガ切取ラレテキル、「ローラー」ハ、大抵測定サレルねぢト同ジ直徑ヲ持ツテキルガ、小サナねぢニ對シテハ、「ローラー」ハねぢノ大サノ2倍或ハ3倍ノ大サニ作ツテアル。ソシテ、正シイ角度ヲ得ルタメニ、2倍或ハ3倍ノねぢ山ヲ備ヘテキル。「ローラー」ハ、二又 e ニ取付ケラレタ軸 d ニ乗ツテキテ、夫々ソレ自身ノ軸ノ周リニ自由ニ廻轉スル事ガ出來ル様ニナツテキル。「ローラー」ノウチ少クトモ1ツハ、端方向ニ測定サレル製品ノ少クトモ半「ピッチ」ノ範圍ニ於テ自由ニ動く様ニナツテキル。發條 f ハ、「ローラー」ヲ通常中心位置ニ保ツテ置クタメニ備ヘテアル。

英 368781 XIX
(Dec. 8, 1930)

線寸法「ゲージ」
Linear-dimension
gauges

發明者
Salzbrenner, R.
Germany.

コレハ、滑リ「カリバー・ゲージ」デアツテ、附加ノ滑リ4ガ、固定
 顎1或ハ滑リ顎3ノ何レカ一方或ハ兩方ノ顎ニ取付ケラレテキル。
 ソレデ、コノ「ゲージ」ハ限界「ゲージ」トシテモ使用
 ガ出来、止リ「ゲージ」トシテノ寸法ニハ普通ノ固
 定及滑リノ兩顎間ヲ用ヒ、通り「ゲージ」ノ寸法ト
 シテハ、附加ノ滑リノ端ト固定顎ノ間ヲ用ヒル
 カ、或ハ2ツノ滑リガ取付ケラレテキル場合ハ、ソノ2ツノ滑リ
 ノ間ヲ用ヒル。滑リ4ニハ、微動調節器ヲ取付テ置クト良イ。ソ
 シテ、制止装置5ハ、滑リ顎ノ爲バカリデ無ク又附加滑リヲモ制
 止スル様ニシテ置クト良イ。



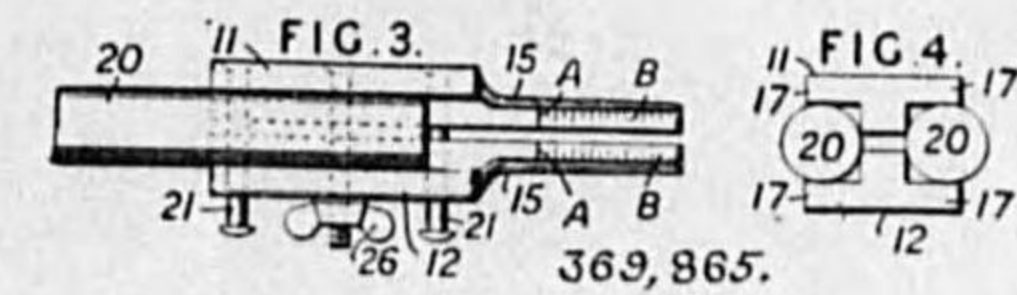
英 369865 XIX
(Sept. 4, 1931)

線寸法「ゲージ」
Linear-dimension
gauge

發明者
Sunnens, J.
U. S. A.

コレハ、「ピストン・ピン」ニ對スル孔ヲ測定スル装置デアツテ、圖3ニ示ス様ニ、T形ノ断面ヲ持ツタ2ツノ板11,12ガアツテ、コレラハ丸クサレタ傾斜ヲツケラレタ延長部分15ヲ持ツテキル。板11ニハ、案内「ピン」21ガ取付ケラレ、コノ「ピン」ハ板12迄通リヌケテキル。測定サレル孔ニ嵌合スル「ピン」

20ハ、圖4ニ示ス様ニ鍔17ノ間ニ置カレ、蝶「ナット」26ヲねぢル事ニ依ツテ緊定サレル。延長部分15ニ



ハ目盛ガツケラレテキテ、Aナル印ハ、鍔17ノ間ノ距離即「ピン」ノ直徑ニ相應スル傾斜面ノ部分ニ附ケラレテキル。印Bハ、右ニユクニ從ヒ直徑ノ減少ヲ現シテキル。

コレハ使用スル際ニハ、コノ装置ノ傾斜面ヲツケタ端ガ測ラウトスル孔ノ中ニサシ込マレル。ソシテコレガ印Aノ所迄サシ込マレル事ガ出來ル様ニナル迄、孔ヲ研磨スル操作ガ續ケラレルノデアル。

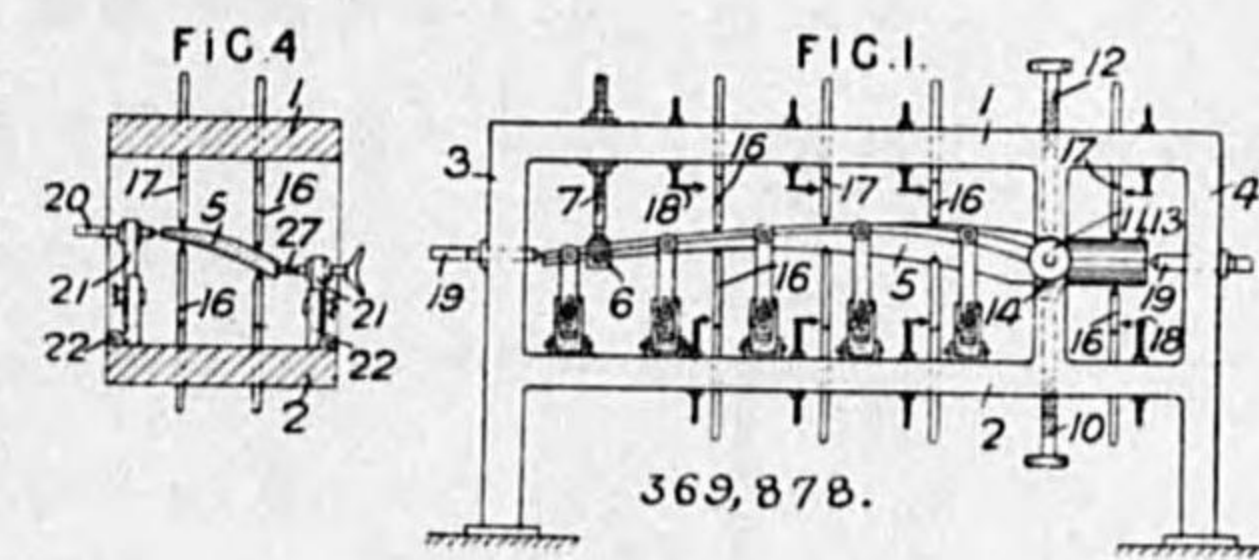
英 369878 XIX
(Oct. 28, 1931)

表面及輪郭「ゲージ」
Surface and outline
gauges

發明者
Junkers, H.
Germany

コノ装置デハ、例ヘバ飛行機ノ「プロペラ-」用翼ニ使ハウトスル
素材ガ、支持装置ニ依ツテ固定枠ニ取付ケラレル。ソシテ「ゲ-ジ-
マ-ク」ノツイテキル「カリバ-」ガ、用材ト接觸スル様ニ動かサレル、
シカル後「カリバ-」ノ「ゲ-ジ-

マ-ク」ノ位置ガ、枠ニ取付
ケラレタ固定「ゲ-ジ」ト比較
サレ、十分ナ機械仕上ヲカ
ケルダケノ大サガアルカド
ウカヲ決定スルノデアアル。



枠ハ、上板1、下板2 及、ピ端部分3, 4ヨリ成立ツテキル。用材5
ハ、枠ノ中ニ、横及ビ縦ノ方向ニ調節可能ノ固定ねぢ7ノツイタ
「クリツプ」6ト及ビ4ツノ押ねぢ10, 11, 12, 13ニ依ツテ支持サレル。
コレラノネジノ中、下部ノ押ねぢ10ハ、用材ヲ支持スル爲ニ平ナ
頭部14ヲ持ツテキテ、用材ハ、調節シタ後14ナル部分ノ上ニ他ノ
押ねぢデ緊定サレルノデアアル。コノ様ニシタ後「カリバ-」ノ棒16ガ
用材ト接觸スル迄動かサレル。各棒ニハ、「マ-ク」17ガツイテキテ、
コノ「マ-ク」ハ、用材ガ最後ノ出来上リノ形ヲトツタ時、豫メ調節
サレテキル検定「ゲ-ジ」18ト一致スル様ニナツテキルノデアアル。「マ-
ク」17ト「ゲ-ジ」18ノ間ノ間隙ハ、機械仕上ニ依ツテ取去ラルベキ
餘剰ノ材料ヲ示シテキルノデアアル。縦方向ノ寸法ハ棒19ニ依ツテ
測ラレ、幅ハ、「カリバ-」20ニ依ツテ測ラレル。「カリバ-」20ハ、
用材ヲサシ込ムノニ便利ナ様ニ、「ピボット」22ノ周リニ廻ル事ノ出
来ル調節可能ノ支持物21ノ上ニ乗セラレテキル。用材ヲ機械ニ取
付ケルニ役立タシメルタメ、用材ニ印或ハ凹ヲツケル「パンチ」或ハ
錐27ハ、枠ノ中ノ孔ヲ通シテ導カレルカ或ハ別ニ支持物ヲ持ツテ
キテモ良イ。コレラノ錐ハ、棒16ト互ニ交換スル事ガ出来ル。

英 370,221 XIX
(May 7, 1931)

齒車ノ検査
Gauging toothed gears

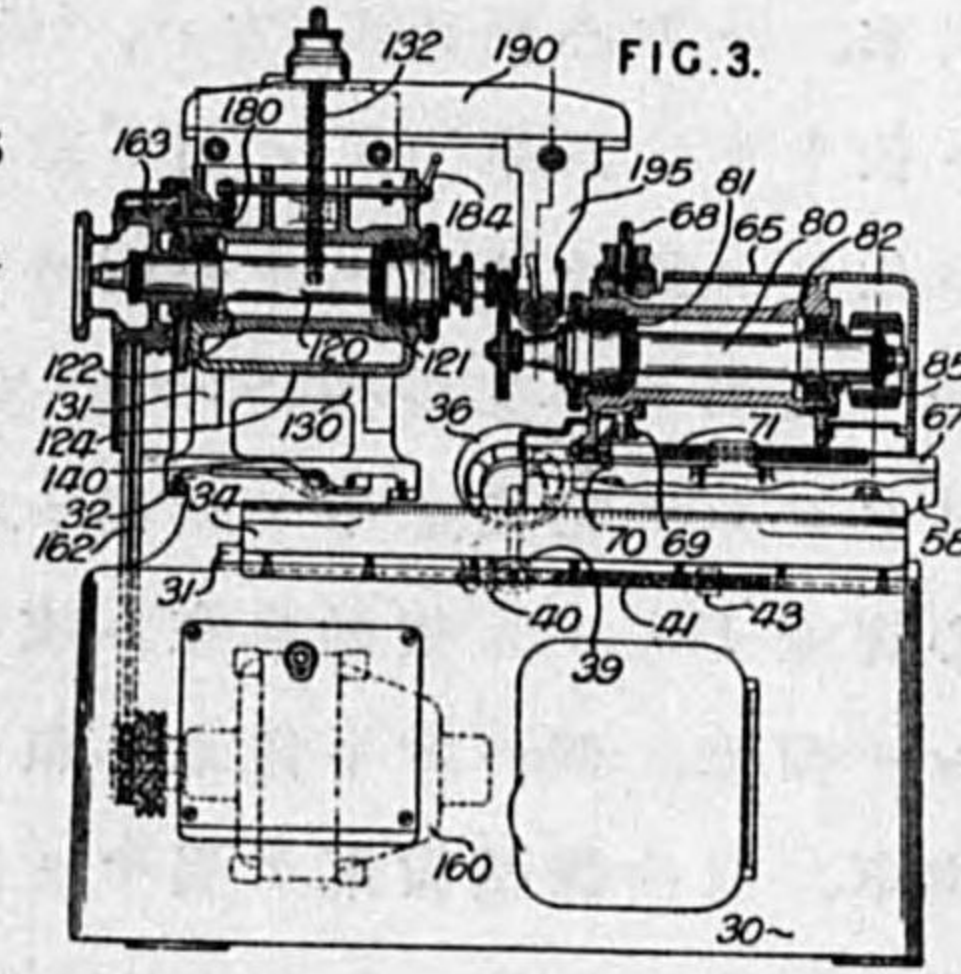
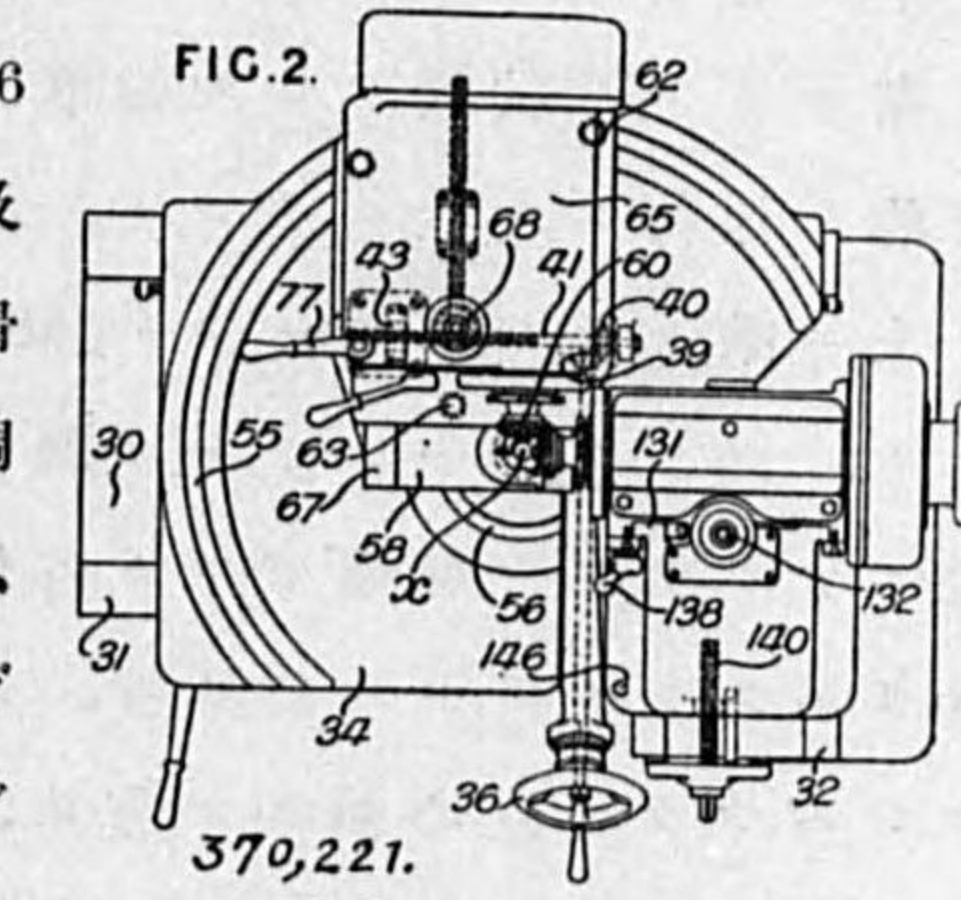
發明者
Gleason Works,
U. S. A.

コレハ、運轉試験ニ依ル齒車ノ試験機デアツテ、試験サレル齒車ノ取付ケラレル主軸臺ハ、合計3ツノ直線的調節ト1ツノ角度的調節ヲ持つテキル事ヲ特徴トシテキル。直線的調節ノウチソノ2ツハ、互ニ直角ナ方向ノ調節ヲ司ツテキル。臺30ニハ、ソノ上面ニ動面30,31ガアツテ、互ニ直角ニ延ビテ居リ、且異ナル水平面ニ存在シテキル。動面31ニハ滑臺34

ガ乗ツテキテ、コノ滑臺ハ、手車36ニ依ツテ、傘型齒輪39,40、ねぢ41及ビ「ナット」43ヲ通シテ調節出來ル。滑臺ハ、「ハンドル」49ニ依ツテ任意ノ調節位置ニ緊定サレ、コノ「ハンドル」ハ、案内凸縁ヲ通り抜ケテ滑臺34ニネヂ込マレテキル「ボルト」ヲ作動スルノデア

アル。滑臺ハ、中心トヲ共同中心トシテキル弓形ノ1對ノT型溝孔55,56ヲ持つテ居リ、且ツ「スリーブ」60ノ緊定サレテキル開口部ニ、擺動臺58ヲ支持シテキル。「ボルト」62,63ハ、臺58ヲ調節位置ニ緊定スル役目ヲナシテキル。臺58ハ、案内67ノ上ニ被驅動押縁65ヲ載セテキテ、押縁65ハ、軸68ニ依ツテ、傘型齒輪69,70及ビ

ねぢ71ヲ通シテ動かサレル事ガ出來、且ツ、「ボルト」77ニ依ツテ緊定サレル事ガ出來ル。被驅動心軸80ハ、減摩軸受81,82ニ乗セラレテキテ、「ブレーキ」胴85ヲ備ヘテキル。蝶番サレタ「ブレーキ」片ガ、扇型齒輪及ビ「カム」ヲ通シテ働ク手動「レバー」ニ依ツテアテガワレル



(210)

様ニナツテキル、驅動軸120ハ、減磨軸受121, 122ニ、軸頸ヲ支エラレテキル。驅動主軸臺124ハ、柱130ノ動面131ノ上ヲ、ねぢ132ヲ作働サス事ニ依リ、垂直方向ニ滑動シ、「ボルト」138ニ依ツテ緊定サレル事ガ出來ル。柱130自身ハ、ねぢ切軸140ヲ廻轉スル事ニ依リ、動面32ノ上ヲ滑動サセラレ、「ボルト」146ニ依ツテ緊定サレル事ガ出來ル。各部分ヲ組立テルニ於テ、先ヅ第1ニ心軸80ノ中心線トxノ中心線トガ交ル様ニ、軸80ト軸受60トヲ一直線ニ並ベル事ガ必要デアツテ、コノ調節ノ爲、設備ガナサレテキル。運轉ニ際シテハ、試験サレル齒車ハ、心軸120, 80ニ取付ケラレ、一方ガ他ヲ廻轉スル様ニサレル。心軸120ハ、樞軸ノ上デ擺動スル臺ノ上ニ乗セラレタ「モーター」160カラ、「ベルト」162ヲ通シテ驅動サレル、ソシテ、「ハンドル」ガ調節ねぢニアテガワレタ時ハズサレル様ニナツテキル發條「ボルト」ニ依ツテ掛止サレテキル。齒車ヲハメタリハズシタリスル時ニハ、心軸80及ビ120ハ、抑止サレテキナケレバナラス。心軸80ノ方ハ、「ブレーキ」ニ依ツテ抑止サレル事ガ出來、一方心軸120ノ方ハ、「ピン」180ヲ、「ハンドル」184ヲ動カス事ニ依ツテ、滑車163ノ面ニアル1連ノ孔ノドレカ1ツニ押込ム事ニ依ツテ抑止サレル。長柄ノ齒車或ハ群齒車ヲ試験スル爲ニ、外部ニ突出シタ支持臺190ガ裝ケラレ、コレガ、驅動主軸臺124ニ取付ケラレタ案内ノ中ヲ摺動シ、又コノ支持臺ハ、「センター」ノアル心押臺195ヲ、摺動自在ニ支持シテキル。各種ノ調節ハ、試験サレル齒車、例ヘバ平齒車、ねぢ齒車、「ウォーム」齒車、^ツ内齒車、傘齒車、双曲線體齒車ノ異ナル大サノ變化スルニ從ツテナサレルノデアアル。

(211)

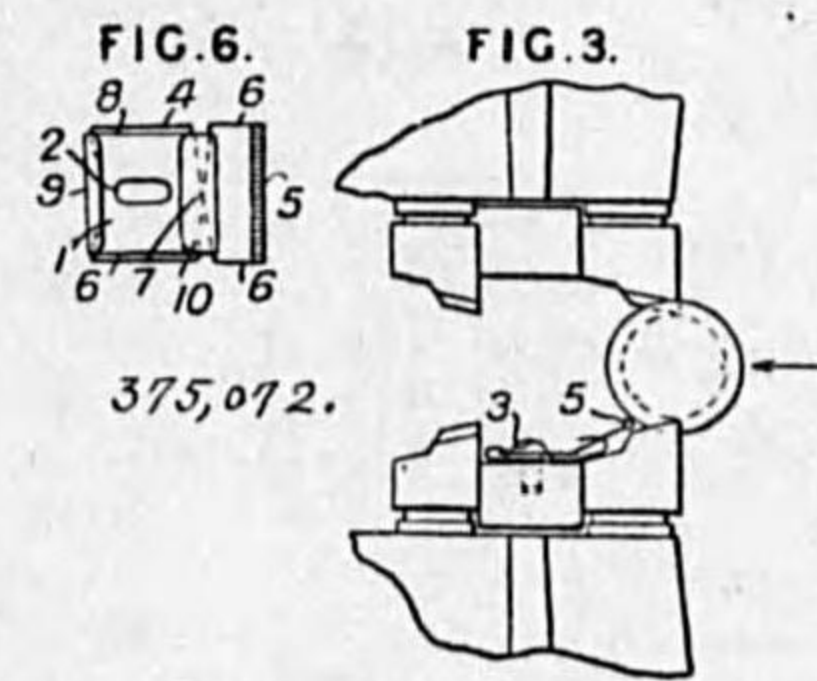
英 375,072 XIX
(June 16, 1931)

直線寸法「ゲージ」
Linear-dimension gauges.

發明者
Wickman, Ltd., A. C. and
Hill, H. T. Bonsall.
England

移動自在ノ止メ機構ガ取付ケラレテキテ、之ガ試験材料ノ不正方向ニ「ゲージ」ヲ通過サセラレル事ヲ防止スル様ニナツテキル。シカシナガラ、試験材料ガ正シイ方向ニ通サレル時ニハ、ソレヲ通過セセル爲ニ止メ機構ハ通過試験材料ニ依ツテ移動サレル。

サテ圖ニ示スモノハ、上記ノ機構ヲねぢ山試験ニ用フル挟ミ「ゲージ」ニ應用シタモノデ、小板1ハ、一方ノ腮部材ノ近クニ溝孔2ヲ通シテねぢ3ニ依ツテ「ゲージ」ニ定着サレテキル。コノ小板ハ、彈性部材4ヲ支持シ、コノ彈性部材ニ止メ機構5ガ乗ツテキル。部材4



ハ、線材ヲ以テ構成サレ、コレハ止メ機構5ヲ形成シテキル捲線ノ中ヲ通過シ、且ツ屈曲サレテ並行部分6ヲナシテキル。ソノ自由端ハ又屈曲サレテ7ノ所デ互ニ交叉シ、又再ビ並行部分8ヲ形成シテ、ソノ兩端ハ、小板1ノ折曲縁部9ノ下ニ定着サレテキル。ソノ反對縁部10ハ又折曲ゲラレテ、線材ノ交叉部分ヲ包ンデキル、シカシ線材ヲ緊定シテハキナイ。圖ニ矢印デ示ス様ニ、試験材料ガ正シク兩腮部材ノ間ヲ挿込マレルト、5ナル部分ハ押戻サレテ試験材料ハ通過サセラレル。試験材料ガ内側カラ挿入サレテ、前ト反對方向ニ通過サセラレル時ハ、交叉部分ガ縁部10ニ係合シ、「ローラー」5及ビ試験材料ガ、ソレ以上不正方向ニ移動スルノヲ防止スル。5ナル部分ハ單ナル管形ヲナシテキテモ良イ。止メ機構ハ、「ゲージ」ノ各々ノ腮部分ニ備付ケル様ニサレテモ良イ。

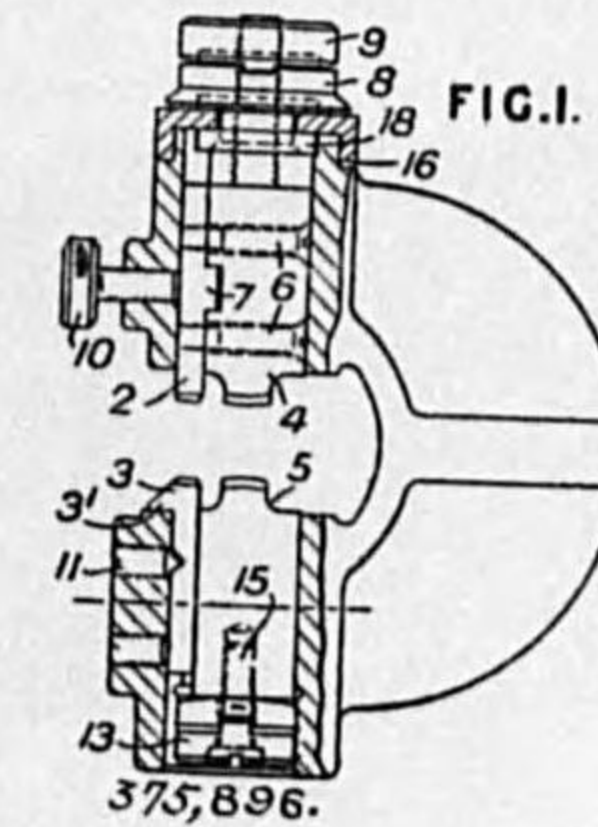
英 375,896 XIX
(April 8, 1931)

表面及ピ輪郭「ゲージ」
Surface and outline
gages

發明者
British Thomson-Houston
Co., Ltd.
England

コレハ、ねぢ山ノ「ゲージ」デアツテ、2組ノ測定要素ヲ有シテ居リ、各々ガ「ゴ-」ゲージデアツテ、ソノ中ノ1組ハ有效直徑ヲ測ルニ用キラレ、他ノ1組ハ「ピッチ」、角度、或ハ全形ヲ測ルニ用キラレル。各々ノ組ノ一要素ハ、他ノ組ノ一要素ニ機械的ニ接続サレ、且ツ接続サレタ要素ヲソレト協働スル要素ニ關係的ニ動かカス爲ノ手段ガ設ケラレテキル。

サテ圖ニ於テ、2, 3 ナル要素ハ有效直徑ヲ測ルニ用キラレ、4, 5 ナル要素ハ「ピッチ」等ヲ測ルニ用キラレル。要素3ハ、肩部分3'及ビねぢ11ニ依ツテ固定サレル。要素5ハ、2部分「ナット」13及ビねぢ15ニ依ツテ調節サレル事ガ出來ル。要素2, 4ハ、脚部分7及ビねぢ6ニ依ツテ互ニ接続サレ、發條ニ依リ互ニ押壓サレテキル2箇ノ「ナット」8, 9ニ依ツテ一緒ニ調節サレル事ガ出來ル。「ナット」8ハネヂ込マレタ「キャツプ」16ヲ通抜ケテ、「カラー」18ニ銚止サレテキル。又止ねぢ10ガ取付ケラレテキルノデアアル。



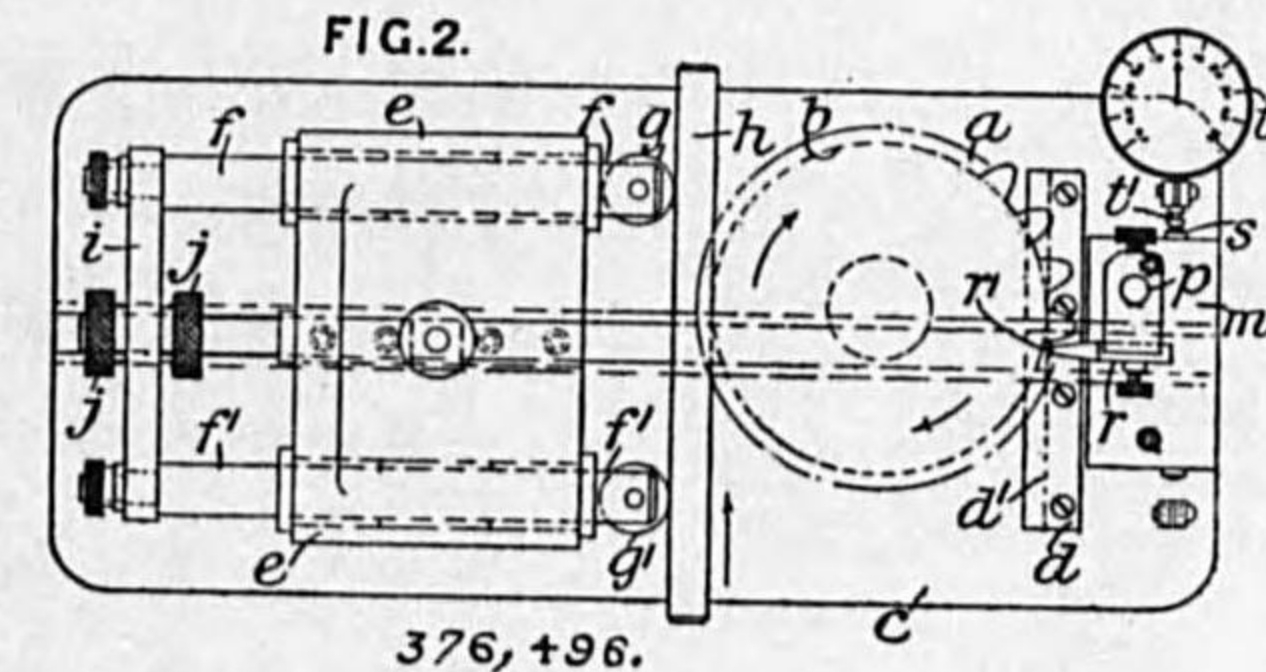
英 376,496 XIX
(July 9, 1931)

表面及ビ輪郭「ゲージ」
Surface and outline
gauges

發明者
Brown & Sons (Huddersfield)
Ltd., D. and Goulder, J.
England

コレハ「インポリユート」齒車ノ外形ノ精確度ヲ検査スル装置デア
ツテ、試験サレル齒車 a ガ取付ケラレル圓形臺板 b ハ、棒 h ノ軸
方向ノ運動ニ依ツテ、固定サレタ直線側面 d' ト棒 h ノ間ヲ轉ガル
様ニナツテキル。r' ハ測定部分デアツテ齒ノ外形ニ接スル様ニ設
ケラレ、指示計ハ外形ノ不整形ヲ指示スル様ニナツテキル。直線
側面 d' ハ、臺板 c ニ取付ケラレタ棒 d ニ依ツテ形成サレテキル。
又臺板 c ノ上ニハ往復臺 e

ガ乗ツテキテ、コレハソノ
行程ノ任意ノ點ニ於テ緊定
サレル事ガ出來ル。コノ往
復臺ヲ通抜ケテ 2 本ノ並行
軸 f, f' ガアツテ、コレ等ノ
軸ニハ夫々「ローラー」g, g' ガ



取付ケラレ、コレ等ノ「ローラー」ハ共ニ直線側面カラ正確ニ等シイ
距離ニ配置サレテキル。軸 f, f' ハ、棒 h ガ「ローラー」g, g' ト圓形臺
板 b ノ間ヲ夫々ニ接觸シテ通過サセラレル事ガ出來ル様ニ調整サ
レテキル。「ローラー」g, g' ハ、「クロスヘッド」i ト往復臺ノねぢヲ切
ツタ突出部ニ於テ働ク「ナット」j ニ依ツテ、或ル壓力ヲ以テ棒 h ニ
接觸サセラレテキル。滑臺 m ハ球ノ上ニ乗ツテキテ直線側面ニ並
行ニ移動スル様ニナツテ居リ、通常状態ニ於テハ、發條ニ依ツテ
中央位置ニ維持サレテキテ柱 p ヲ持ツテ居リ、ソノ上ニハ測定部
材 r ガ調節可能ニ緊定サレテキル。滑臺ニアル受面 s ハ、臺ニ固
定サレタ「ダイヤル・ゲージ」t ノ棒「ピストン」l ニ係合シテキル。r ナ
ル部材ノ一端ニハ r' ナル部分ガアツテ、コノ r' ナル部分ハ、外面
ガ平ラデ内面ガ圓錐形ヲナシテキテ圓形ノ双形ヲ形成シテ居リ、
直線側面ノ平面内ニアル様ニ調整サレテキル。齒輪ハ手ニ依ツテ

(216)

端 r' が「インボリュート」ノ面ニ丁度適切ナ壓力ヲ以テ接スル様ニ調節サレ、指針ハ丁度中央或ハ零位置ヲ占メル様ニサレルノデアアル。カクシテ齒輪ハ棒 h ヲ軸方向ニ移動サス事ニ依ツテ廻轉サレ、モシ齒ノ曲線ガ正シイ「インボリュート」ノ形デアレバ、指針ハ動カズニ静止シテキルノデアアル。

(217)

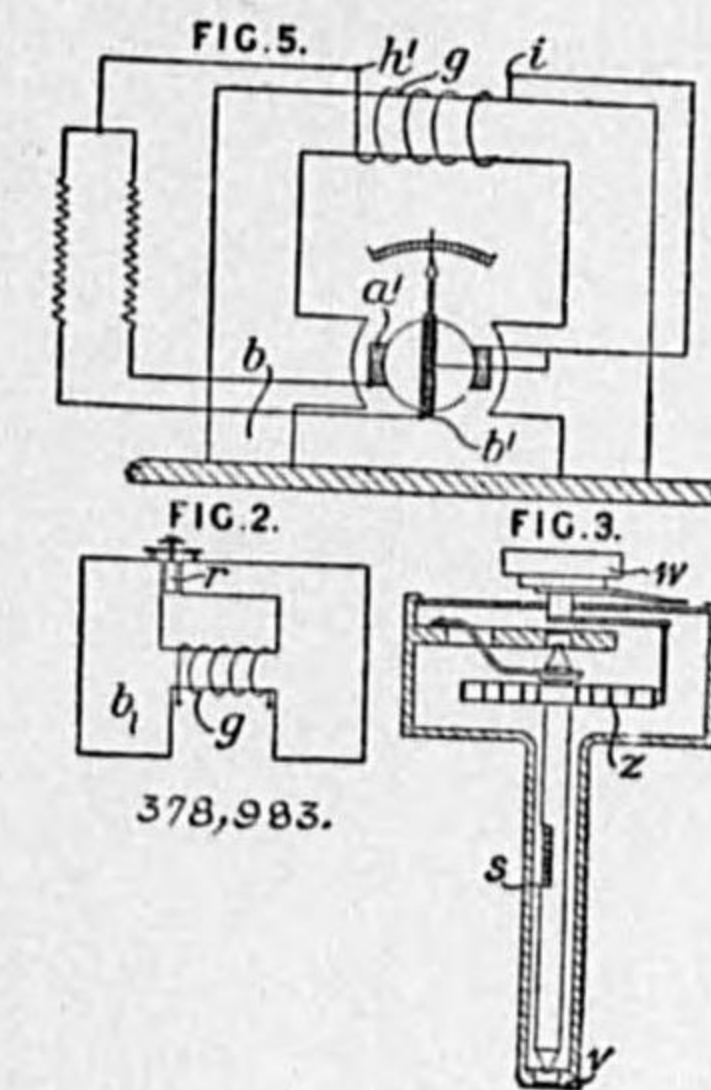
英 378,983 XIX
(Feb. 17, 1932)

測定装置
Ganzing apparatus

發明者
Moore, H., Williamson G. and
British Scientific Instrument
Association. England.

コノ装置ハ、例ヘバ罐板トカ船ノ胴體等ノ様ナソノ一方側ニノミ近ヅク事ノ出來ル磁性物質ノ板ノ厚サヲ測定スルモノデ、ソノ測定ハ、永久磁石或ハ直流電磁石ニ依ツテ發生サレル定常磁束ヲ測定スル事ニ依ツテナサレル。圖2ニ於テハ、電磁石ハソレヲ磁化スル捲線 g 及ビ極片 b ヲ持ツテキテ、コレガ板ニ對シテアテラレル。ソシテソノ中ニ發生サレル磁束ハ、磁石ノ交番磁束通路ニ置カレタ定常磁束測定器械 r ノ讀ノ減少ニ依ツテ測定サレル。器械 r ハ、抵抗測定回路ニ含マレテキル蒼鉛螺線ヲ使用シテモ良ク、或ハ又圖3ニ示ス様ナ捻力磁束計ヲ使用シテモ良イ。後表ハ、軸ニ支エラレタ磁石 s ヲ持ツテキテ、コノ軸ハ眞鍮ノ筐體 v ニ「ピボット」サレテキル。ソシテ捻頭部 w ニ取付ケラレタ螺線發條 z ニ依ツテ制御サ

レテキル。コノ器械 r ハ、同ジ物質及ビ既知ノ厚サノ板デ豫メ觀察スル事ニ依ツテ、ソノ目盛ハ直接厚サガ讀メル様ニサレテキル。圖5ニ示スモノハ變形デアツテ、「コイル」 a', b' ハ互ニ直角ニ共通軸ニ取付ケラレテキテ、コノ軸ニハ指針ガ取付テアリ、「コイル」ハ直流供給 h, i ニ適當ニ接續サレテキル、ソシテ夫々「コイル」ハ、供給電壓ニ無關係ニ讀ヲスル爲ニ、同ジ供給カラ勢力ヲ與ヘラレテキル2ツノ電磁石ノ磁場内ニ置カレテキル。磁石ノウチノ1ツハ、試験スル板ニアテル極片 e ヲ持ツテ居リ、一方尙1ツノ磁石ハ(圖示セズ)ソレカラ遮蔽サレテキル。簡單ナ携帯型ノモノデハ、永久磁石ガ使用サレ、電流ハ乾電池或ハ蓄電池カラ供給サレル。



強度,硬度等ノ試験機

英 342,382 XIX
(Nov. 7, 1929)

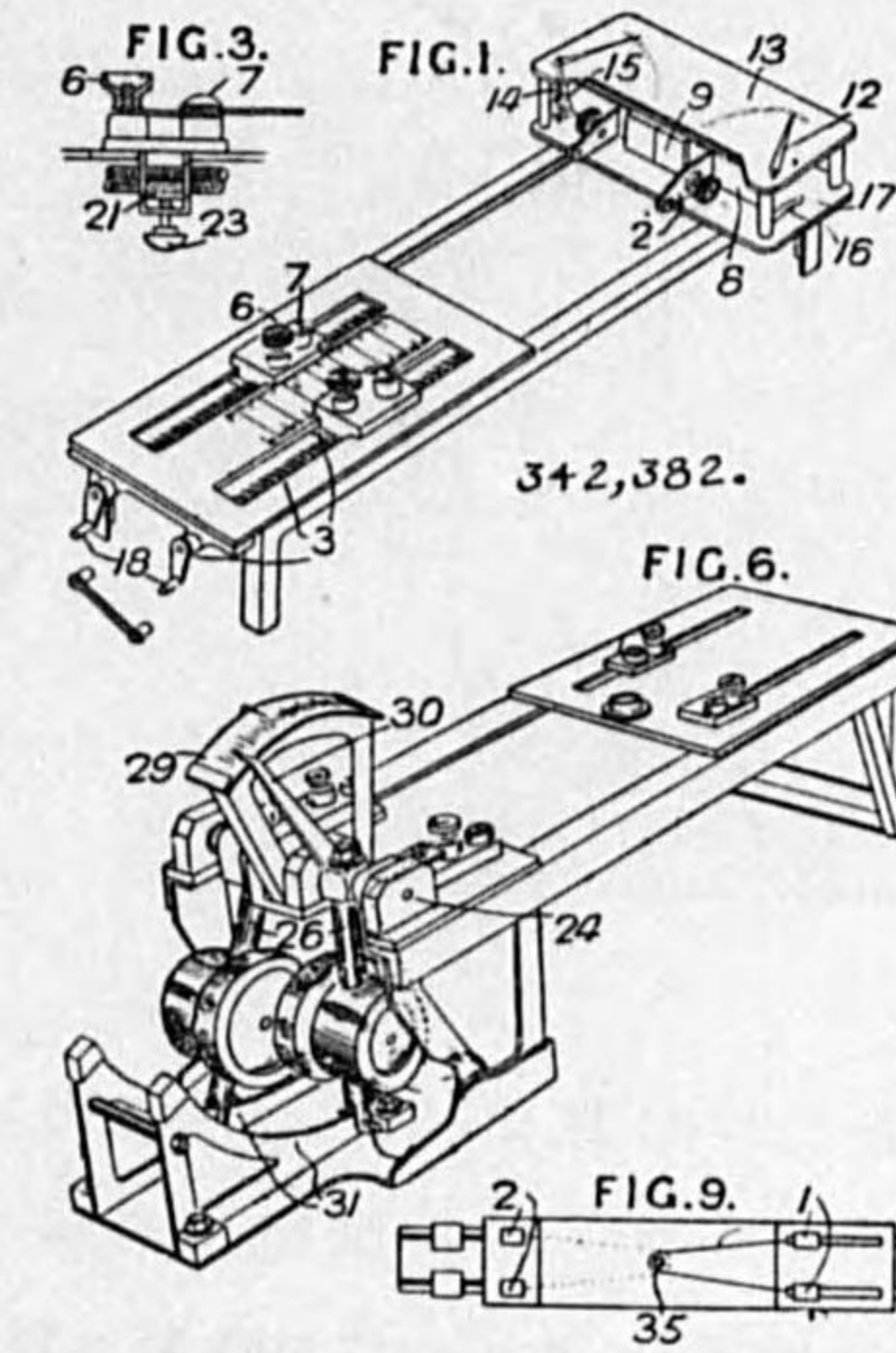
織物等ノ物理的性質試験機
Testing physical qualities of
textile and other extensible
material.

發明者
Dunlop Rubber Co. Ltd.
Osnaburgh street, London.

織物ソノ他ノ、伸ビノ著シイ材料ノ細線ノ特性ヲ比較スル本装置ハ、カカル細線ノ1組ノ並置サレテキルモノニ荷重ヲ加ヘル方法及ビ加ヘタ荷重ト細線ノ延伸量トヲ指示スル方法トヨリ成立ツテキル。動力計トシテ、板發條式ノモノト、錘ヲツケタ挺カラ成ル型式トニ就イテ述ベル。板發條式

デハ、試験サレ、比較サルベキ材料ハ、6(第1圖)ニ締付ケラレ、案内7ノ周リヲ通ツテ、ソノ他方ノ端ハ、「クランプ」9ト板發條8ノ自由端トノ中間ニ締付ケラレテキル處ノ「クランプ」2ニ連結サレル。發條8ハ、目盛13上ヲ動ク指針12ヲ持ツタ心棒14上ノ「カム」15ニ接觸シテキル、「ベース」17上ニ押付ケラレテキル板發條16ハ、指針ヲ進ンダ目盛位置ニ保ツ、試験サルベキ材料ノ延ビハ、相互ニ連結シテ動カスコトモ出來ル「クランク」18

ニヨツテ與ヘラレ、荷重ハ目盛13上ニ表示サレル。「ネヂ」ト「ナット」ノ機構3ニ要スル早戻リ運動装置ハ、發條ニヨツテ「ネヂ」ニ壓接セラレタ半分ノ「ナット」21(第3圖)カラ成リ、後者ハ取手23ニヨツテ取外スコトガ出來ル。錘付キ挺装置ハ、24(第6圖)ニ「ピボット」サレ、目盛29上ヲ動ク指針30ヲ持ツタ挺26カラ成立ツ。試験ノ際指針ガ指ス進ンダ目盛位置ニ之ヲ靜止セシメルタメニ爪車仕掛31ガ使ハレル。第9圖ニ示スヤウナ装置モ使用スルコトガ出來ル。之デハ1本ノ細線ノ兩端ヲ「クランプ」1デ掴ミ、他ノ細線ノ兩端ハ「クランプ」2デ掴ミ、兩者ノ引返シ部分ヲ1ツノ小サイ滑車35ニ引掛ケル。



(220)

弱イ方ノ細線ガ先ニ切レル。此ノ装置ハ動力計ガ正シク目定メサ
レテアルコトヲ示スノニ有效デアル。

(221)

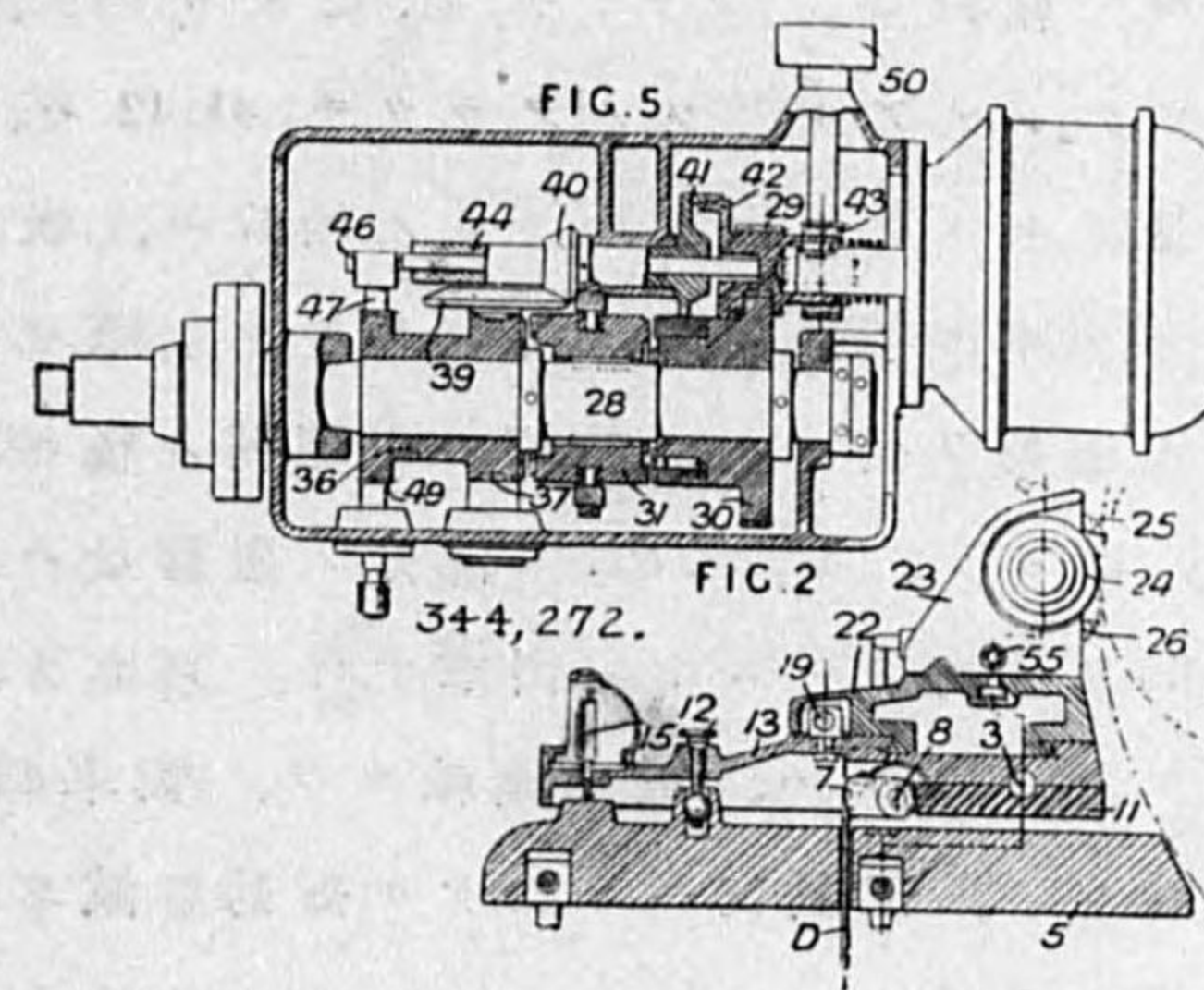
英 344,272 XIX
(April. 23, 1930)

研磨圓板ノ硬度試験
Testing hardness of
grinding discs.

發明者
Lindner, H. Germany

研磨圓板ハ、先ヅ **trued up** シタ後デ、次ニ述ベルヤウナ方法ニ
ヨツテ、ソノ圓板ニ壓力 ζ ヲ當テテ硬度ヲ試験スル。即チ、或
ル一定ノ回轉數ノ間減速シタ速サデ、圓板ニ壓力 ζ ヲ當テ、 ζ
ヲニヨツテ出來タ刻印ヲ測定シテ試験スル。尙コノ場合 **truing up**
操作ノ間、工作物ニ空氣

或ハ水ノ噴射ヲ働ラカセ
ル。研磨工具25ノタメノ
支持臺23ハ、亦「タングス
テン」或ハ「コバルト」合金デ
出來テキル壓力 ζ 、24及
ビ空氣或ハ水ノタメノ「ノ
ズル」26ヲ支持シテキ
ル。コノ支持臺ハ、心棒
55ヲ廻シテ、研磨圓板ノ



軸線ト並行ニ、粗ナ加減ヲスルコトガ出來ル。又、支持臺ハ、臺
22上ニ乗ツテヨリ、コノ臺22ハ、13ノ部分ニ撥形ニハメコンデア
ツテ、ねぢ19デ、研磨圓板ノ軸線ト並行ニ移行サセルコトガ出來ル。
臺13ハ、支點3ノマワリニ振り運動ヲシ、普通ニ傾ク。ダカラ、
支持臺ハ、綱Dニ取リツケテアル錘ニヨツテ、仕事ニ從事スル。
綱Dハ、「ピボット」8上ノ腕7ノ「カーブ」シタ端ヲ通ツテキル、ソノ
腕ノ「ボス」ハ、齒ヲ切ツテアツテ、臺13ニシツカリト取リ附ケテア
ル板11上ノ齒トカミ合フ。ねぢヲ切ツタ「ストップ」12ガ、コノ運動
ヲ、臺5ニ對シテ制限スル。臺5ハ、ソレ自身、研磨圓板ノ軸線
ノ方へ及ビ細線ノ方カラ加減スルコトガ出來ル「ダイヤル・ゲージ」15
ガ、臺5ノ一ツノ平ラナ面ニ當ツテキル。研磨圓板ノ心棒28ハ、
1ツノ電動機カラ運轉サレ、コノ電動機ハ、ソノ軸上ニ小齒車29

ヲ持ツテキル。コノ小齒車29ガ、軸28上ノ空廻リスル齒車30トカミ合ツテキル。ソシテ、齒車30ハ、組子31ヲ右ノ方ヘ動カスコトニヨツテ、軸28ニ「クラッチ」スルコトガ出來ル、第5圖。コノコトハ、軸28ヲ運轉スルコトナリ、隨ツテ研磨圓板ヲ高速度デ運轉シテ **truing up** ヲ行フ。「クラッチ組子31ヲ左ヘ動カセバ、第5圖、軸28ハ、傘齒車40、39及ビ芋蟲齒車37ニヨツテ、心棒44カラ運轉サレル。軸44ハ、「クラッチ」41、42ニヨツテ、通常、電動機心棒ヘ「クラッチ」シテアル。ソノ「クラッチ」41、42ハ、軸47上ノ「カム」46ニヨツテ弛メルコトガ出來ル。コノ軸47ハ、嵌メ管36上ノ芋蟲49ニカミ合ツテキル芋蟲齒車ヲ持ツテキル。隨ツテ軸47ハ、ソコカラ、ノロイ運動ヲ受ケル。軸47ノ1廻轉ノ後ニ、「クラッチ」41、42ハ外レル。而シテ、40、39、&c.ノ部分ノ運動量ハ小サイノデ、齒車ハ、芋蟲38ヲ運轉スルコトハ出來ナイ。ダカラ、瞬間的ニ、完全ニ停止スル。「ポンプ」ハ、電動機軸カラ、齒車43ニ「ヨツテ」、調車50デ運轉サレル、工具支ヘニ於ケル振動ヲ減ズルタメニ、ハジキ壺裝置ヲ備ヘテアル。

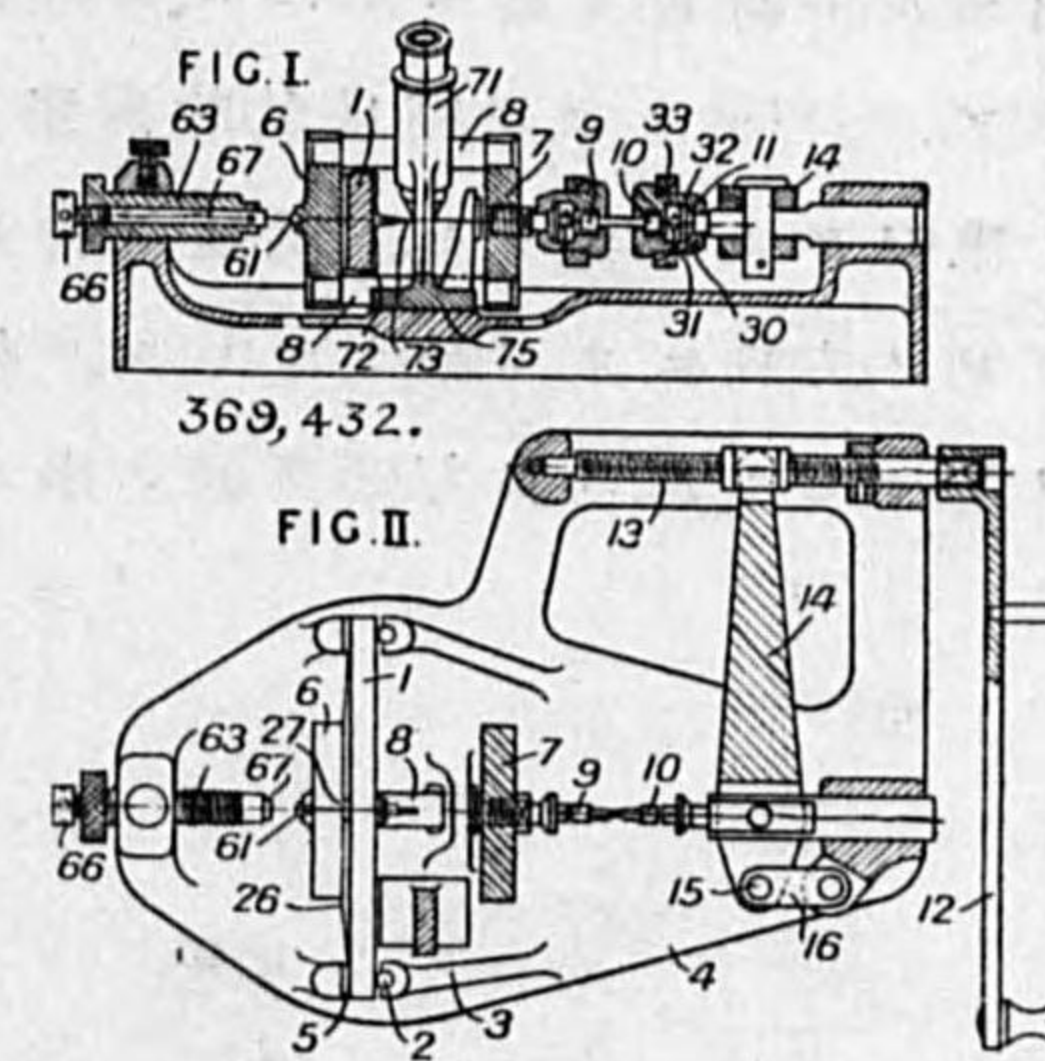
英 369,432 XIX
(April 17, 1931)

材料試験
Testing sicalphy qualities
of materials.

發明者
Hounsfield, L. H.
England.

コレハ、降伏點、引張内力、壓縮内力、曲ゲ内力及ビ破壊強度、硬度ヲ試験スル機械デアツテ、1ツノ硬發條ガアリ、コレヲ通シテ荷重ガ加ヘラレ、又發條ノ振レヲ測定スル爲ニ、光學的裝置ガ裝備シテアル。

サテ、試験材料ノ兩端9、10ハ、摺ミニ取付ケラレ、ソノ摺ミノウチノ一方ハ、「リンク」16ノ上ノ「ピン」15ニ支エラレタ「レバー」14ニ取付ケラレル。又他方ノ摺ミハ、圓板7ニ取付ケラレテキテ、コノ圓板ハ「ボルト」8ニ依ツテ同様圓板6ニ取付ケラレテキル。圓板6ハソノ中央デ硬發條1ト係



合シテキテ、コノ發條ハ、ソノ兩端ニ於テ、土臺4ニアル固定支持物3ニ乗ツテキル圓筒形ノ支エヌ2ニ依ツテ支持サレテキル。圓板6ハ、ソノ圓板ニ「リベット」デ取付ケラレタ薄板26ニ依ツテ中心ニ位置スル様ニサレ且ゴム緩衝器5ト發條ノ兩端ノ間ニ緊定サレテキル。垂直小板27ハ、圓板ニ「リベット」デ取付ケラレテキテ、荷重ヲ中心ニ加エル事ヲ確實ニシテキル。摺ミハ夫々2ツノ部分ニ分レテキテ、ソノ下部ハ薄「ピン」31ニ依ツテ球形頭部ニ取付ケラレテキルノデ、試験材料ハ容易ニ下部ノ2等分30ノ中ニ据付ケラレ、ソノ後上部ノ2等分32ヲアテガヒ、保持環33デ緊付ケルノデアアル。顯微鏡71ハ滑り臺75ノ上ニ乗ツテキテ、發條ノ上ノ1本ノ線ガ見エルヨウニナツテキルガ、又針73ノ受面端ヲ支持シテキル發條「クリップ」72ヲ備エテキテモ良イ。顯微鏡ハ、荷重ノカケラレル前ニハ指針ノ光ガ零ニアル様ニ調節サレル。對物鏡ト接眼鏡ノ間ノ距離ヲ

變ヘル事ニ依ツテ、「グラタイキユール」ハ使用スル特別ノ發條ニ適
 スル様ニ調節サレル事ガ出來ル。ソシテ1平方吋ニ何噸トイフ讀
 ガ得ラレルノデアアル。發條ノ有效長サハ、目盛檢査ノ目的デ變ヘ
 ラレル事ガ出來或ハ十字線ハ、接眼鏡ニノミ備ヘラレテキテモ良
 イ。器械ハ、ソノ滑リ臺ノ中デ微動ねぢニ依ツテ動カサレル事ガ
 出來ル。荷重ヲ加ヘルニハ、「ハンドル」12ニ依ツテねぢ13ヲ廻スノ
 デアル。「ブリネル」硬度試験ニ用フル時ニハ、圓板6ノ後側ニ1ツ
 ノ球61ヲカカエサセ、試験材料ガ球ニ對シテ當テラレテ後ねぢ63
 ガソノ方向ニネジ動カサレル、材料ガソコデ緊定サレルト、棒67
 ヲ進マセル爲ニねぢ66ヲ廻ス事ニ依リ荷重ガ加ヘラレル。

英 369806 (XIX)
 (June 10, 1931)

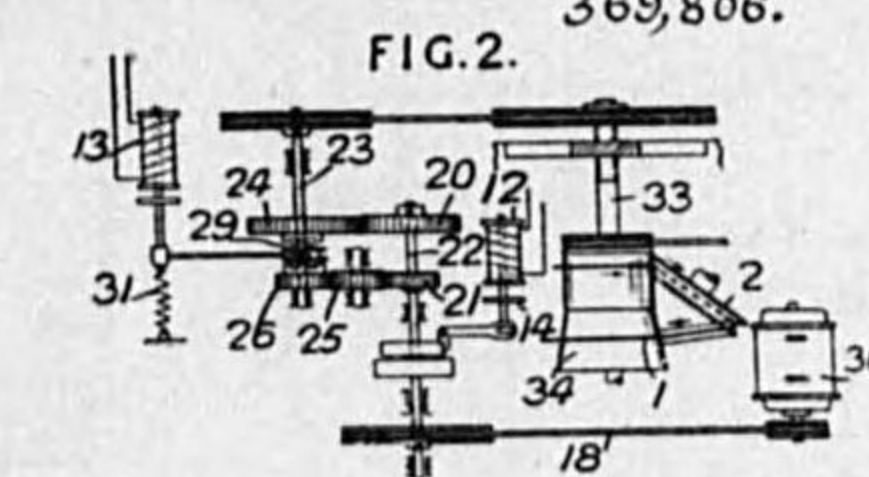
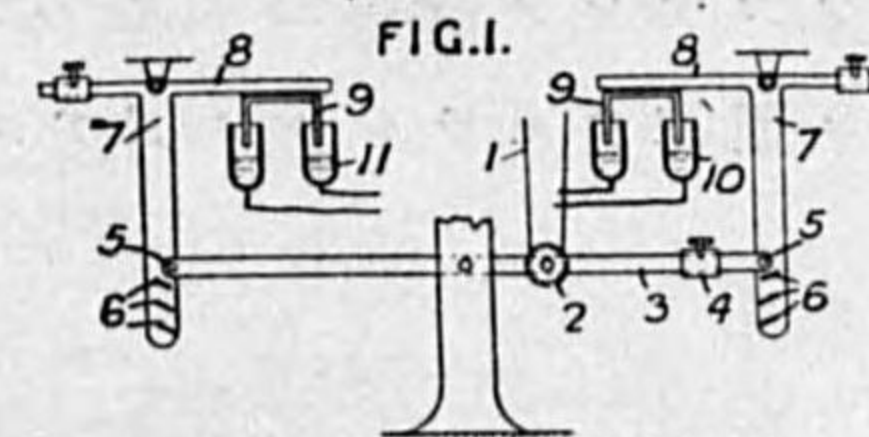
絲ノ強度試験
 Testing strength of yarn

發明者
 Dietz, H.
 Germany

コレハ、絲ノ引張強サヲ連續的ニ試験スル装置ニ關スルモノデ、
 絲ハ連續的ニ送ラレ、環狀ノ形ニサレ、コノ環狀ノ所ニ重リガカ
 ケラレテ、コノ重リガ、絲ノ強サノ弱イ部分ガ通過スル時、絲ヲ
 切ルノデアアル。コノ装置ハ又ねぢヲ切ツタ心棒ノ上ニ乗セラレタ
 圓錐形「ローラ」ヲ持ツテキテ、コノ心棒ハ、環狀部分ノ長サガ普通
 状態カラ離レタ時、ソレヲ元ニカヘ
 ス爲ニ、自働的ニ框ニ對シ相關的ニ
 移動サセラレル様ニナツテキル。

サテ、重リ4ヲ持ツタ「レバー」3ニ
 乗ツテキル廻轉滑車2ハ、試験サレ
 ル絲ノ環狀部分1ニ置カレテキル。
 「レバー」ノ兩端ニアル「ピン」5ハ、2
 ツノ3本ノ腕ノアル「レバー」7ノ垂直
 腕ニアル傾面6ト協同スル様ニナツ

テキテ、腕8ハ接觸9ヲ持ツテキテ、コレハ、「カッブ」10, 11ノ中
 ニアル水銀ト接觸スル様ニナツテキル。11, 12ハ夫々「ソレノイド」
 13, 14ノ廻路ノ中ニアルノデアアル。絲1ハ、心棒33ノ上ニユルク
 ハマツテキル圓錐形「ローラ」34ノ上ヲ通過スルノデアツテ、心棒
 33ハ軸方向ニ動ク棒ニネヂ込マレテキル。コノ心棒ハ、接觸10,
 11ニ依ツテ制御サレル逆轉装置ニ依ツテ、滑車34ヲ軸方向ニ動
 カス爲ニ、一方向或ハ他方向ニ廻轉サセラレル事ガ出來ルノデア
 アル。「モーター」36ハ、「コード」18ヲ通ジテ軸22ヲ驅動シ、コノ軸
 ニハ齒輪21, 20ガアツテ、ソレヲハ夫々軸23ヲ、齒輪20, 24ヲ通
 シテ一方向ニ、又齒輪21, 25, 26ヲ通ジテソレト反對方向ニ驅動ス
 ルノデアアル。通常ハ、「クラッチ」部分29ハ發條31ニ引カレテ齒輪26
 ト係合シテキル。



(226)

サテ環状部分ガ長クナルト、右側ノ「ピン」5ハ傾面6ト係合シ、「レバー」7ヲ傾ケテ接觸10ヲ閉ヂル。カクシテ「ソレノイド」12ヲ働ラカセルトソレガソノ「アーマチュア」14ヲ引キ、軸22ガ驅動サレルヨウニスル爲、發條掛金ヲ一方向「クラッチ」ニ係合サセル様ニ「レバー」ヲ上ニアゲルノデアアル。運動ハ軸33ニ傳ヘラレ、滑車34ハ、環状部分ヲ短カクスル爲ニ軸方向ニ摺動スルノデアアル。「レバー」3ガ前ト逆ノ方向ニ傾クト接觸11ガ閉ジラレ、「ソレノイド」13ガ働ラカサレテ齒輪24ニ「クラッチ」ガ入り、ソコデ軸33ハ前ト反對方向ニ廻轉サセラレルノデアアル。

(227)

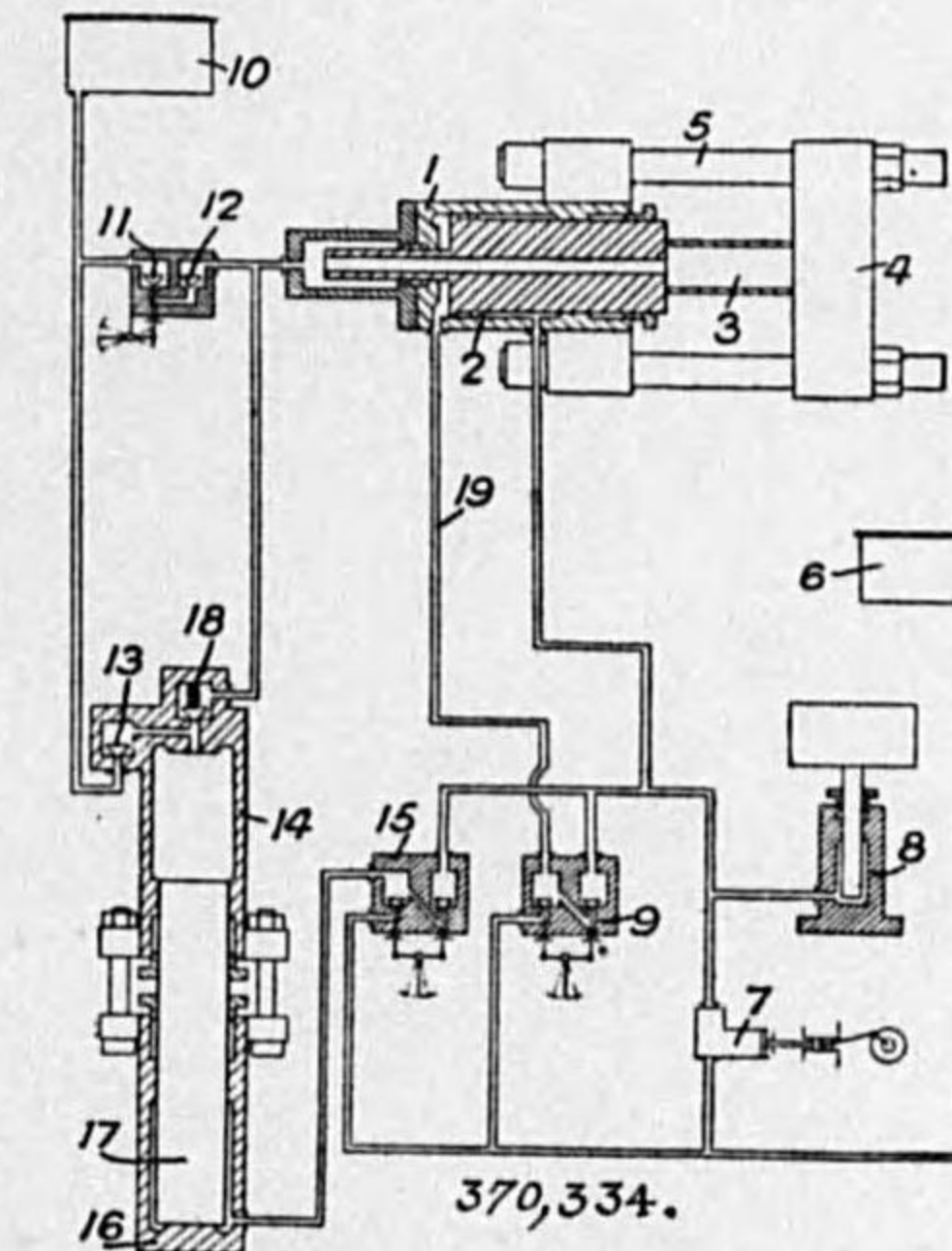
英 370334 (XIX)
(Sept 23, 1931)

「パイプ」ノ強度試験
Testing strength of pipes

發明者
Schlaeman Aist.-Ges.,
Germany

コノ装置デハ、傳達「ピストン」ガ、純粹ノ壓力水ト不純物ノマジツタ水トヲ分ケル爲ニ、壓力水装置ト試験装置部分ノ間ニ挿入サレテキテ、ソノ結果純粹ノ水ヲ經濟的ニ用ヒテキル。試験サレル「パイプ」3ハ、「ピストン」2ト「シリンダー」1ニ棒5ニ依ツテ接續サレテキル移動臺4ノ間ニ緊定サレルノデアアル。壓力機構ニハ、「タンク」6「ボンプ」7及ビ蓄力器8ガ含まレテキル。傳達「ピストン」17ハ、一端ガ「シリンダー」16ニ他端ガ

「シリンダー」14ノ中ニアル様ニ位置シテキル。使用ノ際ニハ、水ト「グリセリン」トヨリ成ル壓力液體ハ、「パイプ」19ヲ通ツテ「シリンダー」1ニ入レラレ、「パイプ」3ガ、試験位置ニ緊定サレテルノデアアル。ソコデ「バルブ」11ガ作働サレテ、天然水ヲ「タンク」10カラ逆止メ瓣ニ及ビ「ピストン」2ヲ通ツテ「パイプ」3ノ中ニ入レルノデアアル。天然水ハ又、逆止メ瓣13ヲ通ツテ「シリンダー」14ニ入



ルノデアアル。ソコデ「バルブ」機構15ガ作働サレテ壓力水ガ「ピストン」17ニ對シテ働ク様ニサレル。スルト荷重ヲカケラレテキタ「バルブ」18ガ開ガレ、「バルブ」12ガ閉ヂラレル。ソシテ「パイプ」3ハ、試験壓力ノモトニ置カレルノデアアル。試験後ニハ、純粹壓力水ハ、「ピストン」17ノ沈降重力ニ依ツテ「タンク」6ニ返サレ、一方「パイプ」3ノ取ハズレハ、壓力水ヲ、「バルブ」9ヲ操縦スル事ニ依リ「シリンダー」1カラ「パイプ」19ヲ通ツテ返ラセル事ニ依ツテナシトゲラレル。

動力試験機

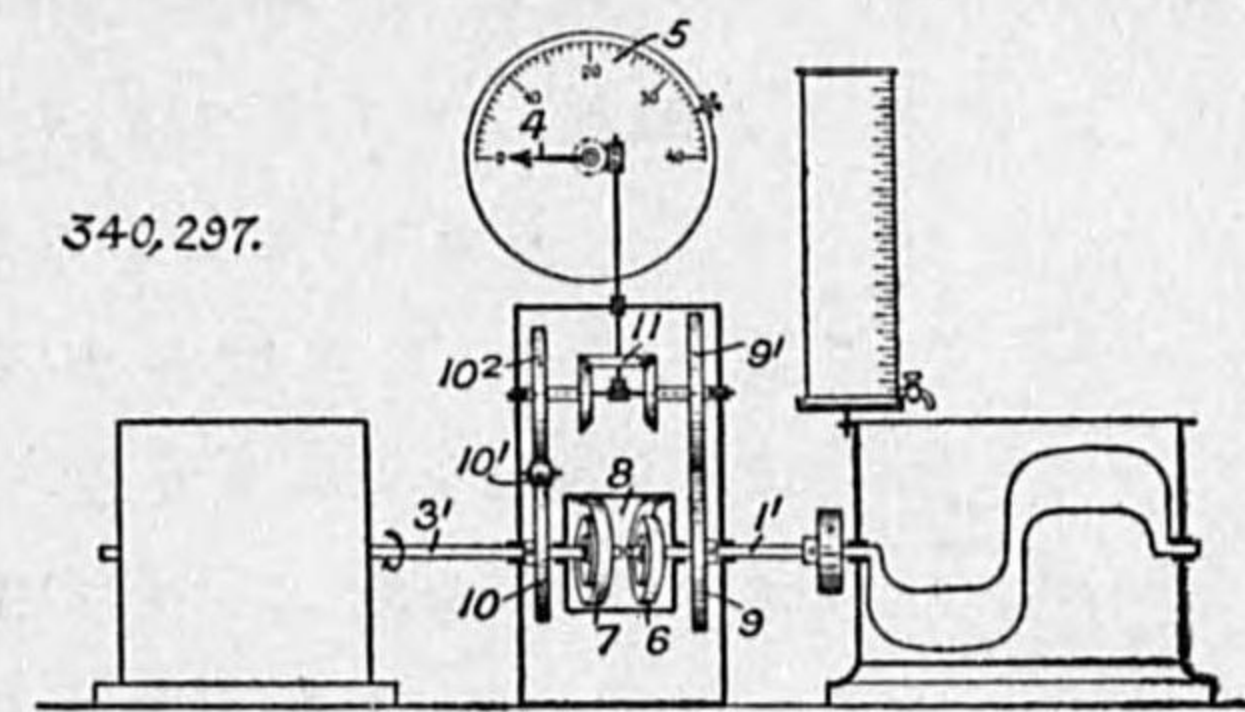
(動力計)

英 340297 (XIX)
(Aug. 29, 1929)

動力計
Dynamometers

發明者
Hankoczy, E. de,
Kis Rokus Ucca, Budapest.

捏和機ニ於テ消費サレル動力ヲ測定スル装置ハ螺旋發條連結裝
 置 6, 7 ニヨツテ傳動軸 3' ヲ捏和機軸 1' ニ結合スルタメニ設ケタ
 函 8 ヲ備ヘテキル。2 ツ
 ノ軸ノ角度ノ變差ガ目盛
 5 ノ上ヲ動ク且ツ夫々捏
 和機軸及ビ傳動軸ニ於ケ
 ル「ピニオン」9, 10 ニ連結
 サレタ「ピニオン」9', 10' ニ
 ヨツテ動カサレル軸ノ差
 動ニヨツテ廻轉サレル傘齒車 11 ニ連結シテ操作サレル指針 4 ニヨ
 ツテ示サレル。

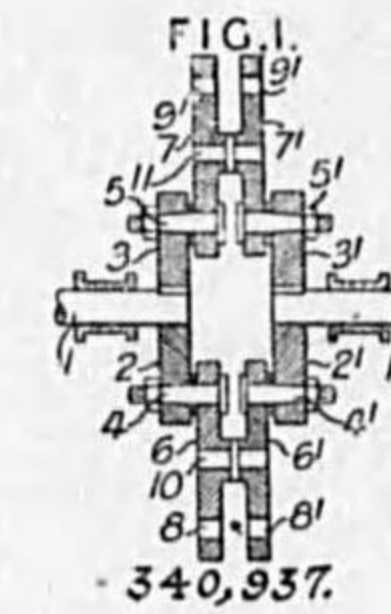


英 340937 (XIX)
(Sept. 30, 1929)

廻轉傳達動力計
Rotary-transmission
dynamometer

發明者
Kohno. S.
Miyagiken, Japan

2軸間ノ相對的捻レガ遠心力系ノタメニ妨ゲラレテキル種類ノ、
 傳達動力計トシテ使フコトノ出來ル緩衝式接手デハ、1組若シク
 ハ數組ノ大キナ「リンク」ガ、兩方ノ軸ノ、或隔タリヲ持ツテ對向シ
 テキル兩端上ノ腕ニ「ピボット」サレテヨリ、各組ノ「リンク」ハ、ソノ
 重心位置ト一致シテキル處ノ中點デ「ピボット」サレ
 テキル。連結サレタ軸 1, 1' 上ノ腕 2, 2', 3, 3' ハ成
 ルベクハ圓板「クランク」7ノ形ヲナシ、「リンク」6,
 6', 7, 7' モ成ルベクハ圓板形ヲナシ、前者ニ「ピン」4,
 4', 5, 5' デ「ピボット」サレ、且ツ互ニ中點デ 10, 11 ニ
 ヨツテ連結サレテキル。孔 8, 8', 9, 9' ハ「クランク・ピ



ンノ孔ト鈎合ハセルタメニ穿タレタモノデアル。接手ノ捻レハ「リ
 ンク」ノ干涉ニヨツテ積極的ニ制限セラレテキル。被動軸ノ廻轉速
 度ト後レノ角度ヲ計レバ、具ヘラレタ公式カラ傳達サレル動力ハ
 正確ニ計算スルコトガ出來ル。此ノ裝置ハ、兩軸ノ平行ノズレモ
 許シ、且ツ接合部分ニ遊ビガアルカラ、或程度兩軸相互ガ傾イテ
 キテモ差支ヘナイ。「リンク」ト「クランク」腕トガ只ダ1組デモ、(成ル
 ベク、調整シ得ル鈎合重リヲ附シテ)差支ヘナイ。ソノ場合ニハ、
 「リンク」ノ有效長サガ「クランク」腕ノ長サヨリ短イノデナケレバ、低
 速度デハ「トルク」ガ少ナイカラ、始動ヲ容易ニスルタメニ、積極的
 ニ働ク「クラッチ」ノヤウナ補助機構ヲ必要トスル。此ノ裝置デハ重
 力作用ニ基ヅク後レノ角度ノ増減ハ高速度ノ場合ニハ無視スルコ
 トガ出來ル。

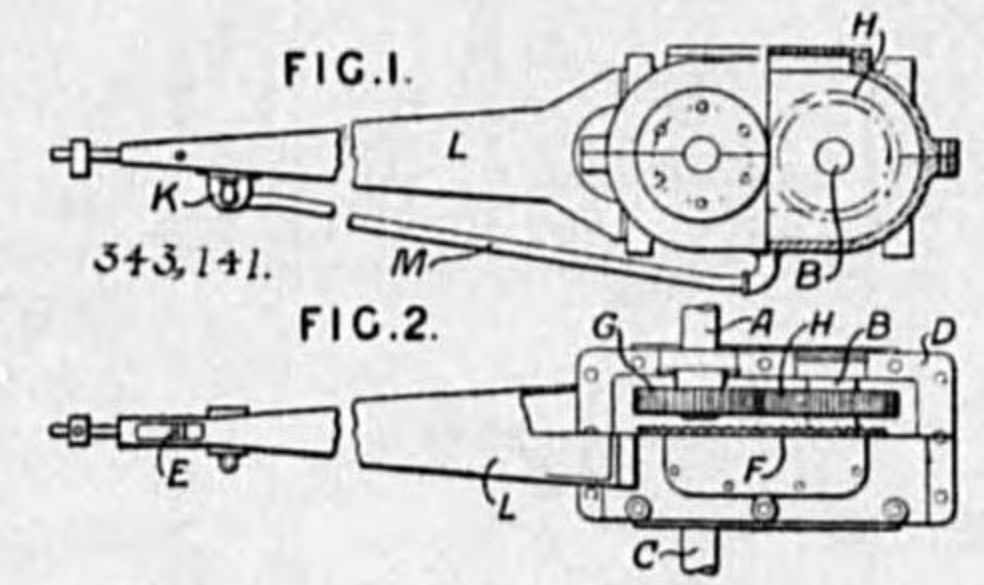
動力計
Dynamometers

發明者
Giffew, E and White, C. M.
King's Colledge, Strand, London

英 343141 (XIX)
(Nov. 14, 1929)

何レヲ驅動軸トシテモ差支ヘナイ、2本ノ同一直線上ニ並ベラ
レタ主軸ノ相對向スル端ノ周リニ「ピボット」式ニ乗セラレタ函ト、
函内ニ取付ケラレタ副軸トヨリ成リ、一方ノ主軸ト副軸トノ間ハ
平齒車裝置ヲ以テ、他方ノ主軸ト副軸トノ間ハ鎖ヲ以テ運動ヲ傳
達スル。函ハ1個ノ油風呂ヲナシ、之ニ固定セラレタ腕ニ取付ケ
ラレタ補助油槽ニ管ニヨツテ連絡スル。此等ノ油槽ハ、兩者ノ油
面ノ變化ニ基ヅク不安定ヲ除去ス

ルヤウナ形ニ作ラレテキル。第2
圖ニ於テ、主軸Aハ平齒車G,Hニ
ヨツテ副軸Bニ嚙合ヒ、主軸Cハ
鎖Fニヨツテ軸Bニ連絡スル。運
轉中ハ、軸ACノ周リニ「ピボット」



サレタ函Dノ反動ハ、傳達セラルベキ「トルク」ニ比例スルカラ、之
ヲ衡器式ノ機構ニヨルカ、又ハ函Dニ固定シタ腕L上ノ支エ双E
カラ吊シタ重リデ測レバヨイ。補助油槽ト連結管トハK及ビMデ
示シテアル。檢定スル場合ニハ、「クラッチ」ヲ用ヒテ、運動部分ノ
1ツノ連結ヲ外セバヨイ。

(236)

アル。ソシテ車輪ニ依ツテ支ヘラレル荷重ハ傳達サレ、「ウオーム」ハ、ソノ發條ニ抗シテコンナ抵抗ガ釣合サレル迄動クノデアアル。普通實際ノ場合ニハ、制動ハ半行程ニ於テカケソシテ附加抵抗ヲ測定スルトソレガ車輪ニ依ツテ支ヘラレテキル重サト荷重ニ依ルモノト丁度等シイノデアアル。

(237)

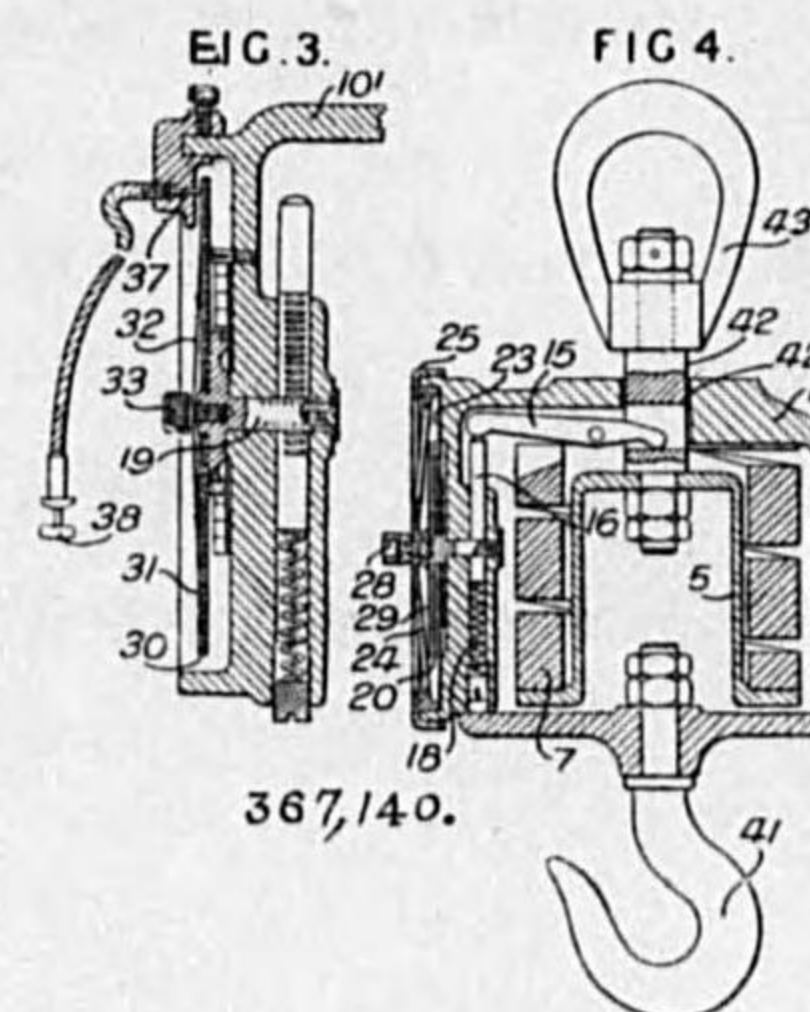
英 367140 (XIX)
(Jan. 23, 1931)

動力計
Dynamometer

發明者
Michelin Et Cie,
France

第4圖ニ示スモノハ起重機連結器ニ應用シタ動力計デアツテ荷重ハ、發條支持枠筐10ニ取付ケラレタ鍵41ニ依ツテ支持サレル。ソシテ錨付圓筒5ニハ發條7ガ取付ケラレ、コノ圓筒ハ釣眼43ニ依ツテカカエラレテキル。ソシテ支持棒42ノ周リニ間隙42'ガアル爲、棒ト枠筐10ノ間ノ相互側面運動ガ來ル様ニナツテキル。サ

テ荷重ガ壞サレルト、發條7ハ壓縮サレ、「レバー」15(コレハ支持棒42ニ發條18ニ依ツテ常ニ接觸サセラレテキル)ハ、「ラック」16ヲ押下ゲ、ソレニ依ツテ指針20ハ目盛23ノ上ヲ廻轉スル。目盛板ハ、星形24及ピねぢヲ切ツタ環25ニ依ツテシツカリト取付ケラレテキル。4角ノ受口28ニ依ツテ廻サレル第2ノ指針29ハ、荷重ガ取去ラレタ後ニモ讀ヲ



示シテキルヨウニ、指針20ト一致シテ置カレル。第3圖ニ於テハ指示心棒19ハ板30ヲ持ツテキテ、ソノ上ニ取換エ出來ル紙製圓板31ガ撓性ノ座板32ト蝶ねぢ33ニ依ツテ取付ケラレル。止メ37ハ押壓鉤38ニ依ツテ作働シ、コノ止メハ、枠筐10ニ調節出來ル様ニ取付ケラレテキル。裝置ガ一杯ニ荷重サレルト、運用者ハ鉤ヲ押壓シテ、圓板ノ上ニ印ガツケラレルヨウニスル。コノ場合ニハ、圓板ニハ目盛ガツケテ無クテ、圓板ノ上ニ印ヲツケラレタ荷重ハ、透明目盛ノ手段ニ依ツテ決定サレル。

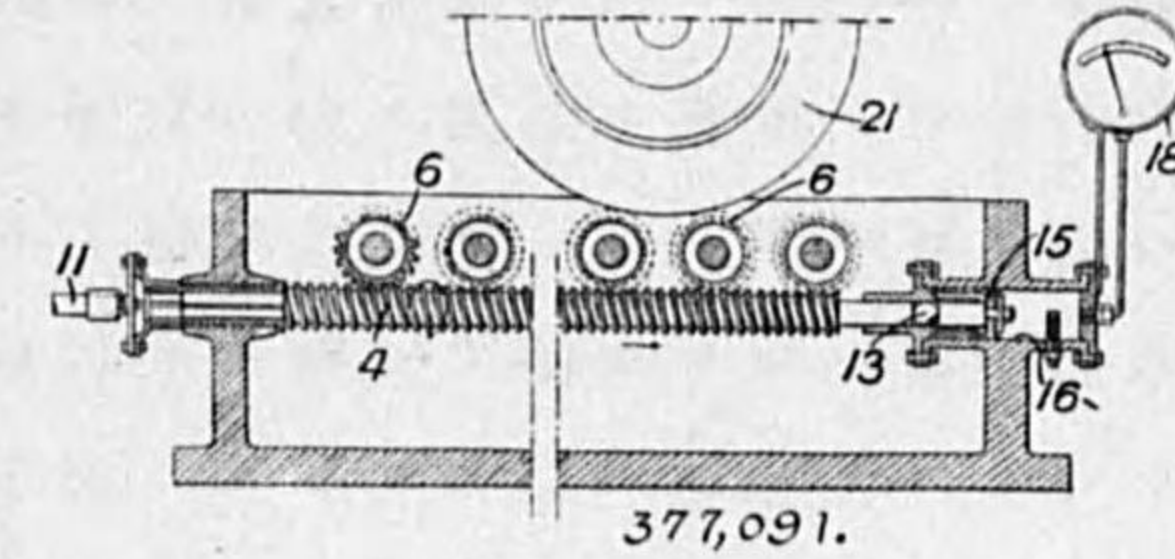
英 377,091 XIX
(Dec. 31, 1931)

車輛制動機ノ動力的試験
Testing vehicle brakes
dynamometrically

發明者
Soc. Des Procedes Fit
France

コレハ車ノ軸ニ加ハル荷重ヲ決定シ及ビ制動装置ノ效果ヲ試験
スル装置デアツテ、「ウォーム」

4ハ主軸11ニ依ツテ廻轉サレ、
コノ「ウォーム」ハ、車ノ車輪21
ヲ支持シテキル「ローラー」6ト
嚙合ツテキル。「ウォーム」ノ軸
方向ノ推力ハ「ピストン」15ニ傳



ヘラレ、「ピストン」ハ、「シリンダー」16内ノ液體ヲシテ壓力計18ヲ働
ラカセルノデアル。13ハ球デアツテ「ウォーム」ト「ピストン」ノ間ニ挿
入サレテキル。車輪ガ制動ヲハズサレテキル時ニハ、壓力計ハ車
輪ニ加ハル荷重ヲ指示スルノデアル。モシ車輪ガ制動サレルト、
壓力計ノ讀ハ制動抵抗ニ比例シテ増加サレル。

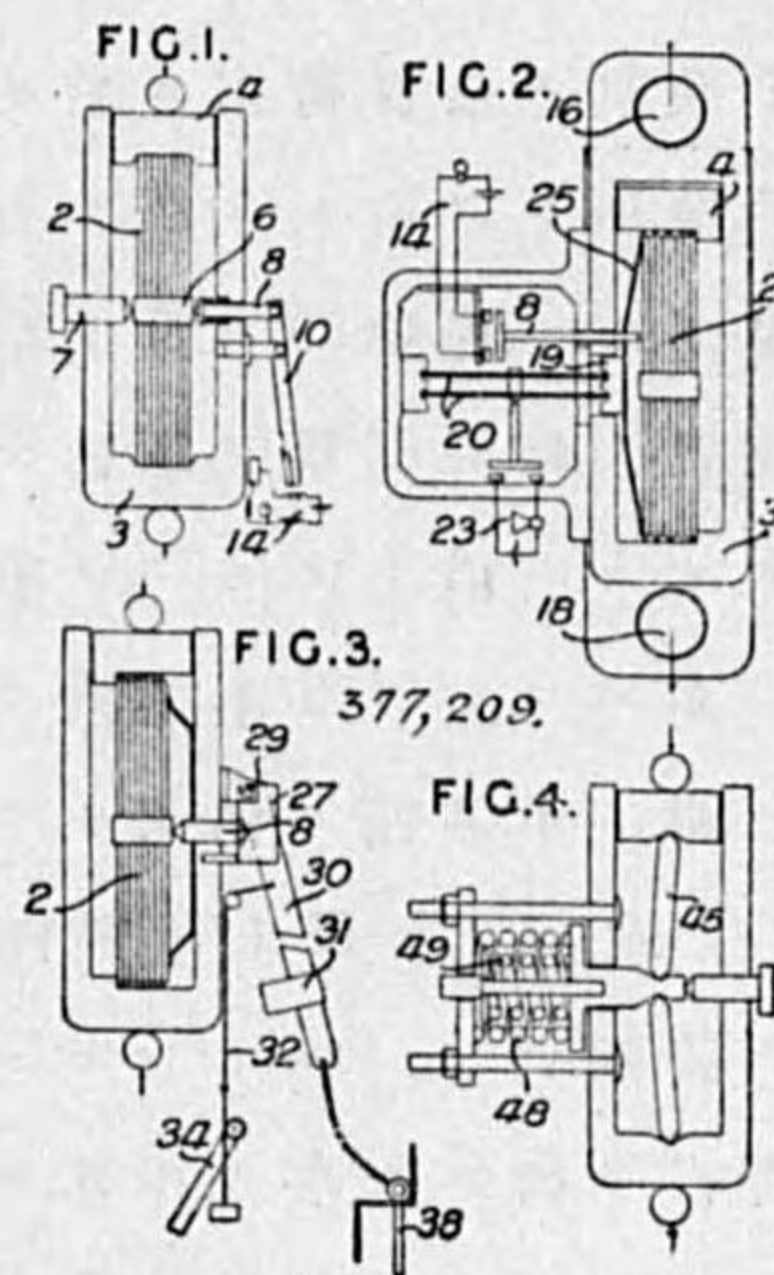
英 377,209 XIX
(April 14, 1931)

動力計
Dynamometer

發明者
Wylie, H. N.
England

コレハ豫定ノ荷重ニ達スルトソレヲ知ラセル指示或ハ警報ヲ與ヘル装置デアツテ、或ハ又連続的ナ豫定荷重ニ於テ連續的ニ警報ヲ與ヘルニモ用ヒラレ、起重機械或ハ他ノ機械ニ應用スル事ガ出來ル。コノ装置ハ壓縮頭部 3, 4 ヲ持ツテキテ、コレ等ハ互ニ他ノ方ヘ彈性的或ハ接合サレタ抗壓材 2 ニ抗シテ動カサレル事ガ出來ル。コノ抗壓材ガ歪ムト警報ヲ働ラカセタリ或ハ連續的ニイクツモノ警報ヲ働ラカセタリ或ハ又機重機其他カラ來ル動力ヲ中斷シタリスルノデアル。コノ装置ハ起重機ノ昇降索ノ様ナ撓性引張部材ニツナガレテ荷重ヲカケラレルノデアル。

圖 1 ニ示スモノデハ、抗壓材ハ一群ノ薄鋼鐵板ヨリ成立ツテキル、コレ等ハ 6 ニ於テ中心ヲ一結ニ止メラレテ居リ、ソレ等ノ端部ハ夫々直角ヲナシテキル。上記ノ薄板ハ押ねぢ 7 ニ依ツテ最初ニスコシ振レヲ與ヘラレ、コノ振レノ量ガ臨界荷重ヲ決定スルノデアル。頭部 3, 4 ニ加ハル荷重ガ臨界値ニ達スルト、薄板ハ實際ニ屈曲シ、カクシテ棒「ピストン」8 及ビ



「レバー」10 ヲ働ラカセ「ラムプ」回路 14 ヲ閉ジルノデアル。コンナ形ノ抗壓材ニ依ツテ支持サレル荷重ハ、振レガ増スニ從ツテ減少スルノデアル。シカシモシ抗壓材ノ端部ガ圖 2 或ハ圖 3 ニ示ス如ク斜面ヲナシテキルト、ソノ爲荷重ハ軸方向ニ加ハラズ、抵抗ハホンノ僅カシカ減少セズ或ハ振レガ増スニ從ツテ抵抗ハ増ス事サヘアルノデアル。圖 2 ニ示スモノデハ、張力ガ「ピン」16, 18 ニ加ヘラレルト頭部 3, 4 ニハ壓縮荷重ガカハリ、ソノ爲抗壓材 2 ハ左ノ方

(242)

ニ曲ガル。ソシテ棒 8 ヲシテ豫定荷重ニ於テ電氣回路 14 ヲ閉ジサセルノデアル。次ニ抗壓材 2 ハ壓縮頭部 19 ニ働ラキ、荷重ガナホ更ニ増加スルト第 2 ノ抗壓材 20 ガ外ラサレテ、一層大キナ豫定荷重ニ於テ第 2 ノ警報ヲ發スル爲回路 23 ガ閉ジラレルノデアル。抗壓材ハ荷重ガカ、ツテキナイ時ニハ、發條 25 ニヨツテ制御サレテキル。回路 23 ハ可聽警報ヲ發スル事ガ出來ル様ニナツテ居リ或ハ起重機其他ノ機械ヘノ主電流ノ供給ヲ斷ツ様ニスル事モ出來ル。圖 3 ニ示スモノハ別ノ型デ 2 ツノ豫定荷重ヲ指示スル様ニナツテキル。棒「ピストン」8 ハ、29 ノ所デ樞着サレタ片 27 ニ接觸シテキテ、片 27 ニハ桿腕 30 ガ取付ケラレテキル。コノ腕ハ、「コード」32 ニ依ツテ最初ノ臨界荷重ニ於テ警報用腕 34 ヲ働ラカセ、次ニ抗壓材ノ更ニ増加シタ振レニ於テ可聽警報ヲ與ヘル重リヲツケタ棒 38 ヲ上ニ揚グル。桿腕 30 ハ重リ 31 ヲ持ツテキテ、コノ重リハソノ重量或ハ位置ヲ臨界荷重ヲ調節スル爲ニ變ヘラレル事ガ出來ル。圖 4 ニ示スモノハ以上ノモノノ變形デアツテ、上記ノ抗壓材ハ支エ刃ノ間ニ支エラレタ 2 本ノ曲ラナイ棒ニ置換エラレテキル。ソシテ最初ハ圖ニ示ス様ニ傾斜シテキテ、荷重ガ加ハルト、次々ニ作働スル 2 ツ或ハソレ以上ノ發條 48, 49 ニ依ツテ抑制サレルノデアル。コノ裝置デハ、棒ト「レバー」トニ依ツテ前述ノ裝置ト同様ニ連續的ニ警報ヲ發スル事ガ出來ル。コノ裝置デハ、使用發條ノ強サノ如何ニ依ツテ、振レヲ果斷的ニシタリ或ハ漸次的ニシタリスル事ガ出來ル。發條ハ重リヲツケタ「レバー」ニ置換エラレテモ良イ。

粘 度 計

英 345,208 XIX
(Dec. 12, 1929)

粘 度 計
Viscosimeters.

發 明 者
Vereinigte Glanzstoff-Fabriken,
Akt.-Ges. (獨)

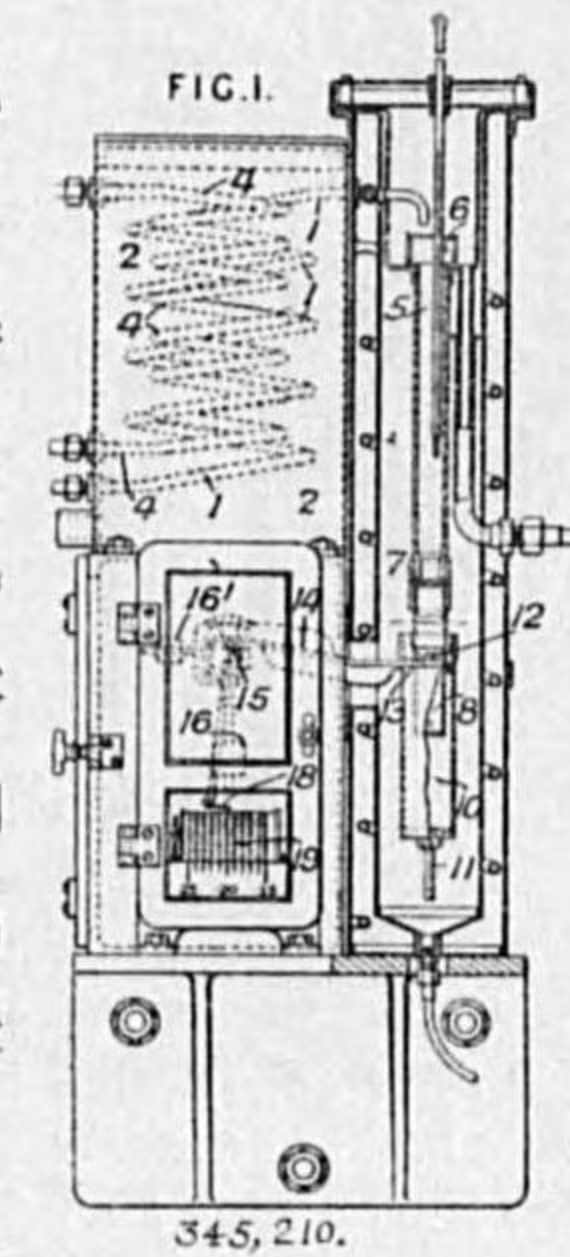
銅・「アンモニウム」・「セルローズ」溶液用ノ粘度計ガ、次ノヤウナ管ヲ包含シテキル。即チ、ソノ管ハ、直径ガ 15 mm. デ、10 c.cs. ノ容積ヲ圍ム 2 ツノ標印ヲ有シ、ソノ兩端ニハ、孔ノアイタ「ゴム」栓ヲ嵌メテアル。ソシテ、ソノ「ゴム」栓ニハ、2 mm. 毛管ガツイテキル。下ノ方ノ毛管ハ長サガ 15 cms. デ、ソノ端ハ、下ノ標印カラ 1.5 cms. 離レテキル。10 c.cs. ノ溶液ガ毛管ヲ通過スルニ要スル時間ヲ、水ノ値デ除シタモノガ、「セルローズ」ノ粘度ニナル。

英 345,210 XIX
(Dec. 14, 1929)

粘 度 計
Viscosimeters.

發 明 者
Hodgson, J. L. and
Dall, H. E. (英)

連続的に指示或は記録スル器械ガ、次ノヤウナ装置ヲ包含スル。即チ、温度ノ判ツテキル管ヲ通ツテ、容積流量ガ一定ノ割合ニナルヤウニ、液體ヲ供給スル装置ヲ包含スル。ソシテ、ソノ管ヲ横切ツテノ壓力ノ差ハ、流レガ確實ニ“薄板”型ニナルヤウニ、常ニ充分低クシテアル。器械ハ、又、管ノ兩端間ノ壓力差ヲ指示シ記録スルタメノ装置ヲモ包含スル。液體ノ通ツテキル「パイプ」カラ。ソノ液體ノ資料ヲ間斷ナク流シ、資料ハ、定温ニ保ツテアル容器 2 内ノ「コイル」1 ヲ通ツテ流レル。コノ「コイル」ハ、開口容器 5 内ニ送り出ス。開口容器 5 ハ、溢レ堰 6 ヲ有シ、又底ニ孔 7 ヲ備ヘテキル。液體ハ、コノ孔 7 ヲ通ツテ、一定溶差ノ下ニ流出スル。ソノ溶差ハ、吐出ガ“薄板流レ”條件ヨリモ大キナ割合ニナルヤウニ、充分大キク選ンデアル。吐出ハ、中間容器 8 へ通ル。コノ中間容器 8 ハ、容器 5 カラ支ヘラレテオリ、ソノ閉塞底ノ近クノ側壁ニ吐出孔ヲ備ヘテキル。吐出ハ、次ニ容器 10 へ通ル。容器 10 ハ、毛管出口 11 ヲ備ヘ、流レハ、“薄板”型ニナツテ、コノ毛管出口 11 ヲ通ル。容器 10 ハ、梁 14 ノ二又 13 上ノ支ヘ双 12 上ニ釣ラレテキル。又梁 14 ハ、支ヘ双 15 上ニ支持サレテ居リ、振り子錘 16 ニヨツテ制御サレル。ソシテ、亦加減錘 16' ヲ備ヘテアル。梁 14 ニ「ペン」18 ヲ取り附ケ、「ペン」18 ハ、液體ノ實際ノ粘度ヲ示スヤウニ目盛ツテアル尺度 19 上ヲ動ク。



345, 210.

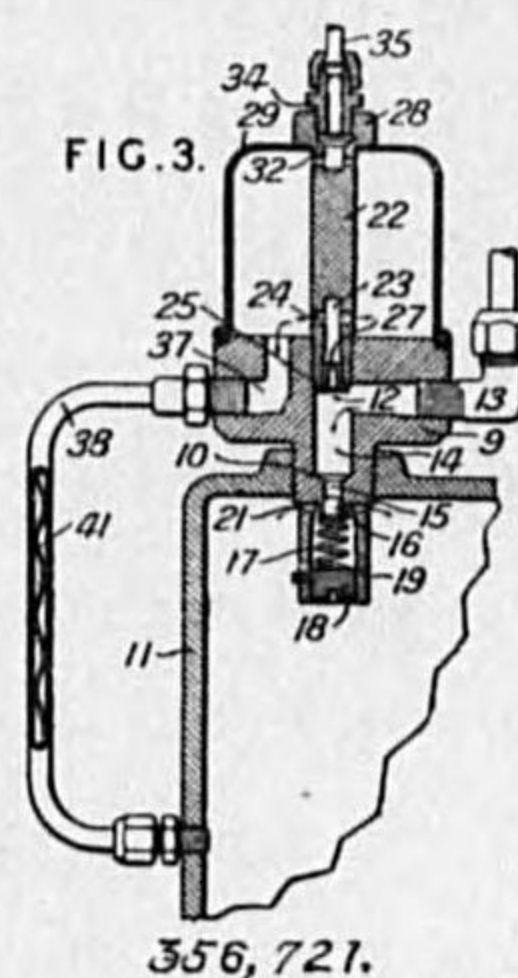
英 356,721 XIX
(April 8, 1930)

液體ノ粘度試験
Testing viscosity of
liquids.

發明者
Mapel, L. A. (米)

機構ノ連續給油ヲスルタメノ回路内ヲアル壓力ノ下ニ流レテキ
ル減摩劑ノ粘度ガ、變化スル状態ヲ、連續的ニ指示スル裝置ニ關
スルモノデアアル。コノ裝置デハ、「ゲージ」ハ、給油回路或ハソノ分
枝回路ニ連結シテアツテ、絶エズソノ回路ノ壓力ヲ受ケ、コノ壓
力ニヨツテ、減摩劑ノ粘度ヲ指示スルノデアアル。コノ裝置ハ、亦、

「ゲージ」回路ニ實質上不變ノ壓力ヲ課スルタメノ
加減器ガ、粘度指示裝置ノ手前ニ連結シテアル。
コノ發明ニハ、自働車ノ給油系ニ應用シタ場合
ヲ述ベテアル。「ベース」9ハ、「クランク」室11ニネ
ジコンデアル。入口通路12ハ、取り附ケ13ヲ經
テ「パイプ」系ト交通シ 亦、球瓣16デ閉ヂラレタ
制限15ヲ有スル下向キノ通路14トモ交通シテキ
ル。ばね17ハ、ねじ18デ加減スルコトガ出來
ルノデアアルガ、之ハ、球ニ作用シテキテ、延長10



ノ管形端19内ニ圍マレテキル。油ハ、溝孔21カラ吐出スコトガ出
來ル。通路14ノ上端ニハ、心棒22ヲネジコンデアツテ、コノ心棒
22ハ、ソノ下端ニ、出口通路24ヲ有スル軸方向ノ孔23ヲ持ツテキ
ル。コノ孔23ニ、流レ口栓25ヲネジコンデアリ、栓25ハ、流レ口
ノ近クデ各側ニ張り開イテキル。鐘形室29ハ、「ヘッド」28へ鐵附ケ
シテアリ、ソノ下端ハ、「ベース」9ニアル環狀凹ミ内ノ「ガスケット」
ニハマルヤウニ「ロール」シテアル。心棒22ノ上部ニアル孔32ハ、取
り附ケ34ヲ通シテ、壓力「パイプ」35へ交通シテオリ、コノ「パイプ」35
ガ壓力計へ通ジテキル。胴體9ハ、「パイプ」38へ連結シテキル出口
通路37ヲ持ツテオリ、ソノ「パイプ」38ハ、「クランク」室へ通ジテキル
ノデアアルガ、ソノ中ニハ、不規則ナ形ニ曲ゲタ針金41ヲ含ンデキ
テ、油ノ流レニ妨害ヲ與ヘル。「パイプ」系カラノ油ハ、濾過器ヲ通

(248)

過シタ後ニ、通路12へハ入ツテ來テ、流レ口27へ通ル。ソノ際逃シ瓣16ガ、導管14内ノ壓力ヲ一定ニ保持スル。油ハ、靜カニ通路24ヲ流レ出テ、圍イ29内へハ入り、「パイプ」38ヲ通ツテ流レ去ル。室29内ノ空氣ハ、抵抗管38デ起コサレタ逆壓ニヨツテ押サレル壓力ノ下ニアリ、コノ壓力ヲ、次ノヤウナ尺度ヲ備ヘテキル「ゲージ」上ニ指示サセルノデアル。即チ、ソノ「ゲージ」ハ、“低”、“通常”及ビ“高”粘度ヲ指示スル尺度ヲ備ヘテキル。給油系ノ壓力ハ、乗り物ノ構造ニヨツテ變化スルカラ、モシ必要ナラバ、壓縮ノヤウナ手段ヲ講ジテ、壓力ヲ、コノ粘度指示裝置ニフサハシイ値ニ導ビカネバナラナイ。給油系ノ油ノ循環ニハ、油ト共ニ空氣ノ泡ガ伴ツテキル。コノ氣泡ハ、例ヘバ流レ口ヲ通過スル時ノヤウニ、壓力ガ突然ニ減少スル時ニハ、止マル。從ツテ室29内ノ空氣ハ、アル範圍マデハ、コノ源カラ補充サレル。又、コノ裝置ガ使用サレテキナイ時ニハ、油ハ、「クランク」室へ歸ヘツテ來、裝置ガ冷却シテキル間ニ、幾何カノ新鮮ナ空氣ガ、「パイプ」38ヲ通シテ、又瓣16ヲ通シテ、吸ヒコマレル。コレニ、瓣16ハ、ピツタリトハ嵌マツテキナイノデアル。

記 録 裝 置 指 示 裝 置

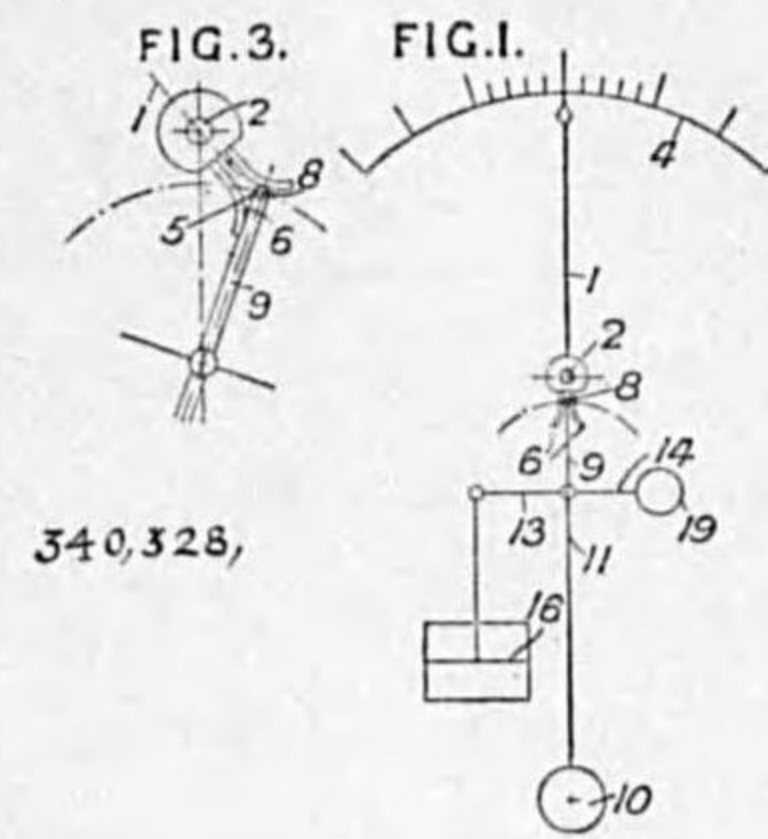
英 340328 (XIX)
(Sept. 11, 1929)

指示装置
Indicating-apparatus.

發明者
Reid and Sigrist, Ltd., and Moss,
D. G. K.
Kingston-on-Thames

傾斜計或ハ他ノ測定器ニ於テ、軸止メシタ指示部ノ運動ガ傾斜計ノ可動部分ノ傾斜或ハ他ノ角運動ノ小ナルトキニ最大デアリ、且ツ真ノ運動ガ増加スルトキ減少スルガ如ク、傾斜計或ハ他ノ測定装置ノ可動部ガ動作スルガ如ク軸止メシタ指示装置ニ連結サレル、制動壺ノ「ピストン」16 及ビ平衡重錘 19 ニ連結サレタ腕 13, 14 ヲ備ヘテキル部分 9, 11 ニ於ケル、調節シ得ル振子分銅10ヲ備ヘテキル傾斜計ニ使用スルガ如キ、第1圖及ビ第3圖ニ示スガ如ク、動き得ル腕9ハ目盛4ト作用スル指針1ノ軸2ノ周リニ對稱

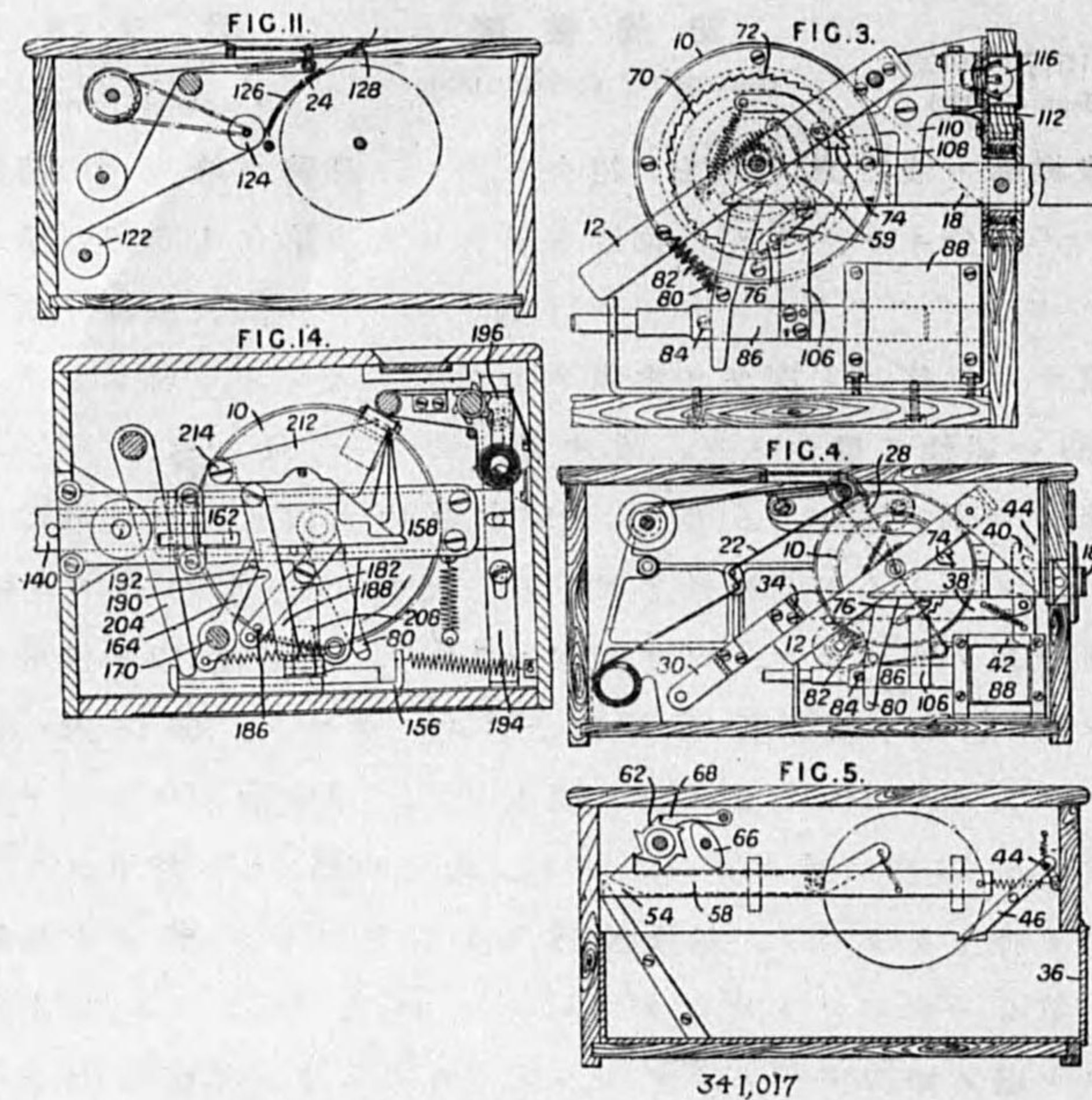
的ニ配置サレル「カム」ノ溝5ト作用スル轉子8ヲ備ヘテキル。「カム」ノ溝ノ形ハ面6ニ沿ヘル等間隔ノ點ノ軸2カラノ距離ハ、長サニ於テ常ニ増加スルガ如ク作ラレ、ソレ故ニ腕9ノ等シイ角運動ニ對シテ指針1ノ角運動ハ減少スル。



340,328,

英 341017 (XIX) 記録装置 發明者
 (Sept. 5, 1929) Recording mechanism. Wary, D. L.
 Cranleigh, Surrey

記録機構ハ液体流出装置ト組合ハサレ、任務ヲ終レバ、装置ハ只1ツノ部分ニヨツテ零ノ位置ニ戻サレル。第3, 4, 5圖ニ示スヤウニ、「ポンプ」ノ「クランク」ニヨツテ廻サレル「カム」ハ、液体ガ半「ガロン」排出サレル毎ニ1度ツツ水銀「スイッチ」ヲ入レル。斯シテ「ソレノイド」88ハ磁性ヲ發生スル。鐵片86上ノ「ピン」84ハ「ベル・クランク」挺ノ腕80ヲ前ニ引バリ、爪76ヲ印字輪10ノ内ニアル爪車72ニ引カケル。「ソレノイド」ガ磁性ヲ失ヘバ、發條82ハ爪76ヲシテ輪10ヲ1齒分ダケ進マセル。ソコデ「ピン」108ハ、板發條112ノ作用デ搖動スル處ノ、3本腕ノ挺110ヲ沮止スルノヲ止メ、挺18内ノ切缺キ嵌マツテキル110ノ止メ腕ヲ引上ゲル。印字輪ハ「ピボット」サレタ「フレーム」12内ニ乗セラレテヨリ、此ノ時挺18ヲ押下ケルコトニヨツテ押上ゲラレテ、記録紙22ト「インク・リボン」28トヲ接觸サセル。第2ノ「ピボット」サレタ「フレーム」30ハ、「フレーム」12上ニ乗ツテキル處ノ棒34デテキテヨリ、ソノ右方ニ延ビタ部分38上ニ發條デ拘束サレタ「ピボット」止メノ鈎40ヲ持ツテキル。挺18ガ動かサレルト、鈎40ガ「ピン」42カラ外レテ搖動シ「ピン」44ニ引カ、ル。44上ニハ抑子46ガアリ、現金抽出36ノ縁ニアル切缺キニ引カカル。挺18ガ戻ルト共ニ鈎40ガ落ちルカラ、抑子46ガ引出サレ、發條デ動かサレル棒54ノ1部トノ接觸ニヨツテ自然的ニ開カレル。同時ニ棒54上ノ爪58ガ紙「リール」ノ心棒上ニアル爪車62ヲ廻シ、「リール」ハ斯シテ進メラレル。函外ニアル取手ニヨツテ廻サレル「カム」66ハ、爪68, 58ヲ押開ヒテ、記録ヲ終ツタ「リール」ヲ引出サシメル。輪10ヲ上ゲレバ、爪76ノタメニ輪ヲ進マセタ後、發條82ヲシテ、爪車トノ嚙合カラ輪ヲ上ゲシメ、之ヲ鐵片86ニ固定シテアル突出部106ノ上端デ支エシメル。尾片59ハ止爪74ヲ上ケ、輪10ヲ渦卷發條70ノ彈力デ零ノ位置マデ戻サセル。零ノ位



341,017

置ハ「ピン」108ガ挺110ニツキ當ルコトニヨツテ決定セラレ、後者ハ又挺18ノ鎖定ヲモ解除スル。板發條112ハ、記録ヲ行フ間ダケ照明ヲ行フ「ランプ」116ノ「スイッチ・コンタクト」トシテモ働ク、任意ノ數ノ印字輪ヲ1ツノ函ニ收メルコトモ出來ルノデアツテ、各輪ガ「ポンプ」ノ番號ト一緒ニ、出タ液ノ量ト價格トヲ記録スルタメノ「タイプ」ヲ持ツテキル。1枚ハ切取ラネバナラナイ複式記録モ、順次ニ轉子124(第11圖)ノ下、曲ツタ案内126ノ上、印字板24ノ下ヲ通ツテ溝孔128カラ外ニ出ル處ノ紙片ヲ持ツタ「リール」122ヲ加ヘレバ行フコトガ出來ル。轉子124ハ第1ノ紙「リール」ノ心棒ニ啗合ツテキルカラ、第2ノ紙片ハ第1ノモノノ約6倍ノ速サデ動ク。「インク・リボン」ハ「タイプ」ト第2ノ紙片トノ間ヲ通り、此ノ紙片ト裝置中ニ保存サルベキ紙片トノ間ヲ通ツテ歸ル。之ガ變形デハ、電

氣的操作ノ代リニ「パウデン・スイヤー」ヲ使ヒ、挺18ノ代リニ、數個ノ「キー」ノ内ノ任意ノ1個ニヨツテ動かサレル中空ノ鎖定桶ガ使ハレル。ドノ「キー」使用者ニ責任ガアルカヲ明カニスル記録モデキル。「ピボット」サレタ中空ノ挺158中ニ「キー」140ヲ差込メバ先ヅ抑子162ガ横ニ押ノケラレル。斯シテ挺164ガ解放サレテ前ニ落ち、ソノ1端ガ「キー」ノ下側ニアル凹ミノ内ニ飛込ンデ、引抜クコトガ出來ヌヤウニナル。腕164ノ心棒170ニハ1本ノ腕ガツイテヨリ、之ニ「ポンプ」ノ「プランヂャー」ノ行程内ニ發條ニヨツテ保持サレテキル處ノ「ピボット」サレタ鉤ガ連結サレテ居リ、「プランヂャー」ハ斯シテ腕164ノ運動ニヨツテ往復運動ヲ許サレル。中空ノ挺158ニ「ピボット」サレ、且ツソノ内ニ入ツテキル處ノ挺182ノ上端ハ「キー」ノ通路ニ當ツテヨリ、「ピン」186ハ、ヤハリ中空ノ挺158ニ「ピボット」サレテキル第2ノ挺188ニ接スル。「キー」ガ挺182ニ向ツテ動クト、挺164上ノ「ピン」192ガ切缺キ190ノ直グ上ニ來ルマデ挺188ヲ搖動サセル。「ポンプ」ノ排出機構ハ挺204ト滑リ子156ヲ經テ「タイプ」輪ヲ起動サセル。滑リ子156ハ爪車ヲ進メル爪76ヲ操作スル挺80ニ働ク。ソコデ「キー」ガ押下ゲラレ、「タイプ」輪ヲ印字位置ニ引上ゲ、「ピン」192ヲ切缺キ190ニ落込マセル。歸リノ下向キ運動ノ間ニ棒188ハ「キー」140ヲ自由ニサセルニ足ルホド腕164ヲ搖動セシメル。之ト同時ニ、爪74,76ハ滑リ子156上ノ「カム」ニヨツテ鎖定サレタ「バル・クランク」挺ノヤウナ形シタ重イ戻リ止ニヨツテ解除サレ、「タイプ」輪ハソノ内ニ收メテアル渦巻發條ノ力デ零ニ戻ル。紙「リール」ハ、中空ノ挺158ノ端ト「ピン」及ビ溝孔ニヨツテ連結サレタ滑リ子194上ニ乗セラレタ爪196ニヨツテ進メラレル。「キー」ガ判然ト印字シ得ンガタメニ、番號ト外形トガ相對應スル「タイプ」挺212ガ214ニ「ピボット」サレテキル。

排出裝置ノ運動部分ガ元ノ位置ニ歸ルコトニヨツテ自動的ニ記録サレ。且ツ零ヘ歸ル。之ニハ電磁的ノ方法モ使ヘレバ、排出用

(254)

「ノZZル」ヲ兼用シテモヨイ。假明細書ニハ、次ノ構造ガ記シテアル。ソレニハ、以上ノ動作ハ、印字版機構カラ垂下スル「リンク」ニヨツテ拘束サレタV字形切缺キヲ持ツ滑リ棒デ行ハレルトシテアル。棒ガ引抜カレルト、「リンク」ノ1端ガ上リ、鋸狀ノ部分ニ沿フテ移動シ、半圓形ノ切缺キ中ニ落込ム。「ピボット」サレタ1個ノ小サイ摺ミガ「リンク」ニヨツテ引ズラレテ、棒ノ鋸齒狀部分ニ食イ込ンデ、中途デ逆轉スルコトヲ防グ。棒ニハ齒ガ切ツテアリ、紙ヲ送ル轉子ヲ廻スタメノ小齒車ト嚙合フ。棒上ノ斜面ハ「タイプ」輪ヲ止メテキル爪ヲ外シテ後者ヲ零ニ戻ラシメル。小サイ突出部ガ「リンク・リボン」ヲ送ル。紙片ハ「タイプ」輪ヨリ幅ガ廣クテ、立會人ノ調印ヤ、異ツタ單價ノ記入ガデキ且ツ販賣以外ノ目的デ液ヲ抽出シタ場合ニ必要ナ餘白ヲモ提供スルヤウニナツテキル。

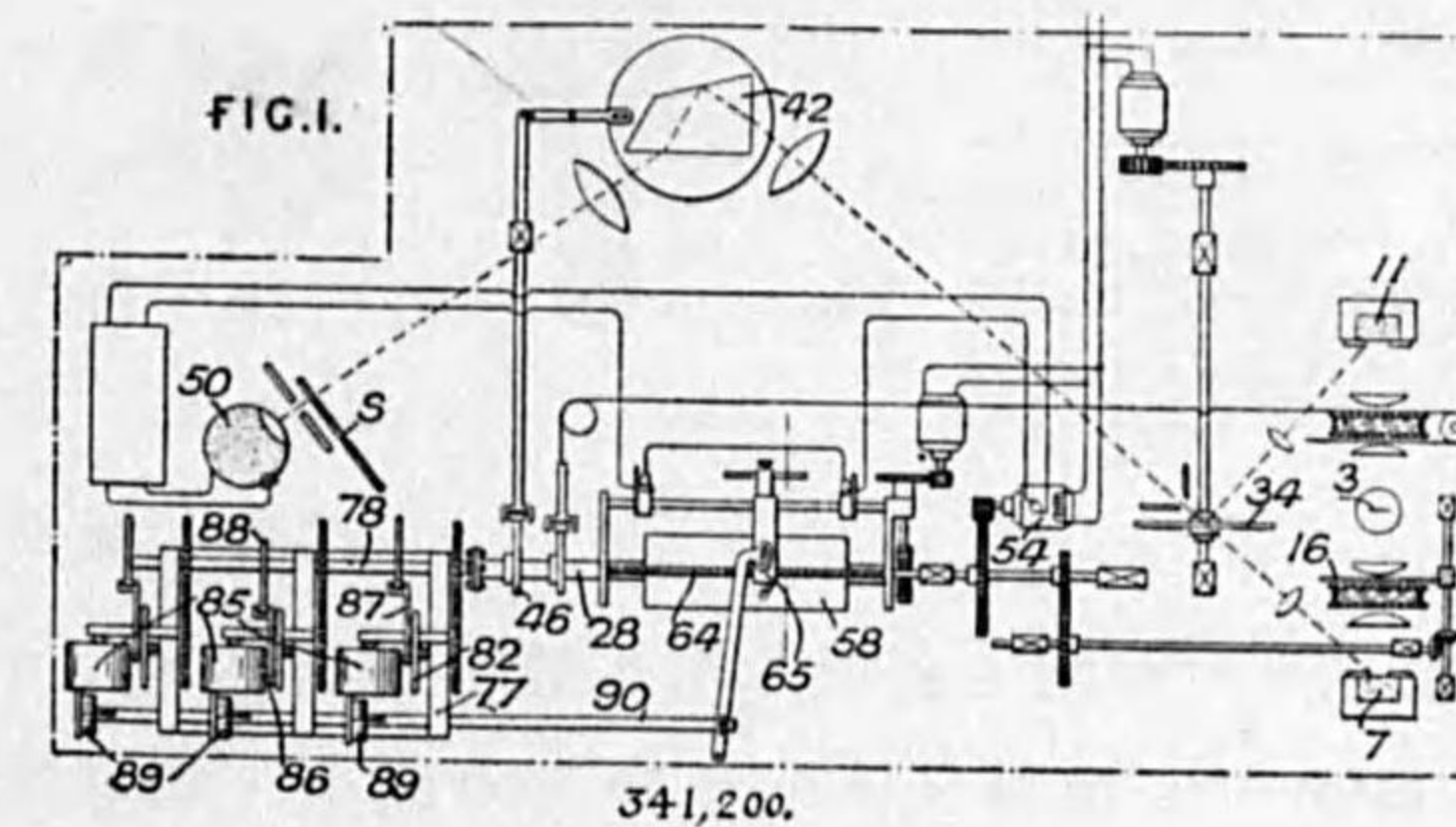
(255)

英 341200 (XIX)
(Nov. 21, 1929)

指示装置
Indicating-apparatus

發明者
British Thomson-Houston Co.
Crown House, London

積算——照明セラレタ試料カラ出ル色彩ノ刺戟ガ、感光機構ニ及ボス影響ヲ示ス本装置ハ、試料ノ分光的光エネルギー分布ノ光度ノ變化及ビ感光機構ノ分光的感度ト一致シテ働カサレル指示機構カラ成立ツテキル。明細書 291,397 [Class 97(i), optical systems etc]ニ記述サレタ型ノ色彩分析器ニ應用サレタヤウナ型式デハ、指示機構ハ、感光機構ノ感度即チ3種ノ標準色ニ應ジテ設計サレタ「カム」88ト、3個ノ絶エズ廻轉スル圓板82ノ中心ニ對シテ、關係的ニ動カサレル轉子86ヲ持ツタ「カム」從輪87ヲ持ツタ、連續廻轉スル軸78ヲ支エル枠組77カラ成立ツテキル。轉子86ハヤハリ枠組ニヨツテ支エラレテキル胴85ヲ廻ス。胴85ト接觸スル指示輪89ハ、軸90ニ付イテヨリ、後者ハ前者ヲ、色彩分析器デ動カサレル指針ノ動キニ應ジテ、胴ノ軸線ニ對シテ關係的ニ移動セシメル。



寫眞記録装置

發明者

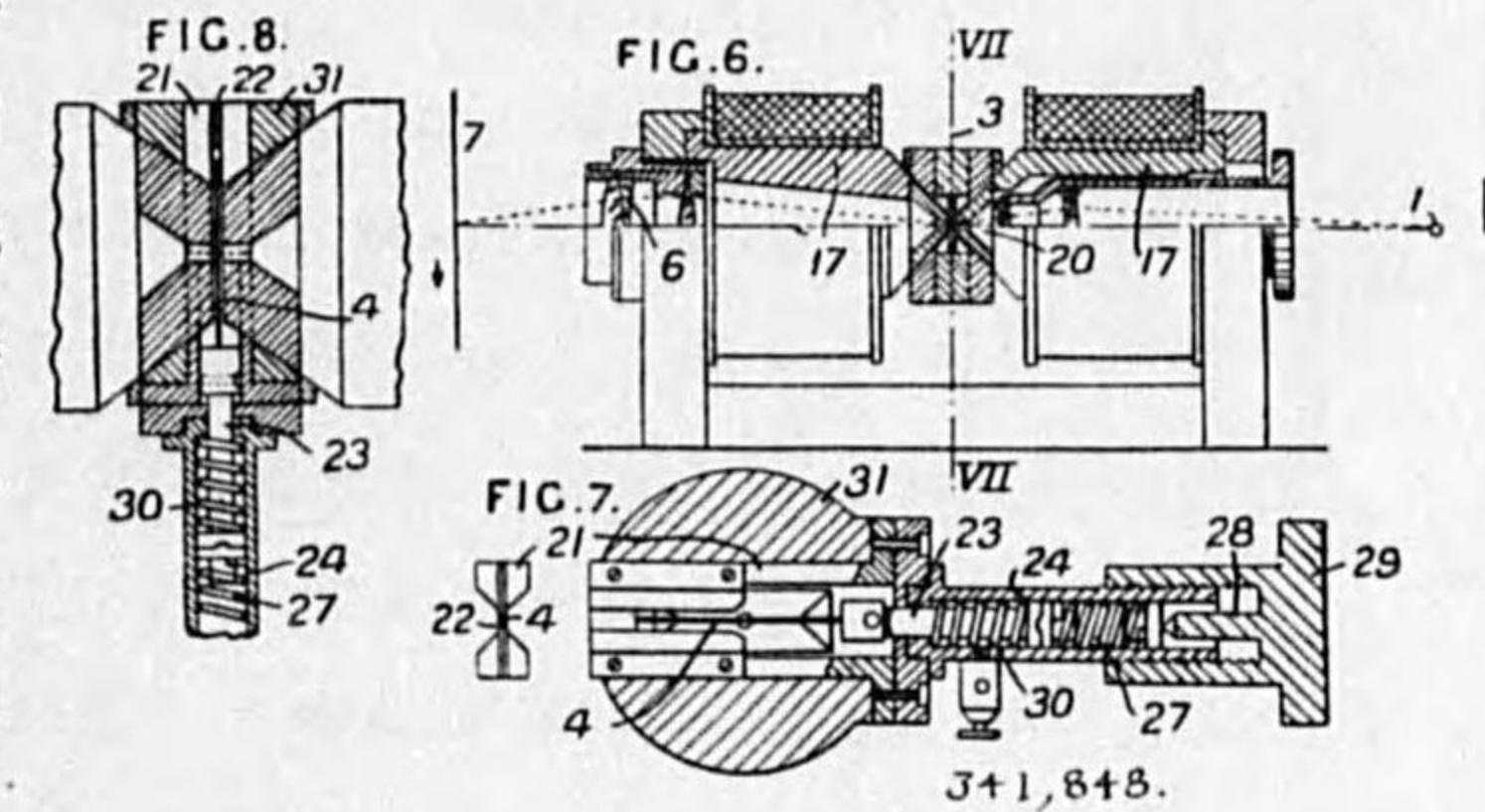
英 341848 (XIX)
(Oct. 14. 1929)

photographic recorders.

Selenophon Licht-und Tonbildges
Hernalser-Hauptstrasse, Vienna

音ヲ寫眞ニ撮ル装置デ、音ニヨツテ誘導セラレタ電流ヲ、細イ不透明ノ導體中ニ通シ、之ヲ導體ニ對シテ銳角ヲナシテ傾イテキル狭イ光線中ヲ横ギツテ、磁場内デ振動サセル考案デ、ソノ角度ハ必要ニ應ジテ調整スルコトガ出來ル。圖ニ示スヤウニ、電磁石ノ脚 17 ニハ 1 直線ニ穿タレタ縦ノ孔ガアル。脚 17 中ノ一方ノ脚ノ孔内ニアル集光「レンズ」ハ、光源 1 ノ縮小サレタ像ヲ極片 20 ノ間ノ光隙ノ中央面上 3 ニ投影セシメル。平面 3 中デ、細長イ導體 4 ガ振動シ、第 2 ノ脚 17 ノ孔中ニアル集光「レンズ」6 ガ、一部分隠サレタ光源 1 ノ像ヲ感度ノヨイ「フィルム」7 ノ上ニ投影セシメル。導體 4 ハ、第 7 圖第 6

圖ノ VII-VII 線デ切斷シタ斷面及ビ第 8 圖(第 7 圖ニ直角ナ斷面ニ示スヤウニ、一端ガ 2 個ノ横ニ並ンダ片 22 ニヨツテ連結セラレタ 2 個ノ平行



ナ側片 21 カラ成ル非磁性體ノ滑リ枠内ニ乗セラレ、導體 4 ノ一端ハ横ニ並ンダ片 22 ノ中間ニ固定サレル。導體 4 ノ他端ハ、嵌メ管 24 中ニ延ビテキル「ピン」23 ニ固定サレ。發條 30 ハ導體 4 ニ所望ノ張力ヲ與ヘル。此ノ張力ハ、嵌メ管 24 上ニ螺込マレタ「ナット」29 上ノ植「ボルト」28 ニヨツテ押サレル、第 2 ノ發條 27 ニヨツテ、調整スルコトガ出來ル。楔形ノ極片 20 上ニ非磁性體ノ函 31 ガ取付ケテアリ、滑リ枠ノ側片 21 ヲ支持シ、案内スルタメノ空隙ガ設ケテアル。函 31 ハ極片 20 ト共ニ、振動體ト光源ノ像トノ間ノ角度ヲ調整デキルヤウニ、脚 17 ノ軸線ノ周リニ廻スコトガ出來ル。

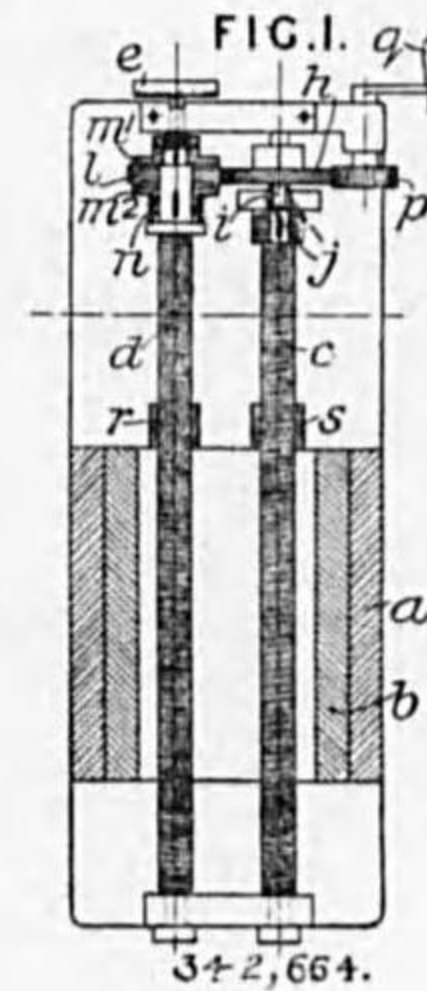
英 342664 (XIX)
(Aug. 1, 1929)

指示装置
Indicating apparatus

發明者
Soc. Genevoise D'instruments de
physique. Switzerland.

旋盤、「フライス盤、中「グリ盤等ニ附屬スルねぢデ動カサレル「テ
ーブル」或ハ工具滑リ台ノ運動ガ、之トねぢデ嚙合ヒ且ツ僅少ノ廻
轉カダケヲ傳達シ得ル傳達装置ニヨツテ原ねぢニ連結セラレテキ
ル處ノ、ねぢノ切ツテアル第2ノ軸デ指示セラレルカラ、測定用
ノねぢハ、驅動部分トシテ働クタメニ受クベキ摩擦ヲ受ケズニ濟
ム、臺上ノ軸受ニ乗セラレタ原ねぢ c ト測定用

ねぢ d トハ案内路上ヲ滑リ得ル「テーブル」等 a ニ取
付ケラレタ「ナット」 s r ニソレゾレニ嚙合ツテヨリ、
測定用ねぢニハ目盛輪 e ヲ備ヘテアツテ指示値ヲ
讀ムコトガ出來ル。運轉装置ハ、驅動力ヲ空動キ
装置 i j ヲ通ジテねぢ c ニ傳へ、尙ホ測定ねぢ d 上
ニ發條 n ニヨツテ押付ケラレタ圓板 m¹, m² 間ニ摩
擦ニ乗セラレタ小齒車 l ニ廻轉ヲ傳ヘル處ノ、小
齒車ト嚙合フ小齒車 p カラ成立チ、後者ハ「クラン
ク」ニヨツテ人力デ廻サレル、空動キ装置 i, j ノタ



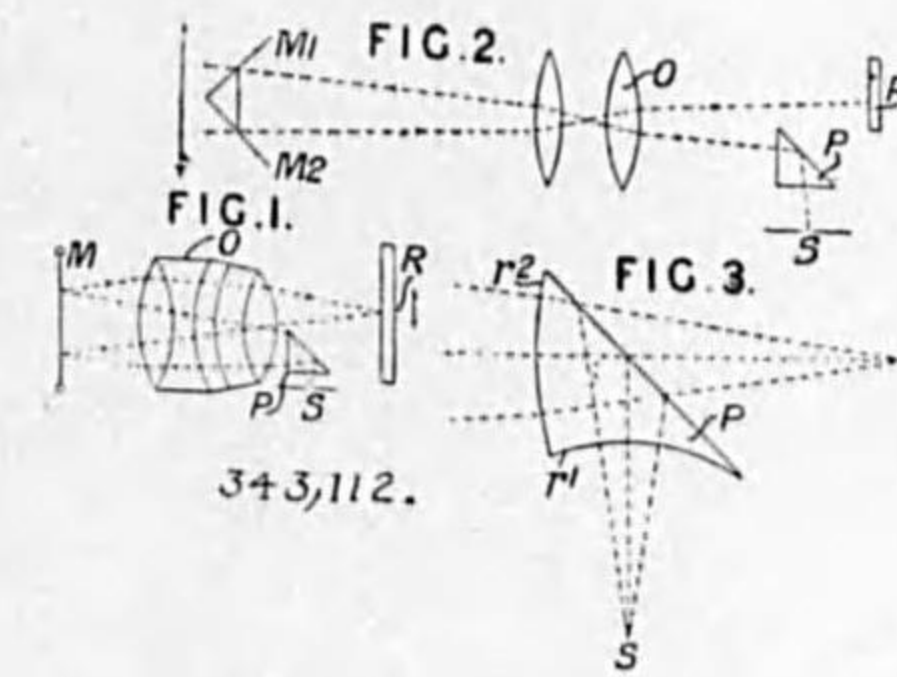
メニ、「クランク」 q ヲ廻シタ時先ヅ第1ニ起ル作用ハ、ねぢ d ノ
螺山ヲナット r ノソレト接觸セシメルコトデアリ、然ル後摩擦手
ガ空廻リシテ、遂ニねぢガ廻轉ヲ始メル。螺山等ノ不完全ヲ補フ
タメニ、ねぢ d ハねぢ c ニヨツテ實際ニ動カサレルヨリモ、常ニ
少シバカリ速ク「テーブル」ヲ動カサントスル傾向ヲ持ツヤウナ工合
ニ齒數比並ビニねぢノ「ピッチ」ヲ採ツテアリ、此ノ際摩擦手ニハ連
續的ニ空廻リヲ隨伴スル。

英 343112 (XIX)
(Oct. 12, 1929)

記録装置
Recording apparatus

發明者
Williams W. E.
Bromley, Kent.

寫真記録装置——音波ノ振動、電氣振動等ヲ記録スル装置デハ、鏡ノ運動中、傾斜ト移動トノ何レカー方ガ、記録ニ及ボス影響ヲ消去スルタメニ、振動スル鏡ト關聯シテ働ク光學系ガ備ヘテアル。第1圖ニ示スヤウニ、平面鏡 M ガ「コイル」ニツケテアリ、後者ハ、之ヲ流レル脈流ニ基ヅク電磁作用ニヨツテ動かサレル。鏡 M ニ接近シテ、「アッペ」背面反射「コンデンサー」ノヤウナ對物「レンズ」系 O ガ置イテアル。點ノ光源ヲ作ル膜 S カラ出タ光ハ、對物「レンズ」カラ出ル光ガ平行光線トナリ、ヤハリ平行光線トシテ反射セラレ、次デ對物「レンズ」ニヨツテ、移動乾板又ハ「フィルム」 R 上ニ焦點ヲ結ブヤウニ置カレタ處ノ全反射スル「プリズム」 P 中ヲ通過スル。「プリズム」 P (第3圖)ノ屈折作用ヲ避ケルタメニ、2ツノ面 M_1, M_2 ハ平面デナク球面ニシテアル。平面鏡ハ、針金ノ枠デ支持シタ劈開岩鹽ノ板上ニ沈澱サセタ銀ソノ他ノ金屬ノ薄膜デデキテキル。之ノ變形デハ、純粹ノ移動運動ハ、第2圖ニ示スヤウニ、コイル上ニ互ニ直角ヲナシテ2枚ノ鏡ヲ置クコトニヨツテ得ラレル。此ノ場合ニハ毫モ傾斜運動ヲ行ヒ得ヌヤウニ取付ケラレル。3枚ノ鏡ヲ、相隣レル2枚ガ互ニ直角ヲナスヤウニ排列スルコトニヨツテ、任意ノ平面内ニ於ケル傾斜ヲ避ケルコトガ出來ル。コノタメニハ、 90° ノ有效頂角ヲ持ツ2等邊3角形ヲ底面トスル。硝子ノ3角錐體ヲ使用スレバ宜シイ。

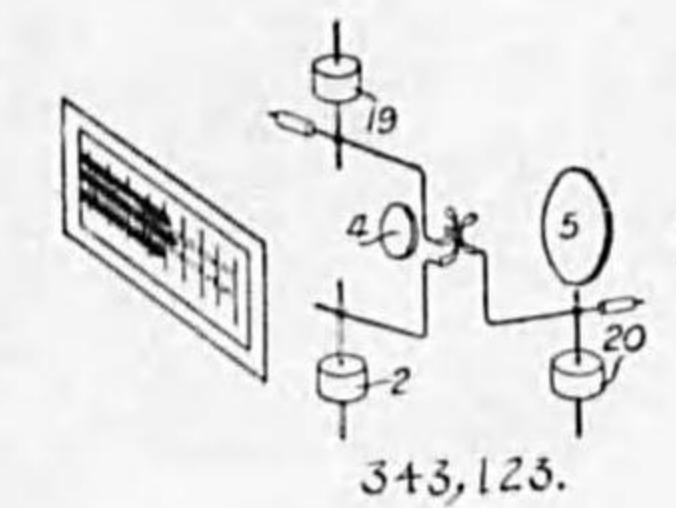


英 343123 (XIX)
(Nov. 8, 1929)

指示装置
Indicating apparatus.

發明者
Triggs, W. W.,
Lincoln's Inn Fields, London

光學的裝置ニヨリ指示スル。—親特許明細書ニ記述サレタ計器ノ指針ノ光像又ハ影像ヲ目盛尺上ニ結バシメル本裝置デハ、2個若シクハ2個以上ノ計器ヲ組合セテ、像ヲ生ズル指針ガ同ジ光束内ニ排列サレ、互ニ平行ニ動クヤウニスルコトガ出來ル。圖ニ示スヤウニ。計測系 2, 19, 20 ソレ等ノ指針ガ、投光系ノ對物「レンズ」4ト「コンデンサ」5トノ間デ、干涉スルコトナク動クヤウニ排列サレル。一般ニ、計測系ノ軸線ハ投光系ノ對平面内ニアリ、對稱軸線ニ直角ヲナス。計測系ノ特性ヲ調整シテ、各計器ノ測定値ヲ、像ノ長サヲ計ルコトニヨツテ確メルコトガ出來ル、指針ハ必ズシモ測定値ソノモノヲ示ス必要ハナク、或特定ノ讀ミヲ示スヤウニ調整サレルカ、極大及ビ極小値ノミヲ示シサヘスレバ宜シイ。



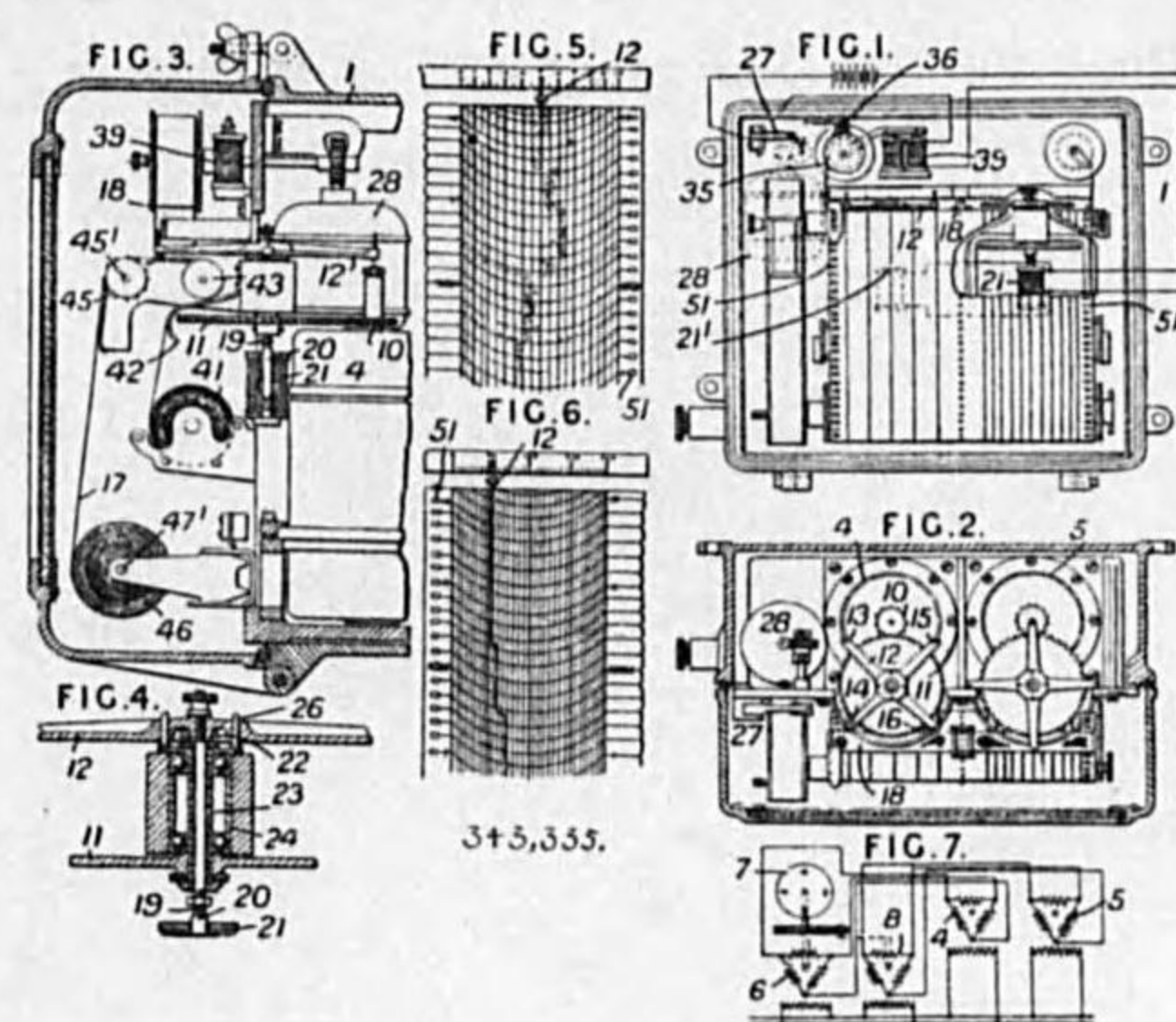
英 343,335 XIX
(March 3, 1930)

航路記録
Course recorders.

發明者
Hillier, A.,
Victoria street, London.

船舶等ノ航路ヲ記録スル本装置ハ、羅針盤送信機ト同時的ニ動カサレル、1組ノ共同作用スル「マーカ-」デ、2枚ノ同時ニ讀ミ得ル線圖ヲ作製スル。ソノ内1枚ハ大キナ動キヲ、他ハ細カイ動キヲ記ス。第1,第2及ビ

第3圖ニ示ス装置ハ、羅針盤7(第7圖)ニ、1:1ト36:1トノ割合デ連結セラレテキル送信機6,8ヲ通ジテ、羅針盤7カラ動カサレル「レピーター・モートル」4,5ヲ收メタ兩1カラ成ル。電動機4ニハ齒車11ト嚙合フ小齒車10ガツイテ



ヨリ、齒車11ニハ「マーカ-」13乃至16等ヲ持ツ1組ノ腕ヲ備ヘタ星形12ガツイテキル。同様ノ「マーカ-」ガ電動機5ニモ備ヘテアル。「マーカ-」ハ「インク・リボン」18ヲ記録紙17上ニ壓着セシメル。「マーカ-」ハ平常ハ「リボン」ト接觸シテオラズ、電磁作用デ週期的ニ壓着セラレル。各星形ノ心棒19ハ電磁石21ノ鐵心ニ取付ケラレテヨリ、齒車11ハ、軸頸24(第4圖)内ニアリ、心棒19ヲ包ミ、且ツ星形ヲ發條22ノ彈力ニ抗シテ上下セシメルタメニ、星型12中ニ穿ツタ孔ニ嵌合スル處ノ「ピン」ヲ持ツタ嵌メ管23ニ取付ケラレテキル。電動機28ハ電流斷續裝置27ヲ動カシ、電磁石21, 21'ノ廻路ヲ閉ヂテ「マーカ-」ヲ記録紙上ニ壓接セシメル。「マーカ-」17ハ原「ロール」41カラ出テ、案内板42上ヲ通り、轉子43, 45ヲ超エテ卷取リ「ロール」46ニ達スル。轉子45ニハ「ピン」ガ植エテアリ、記録紙ノ兩側ニアケテア

ル孔ニ嚙合ツテ、之ヲ船ノ速度ニ一致シテ送ラセルカ、又ハ軸45', 47'ノ各ニ逃シ止ト發條トガ附屬シテキル處ノ時計仕掛ニヨツテ送ラセル。電磁石21, 21'ト同ジ回路ニアル電磁石39ハ、爪車ト爪35, 36ヲ働カセテ、各記録後「インク・リボン」ヲ送ルノニ使ハレル。斯シテデキタ記録ハ第5圖、第6圖ニ示ス如クデ、大キナ動キヲ示ス點線ハ殆ド連續シタ1本ノ線ヲナシテキル。明細書195,633 [Class 106 (iv), Indicating &c.] ヲ參照セヨ。

英 343,693 XIX
(Jan. 16, 1930)

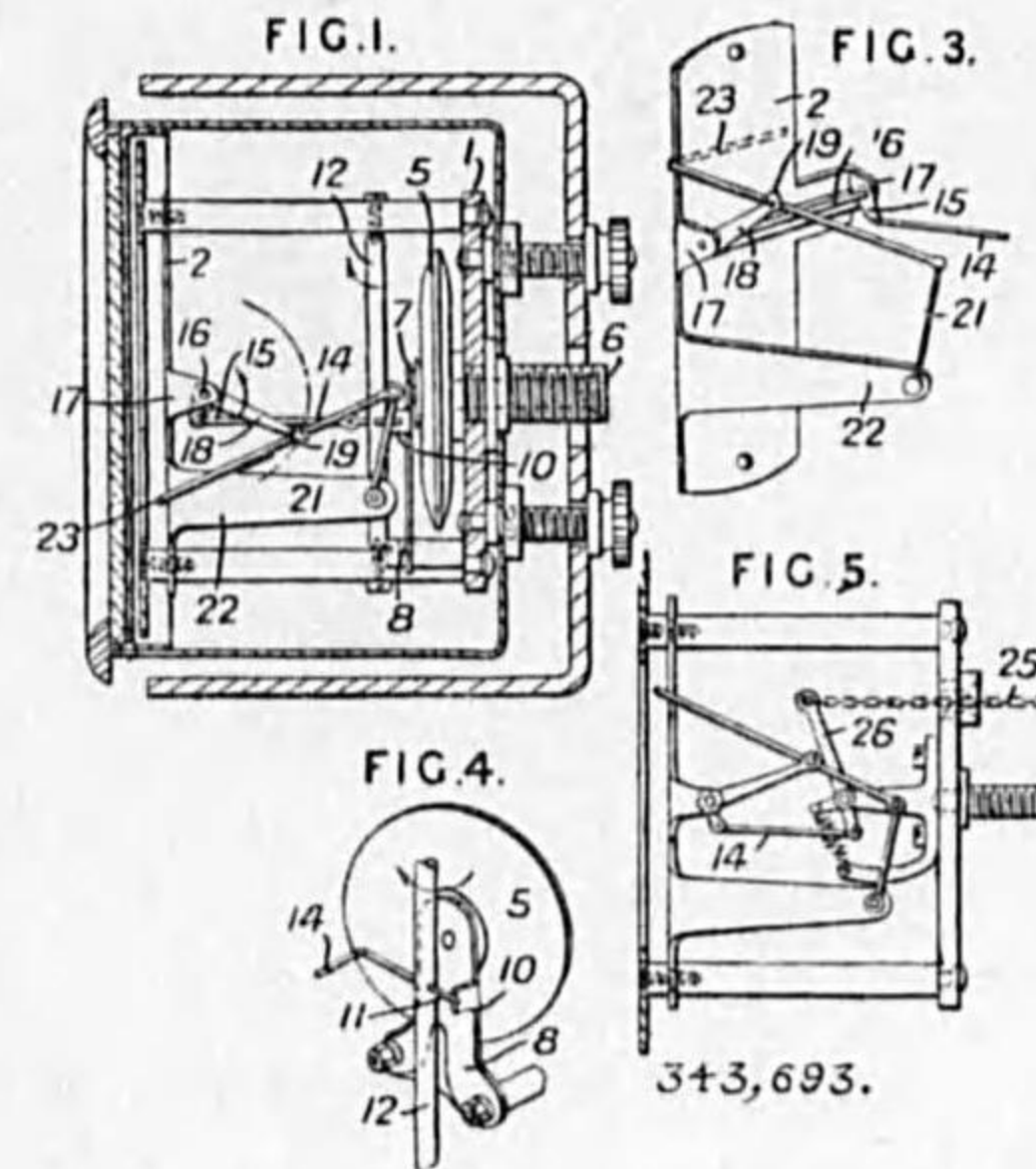
指示装置
Indicating apparatus.

發明者
Elms, R.,
Cricklewood, London.

本測定装置デハ、指針ノ先ハ1直線上ヲ動クヤウニ強制サレテヨリ、目盛板ノ面ハ、指針ガソノ驅動部分ニヨツテ動カサレル處ノ平面ニ大體直角ヲナシテキル。圖ニ示ス、「タンク」内ノ「ガソリン」ノ量ヲ指示スル計器デハ、玉子形ノ枠板1(第1圖)ガ、ねぢヲ切ツタ管6ヲ通ジテ、「タンク」ノ底ニ到

ル管ニ連結サレテキル處ノ膜板製ノ函5ヲ支持スル。膜板ト接觸スル「ピン」7ハ、發條8(第1及ビ第4圖)ノ上端ニ取付ケラレテヨリ、此ノ發條ハ、突出部10ヲ持ツテキル。後者ハ心棒12ノ中心ヲ貫通シ、之ニ固定セラレテキル處ノ挺11ノ短イ方ノ腕ニ接觸スル。挺11ノ長イ方ノ腕ハ「リンク」14ニ「ピボット」デ連結セラレ、

「リンク」14ノ他端ハ、前板2上ノ軸受17ニヨツテ支持セラレタ車軸16上ノ腕15(第1及ビ第3圖)ニ連結セラレテキル。車軸16ハ心棒12ニ直角ヲナシ、腕15ト反對ノ端ニ腕18ガツキ、ソノ上ニ指針19ガ「ピボット」サレテキル。指針19ノ一端ハ23デ曲ゲラレテ目盛板上ヲ動キ、他端ハ前板2ノ突出部22上ニ「ピボット」サレテキル腕21ニ連結サレル。玉子形ノ目盛板ハ指針23ノ前方ニアル板2ニ取付ケラレル。圖ニ示ス、浮デ動カサレル指示器デハ、「リンク」14(第5圖)ハ、發條デ管制サレル挺26ニ連結サレ、挺26ニハ浮ニヨツテ動カサレル鎖25ガツイテキル。油壓指示器ニ應用セラレル變形デハ、「リンク」14ハ、油ノ循環系統ト通ズル處ノ「ブルドン」管ノ自由端ニ連結セラレル。



343,693.

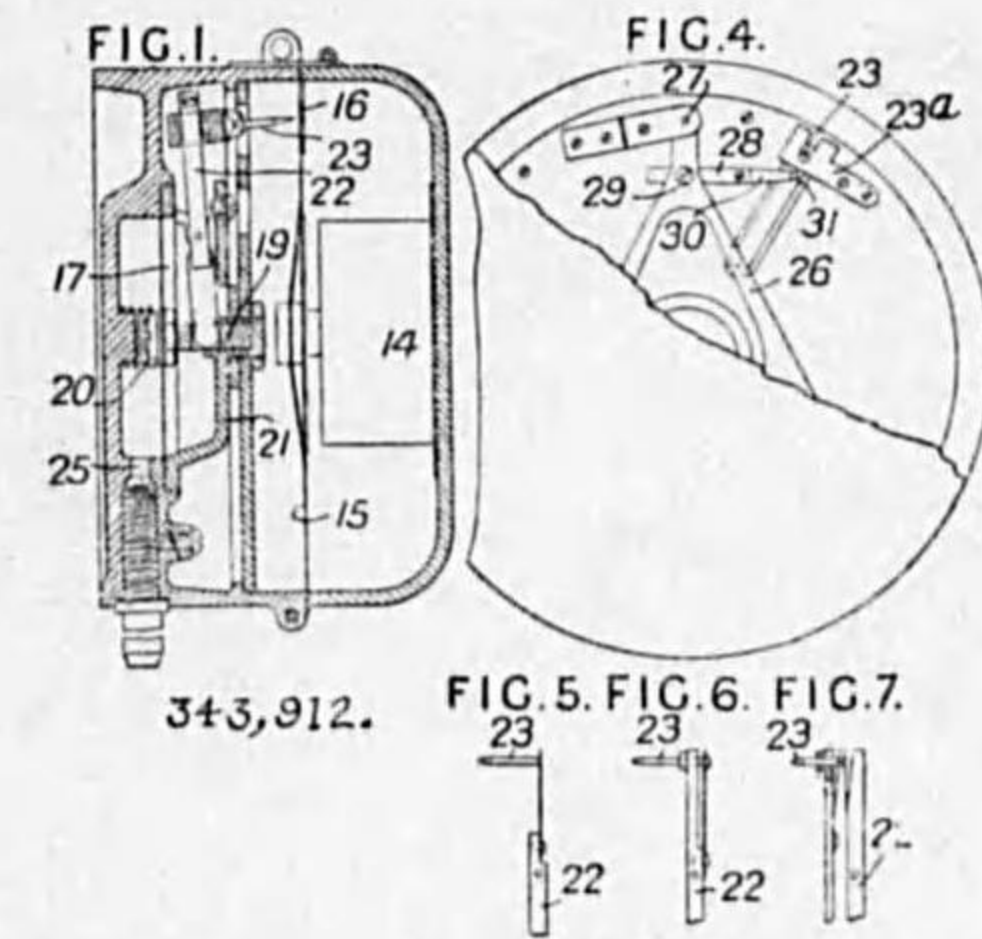
英 343,912 XIX
(Nov. 19, 1929)

内燃機関ノ作働中カ否カヲ記録スル装置
Recording rest or motion.

發明者
Hibbert, H., & Howitt, F.,
Cheshire & Oldham.

内燃機関ノ1部ノ作用ガ停止シテキルカ活動シテキルカヲ記録スル處ノ本装置ハ、管25ヲ通ジテ、機関ノ吸込管、給油管又ハ吐出管内ノ壓力變化ト、發條20トニヨツテ動カサレル膜板17カラ成リ、膜板17ニ固定セラレタ棒19ハ、支エ腕21ノ上部ニ「ピボット」サレタ棒22ト接觸スル、棒22ニハ發條デ押サレタ尖筆23ガ取付ケラレ

機関ガ活動シテ膜板ニ働ク壓力ガ降下スル時ハ、時計仕掛14ニヨツテ動カサレテ板16上ヲ通過スル處ノ紙圓板15上ニ記録ヲ行フ。之ガ變形デハ、膜板17ガ機関ノ油「ポンプ」カラノ壓力上昇ニヨツテ動カサレルカ、又ハ壓力ノ増減ニヨツテ



動カサレル「ピストン」或ハ「ブルドン」管ニ連結セラレタ尖筆23ガ、機関ノ運轉中カ否カニ應ジテ、紙圓板15上ニ大小ノ圓ヲ描クヤウニナツテキル。此ノ装置ハ、車ノ運動ヲ記録スル機構ト組合セルコトガ出來ル。ソノ装置ハ、27デ「ピボット」サレ、ねぢ29ニヨツテ尖筆付キノ腕28ヲ保持スル處ノ搖腕26カラ成リ、腕28ハソノ傾キヲ變ヘルコトガデキ、ソノ先ニ尖筆31ヲ持ツタ輕イ發條30ガ付イテキル。故ニ此ノ尖筆ト23ナル部分ニヨツテ案内セラレル、機関ノ停止中カ否カヲ記録スルニ要スル尖筆23トヲ、極ク接近サセテ同時ニ圓板15上ニ記録ヲ行ハセルコトガ出來ル。尖筆ノ種々ナル取付法ガ第5,第6,及ビ第7圖ニ示シテアル。

英 344,950 XIX
(Dec. 16, 1929)

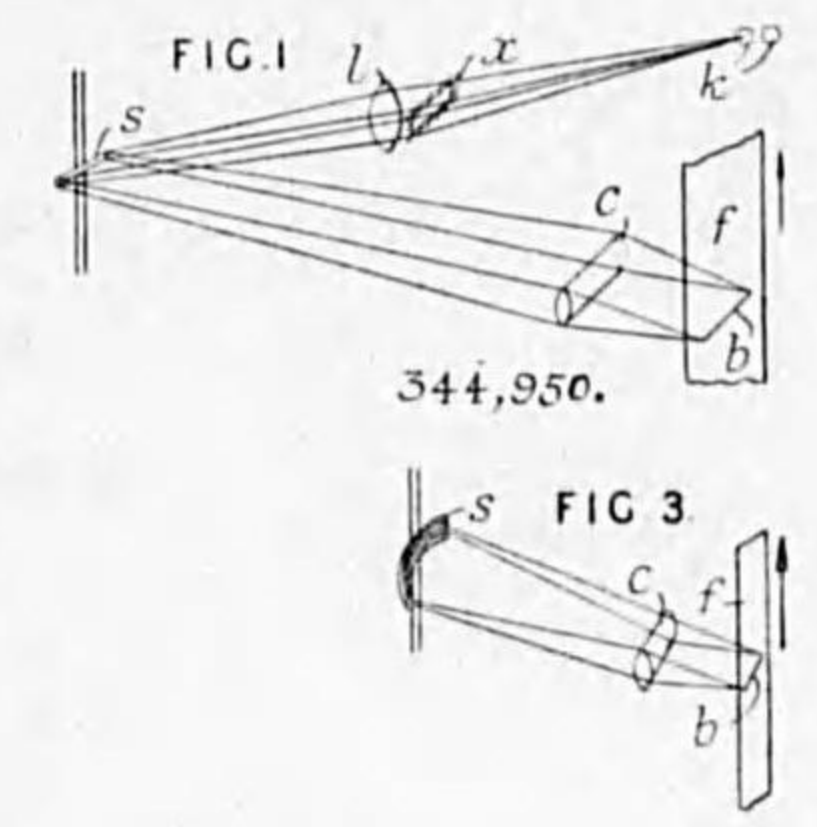
記録装置
Recording-apparatus.

發明者
British Acoustic Films, Ltd. (英)
(Assignees of Poulsen, A.)
London.

寫真式記録器——鏡カラ反射シタ光線ニヨツテ、音ノ寫真記録ヲ撮ル場合ニ、ソノ鏡ノ働ラキ部分ノ寸法ハ、次ノヤウニナツテキル。即チ、「フィルム」ニ、横ニ、鏡ノ線像ヲ生ズルヤウナ寸法ニナツテキル。鏡 s ハ、第 1 圖、別ノ黒クシタ又ハ塗ツタ表面上ニアル小割板ノ形ヲシテキテ、光源 k カラ

ノ光線ヲ受ケル。コノ光線ハ、集中「レンズ」 l ヲ通ツテ入射シ、又、圓筒形「レンズ」 c ヲ通ツテ反射シテ、寫真「フィルム」 f 上ニ鏡ノ線像 b ヲ作ル。像ニ、鏡ク限定シタ端ヲナサセルタメニ、光線ノ「レンズ」 l ヘノ路ニ、「ストップ」 x ヲ挿入スルトヨイ。ソシテ、鏡ノ正面ニ「レンズ」ヲ備ヘルカ、

又ハ鏡ヲ第 3 圖ニ示スヤウニ、「フィルム」ト並行ナ軸線ノマワリニ圓筒形ニシテ、「ストップ」ガ端ヲ限定スルノヲ助ケルトヨイ。亦、鏡ヲ次ノヤウニ配置スレバ、密度ノ變化スル像ヲ作ルコトガ出來ル。即チ、鏡ヲ、「フィルム」ニ對シテ横ノ軸線ノマワリニ振動シ、光線ガ下述ノ如クナルヤウニ、短冊孔ニツイタ板ヲ通シテ、反射スルヤウニ配置スルノデアアル。即チ、光線ガ、音ノ變動ニ隨ツテソノ短冊孔ノ深サノ變化スル量ヲ占メルヤウニ反射サセル。



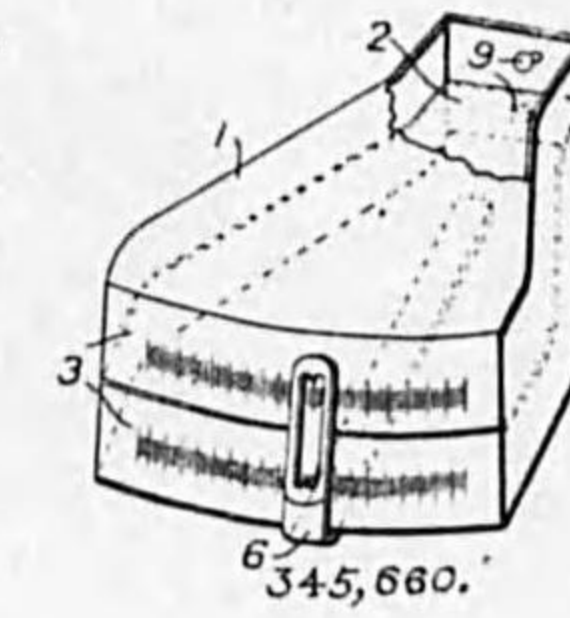
344,950.

英 345,660 XIX
(Dec. 21, 1929)

指示装置
Indicating-apparatus.

發明者
Gramophone Co., Ltd.; Cooper,
A. H.; and West, A. G. D. (英)

親明細書〔譯者註：一明細書 337,112. (「クラス」106 (iv), 指示 &c.)〕ニヨル
「インデケータ」が操作ノ 2 ツ或ハソレ以上ノ、掛替的範圍ニ相應ス
ル、 2 ツ或ハソレ以上ノ別々ノ尺度ヲ包含スル。ソシテ、尺度ノ
ウチノドレカ 1 ツヲ、選擇的ニ照明シ、ソノ間、他ノ尺度ハ、完
全ニ照明シナイデオク。圖示シテアルヤウニ、
透明ノ尺度組子 3 ハ、光ノモレナイヤウニシテ
アル箱 1 ノ 1 ツノ壁ヲ形成シテキル、箱 1 ハ、
仕切り 2 ニヨツテ、隔室ニ分割サレ、隔室ハ、
各々、「ランプ」9 デ照明サレル「ラヂオ」波變化裝
置 (radio wave-changing apparatus) ニ應用スル際ニハ、
「カソール」6 ハ、整調素ト一緒ニ廻轉スルコト
ガ出來、「ランプ」ハ、選擇的ニ、波範圍 wave-range 「スイッチ」ニ結線
サレル。(光裝置ハ、尺度ノ前面ニ配置スルトヨイシ、又、「カソー
ル」〔之ハ、コノ場合ニハ固定シテアル〕上ニ取り附ケルトヨイ)、モ
シ、「ラヂオレシーバ」ガ働ライテキナイ時ニハ、光源ハ、「コーン」
及ビ「ラウド・スピーカ」ヲ照明スルトヨイ。



光學裝置ニヨル指示

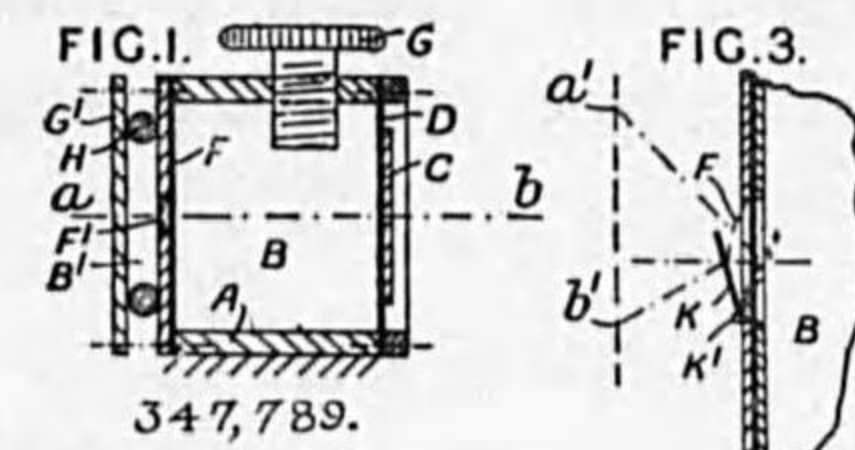
發明者

英 347,789 XIX
(Feb. 15, 1930)

Indicating by optical devices. Ewles, J. and Carter, A. F. (英)

小サナ運動或ハ壓力ノ變化ヲ顯ハシタリ記録シタリスルタメニ、
例ヘバ、音ヲ記録スルタメニ、下記ノヤウナ密室ヲ包含スル裝置
ガ用ヒラレル。即チ、ソノ密室ハ、流體ヲ滿シテアツテ、比較的
ニ大キナ孔ト、ソレヨリモ小サナ孔トヲ持ツテキル。大キナ孔ハ、
密室ノ壁ニ、撓ムコトガ出來ルヤウニシテ取り附ケタ、剛組子デ
閉ヂテアリ、小サイ方ノ孔ハ、透明ノ

又ハ反射スル撓ミ境界デ閉ヂテアル。
コノ裝置ハ、大キナ方ノ可動境界ニ應
用シタ運動或ハ壓力ノ變化ガ、ソレニ
相應スル、小サイ方ノ孔ノ境界ノ運動



ヲ起シテ、之ガ、光線ノ變調ヲ行フヤウナ裝置デアル。ソシテ、
左様ニシテ得タ變調ヲ、「フィルム」上ニ寫眞的ニ記録スルトヨイ。
2ツノ光線ヲ同時ニ變調スルタメニハ、撓ミ境界ヲ有スル小孔ヲ
2ツ備ヘルトヨイ。第1圖ニ示シテアル構造ニ於テハ、密室Aハ
透明ノ流體Bヲ滿シテアツテ、一方ノ側ヲ、撓ミ環帶D上ニ取り
附ケタ片Cデ閉ヂテアル。組子Cト反對側ノ壁ニハ、小孔ガアツ
テ、透明「ゴム」或ハソナ種類ノモノデ出來タ薄板Fノ部分F'デ覆
ツテアル。部分F'ノハジメノ曲率ハ、流體密ノねぢ「ピストン」Gヲ
加減シテ變ヘルコトガ出來ル。密室Aノ外側ニ板G'ヲ固定シテ、
流體ヲ含ム補助ノ密室B'ヲ備ヘルトヨイ。ソノ際、「ゴム」等デ出
來タ、變形スルコトノ出來ル輪Hヲ、圖示ノヤウニ配置スル。光
線ガ、a, bノ方向ニ密室ヲ通過シ、而シテ組子Cガ動ク時ニハ(例
ヘバ、「ラウド・スピーカ」ノ動「コイル」ニ取り附ケテ振動サセル)、部
分F'ノ曲率ノ變化ニヨツテ、射線ノ收斂或ハ發散ノ變化ガ起ル。
ダカラ、射線ノコノ變調ヲ、寫眞的ニ記録スルトヨイ。改修シタ
型ニ於テハ、第2圖書イテナイ) 流體ハ、下ノ方ヘ向ツテ張り開

(276)

イタ圓筒形密室内ニ容レテアリ、コノ密室ノ底ヲ横切ツテ、大キナ方ノ動クコトノ出來ル壁ヲ取り附ケテアル。尙又、2ツノ相反シタ側ニ配置シタ光線用ノ孔ヲ、密室ノ胴體內ニ作ツテアル。ソノ1ツノ孔ハ、小サナ透明ノ撓ミ組子ヲ覆ツテアリ、モ1ツノ方ハ窓デ覆ツテアル。密室ノ容易ヲ變ヘルタメニハ、ねぢ帽ヲ備ヘテアル。第3圖ニハ、更ニ改修シタ型ヲ示シテアルガ、圖ニ於テ、鏡Kハ、ソレ自身剛組子ヲ形成シテキルカ、或ハ剛組子ニ取り附ケテアル、ソシテ、コノ剛組子が、密室ノ小サイ方ノ孔ヲ覆ツテキル可動組子Fノ一部ヲ構成シテキル。鏡ハ、ばねノ制御ノ下ニ、K¹デ螺番ヒシテアル。コノ手段ニヨツテ、光線ハ、限界a¹, b¹ノ間ヲ、感光媒體ヲ横切ツテ、振動スルコトガ出來ル。コノ場合ニハ、密室内ノ流體ハ、透明デアツテモ不透明デアソテモ差支ヘナイ。又、第3圖ニ示シテアルモノト相似ノ構造ノモノガ、具體的ニ、次ノヤウナ透明組子ヲ持ツテキル。即チ、ソノ組子ハ、鏡Kノ如ク配置シテアツテ、ソノ振動ノ際ニ、密室ヲ通過スル光線ノ偏リヲ起スノニ適合スルヤウニナツテキル。モツト他ノ改修シタ型ニ於テハ、小サイ方ノ振動組子ハ、全體トシテ撓ムコトガ出來又反射スルコトガ出來テ、變化曲率ノ鏡ノ如クニ作用スル。

(277)

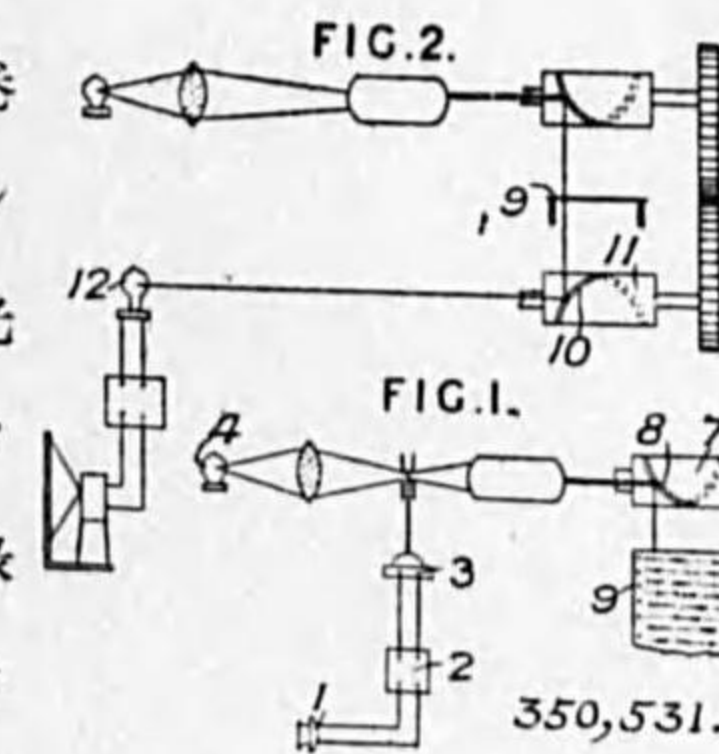
英 350,531 XIX
(March 10, 1930)

記録装置
Recording apparatus.

發明者
Prisner, S. and
Wender, E. (England)

音ノ變化或ハ他ノ變化ヲ記録シ若シクハ再生スルニ際シテ、光ノ點ニヨツテ、並行直線ノ列デ記録表面ノ踏査ヲ行フタメノ装置ガ、次ノヤウナ手段ヲ包含シテキル。即チ、光ノ點ヲ、廻轉胴上ニ取り附ケタ蔓卷鏡カ、或ハ廻轉圓板上ニ取り附ケタ「カーブ」シタ鏡ノ上ニ、焦點サセルタメノ装置ヲ包含シ

テキル、第1圖ニ示シテアルヤウニ、蔓卷鏡8ハ、胴7ノ表面ニ對シテ垂直ニ配置シテアルノデアルガ、之ガ、光源4カラノ光ヲ、移動感光「フィルム」9上ニ反射スル。ソシテ、「マイクロフォン」1ニ感ジタ音ノ記録ヲ、並行線ノ列ノ形デ作り出ス。「マイクロ



フォン」ハ、増幅器2及ビ light relay 3ニ連結シテアリ、コノ light relay 3ニヨツテ、光源4カラノ光ノ強サヲ變化サセル。サテ、今度ハ記録カラ音ヲ再生スルタメニハ、光線ガ、並行線ノ列デ、記録9上ヲ踏査スルヤウニスル、第2圖。ソシテ、コノ記録ニヨツテ變調サレタ光ガ、第2ノ鏡10上ニ落ちルヤウニスル。ソノ第2ノ鏡ハ、胴11上ニ蔓卷狀ニ配置シテアリ、光ハ、コノ鏡カラ反射シテ、光電池12上ニ落ちルノデアアル。モシ希望ナラバ、鏡ノカハリニ「カーブ」シタ「プリズム」ヲ使用シテモヨイ。明細書 332, 615 及ビ 337, 151 [共ニ「クラス」40 (ii), 蓄音器等ニアル]ヲ參照ノコト。假明細書ニハ亦、鏡ノカハリニ廻轉「レンズ」ヲ使用スルコトガ述べテアル。

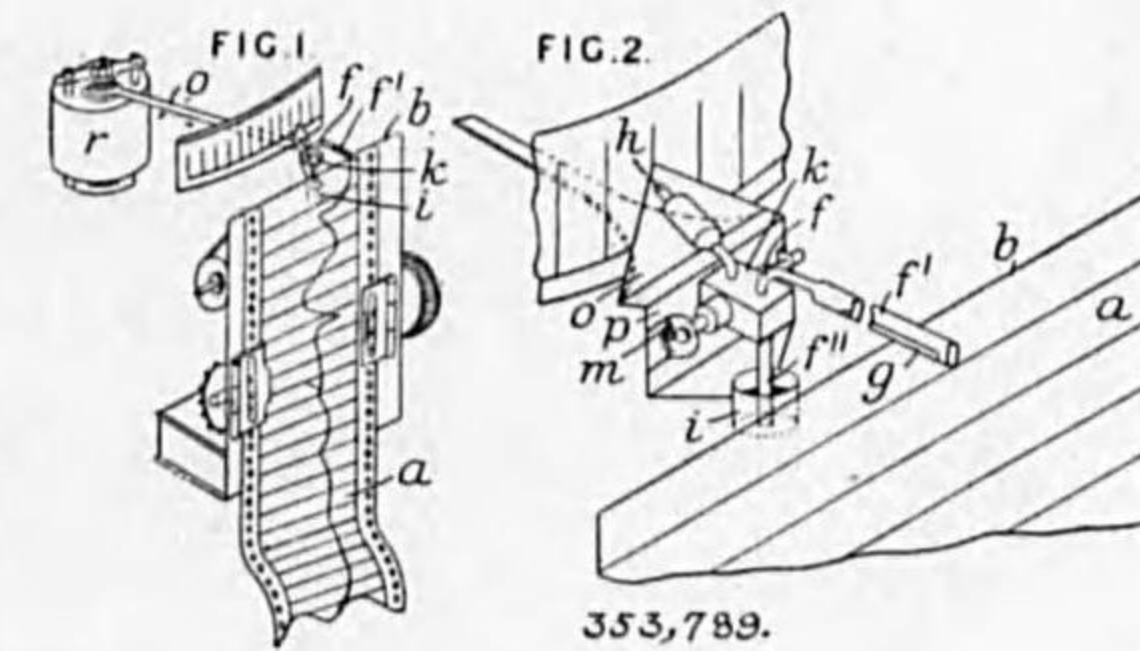
英 353,789 XIX
(Oct. 13, 1930)

記録装置
Recording-apparatus.

發明者
International General Electric
Co. (英) (Assignees of Allge-
meine Elektrizitäts Ges. Germany)

座標ニヨル記録—測定器械用ノ記録装置ガ、次ノヤウナ管形組子ヲ包含スル。即チ、ソノ組子ハ、測定指針ニ連結シテオリ、下記ノヤウニ寸法ギメヲシ配置シタ孔ヲ備ヘテキル。即チ、印附ケ流體ガ、ソノ孔ヲ通ツテ流レ出ルコトガ出来テ、通常ノ或ハ豫メ定メタ範圍内ノ、指針ノ取ル

位置スベテニワタツテ、記録表面ニ印附ケルコトガ出来ルヤウナ具合ニ、寸法ヲキメ又配置シタ孔ヲ備ヘテキル。圖示シテアル型ニ於テハ、第1圖及ビ第2圖、測定系 r ガ、



指針 O ヲ持ツテキテ、コノ指針 O ガ板 p ヲ支持シテキル。コノ板 p ノ上ニ、輕金屬デ出来タ臺 k ノタメノ耳軸 m ヲ取り附ケテアル。臺 k ヲ通シテ、1ツノ管 f ガ通ツテオリ、管 f ハ、色附ケ液體ヲ容レテアル容器 i ノ中ニ浸ツテキル。管ノ上ノ部分 f' ハ、指針 O ノ延長ヲナシテオリ、玉子形ノ或ハ矩形ノ横斷面ニ平ラニシテアツテ、ソノ長サニ沿ツテ溝孔 g ヲ持ツテキル。コノ印附ケ腕ハ、錘リ h デ釣り合ハシテアル。容器 i ガ、板 p 上ニ据エ附ケテアツテモヨイシ、或ハ静止溝槽ガ、管ノ端 f'' ヲ受ケルヤウニ備ヘテアツテモヨイ。記録帶 a ハ、縁 b 或ハ持示尺度ト並行ニ配置シテアル「ローラ」ヲ越エテ、時計仕掛ケ或ハ他ノ方法デ送ラレル。

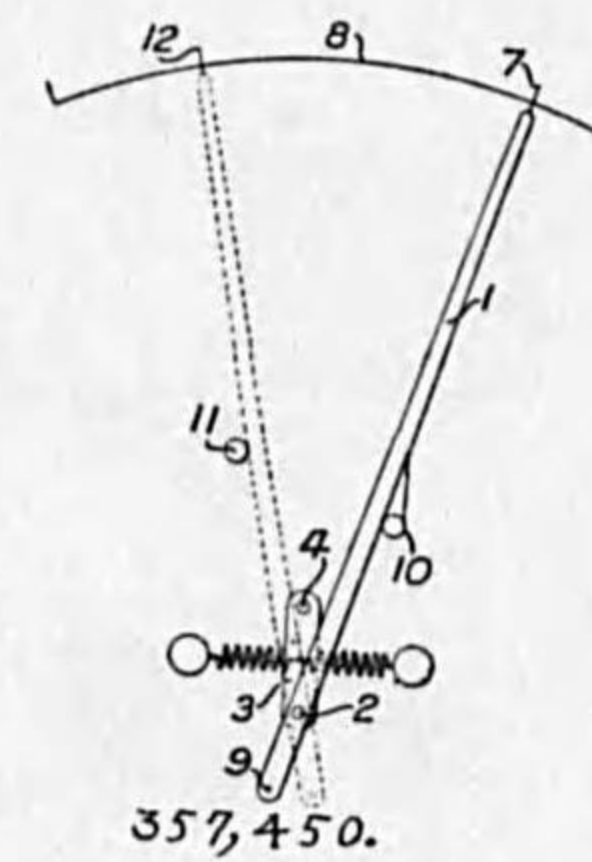
英 357,450 XIX
(Dec. 24, 1930)

指示装置
Indicating-apparatus.

發明者
Cambridge Instrument Co., Ltd.,
Mason, C. C. and Stallan,
W. J. (英)

測定器械ニ於テ、讀ミノ尺度ヲ、次ノヤウナ装置ニヨツテ改修スル。即チ、ソノ装置ハ指針ト組合ツテ居リ、指針ノ「ピボット」サレテル點ヲ變化サセテ、運動機構ノ運動ニ對スル指針ノ運動ノ比ヲ突然變化サセルモノデアル。圖示シテアル

ヤウニ、指針1ハ、ばね制御「リンク」3ニ、2ノ所デ「ピボット」サレテオリ、「リンク」3ハ、ソレ自身、固定「ピボット」4ニ「ピボット」サレテキル。操作機構、例ヘバ「ブルドン管」ヲ、指針上ノ點9ニ取り附ケル。ソシテ、止メ10,11ヲ備ヘテ、指針ガ、尺度8上ノ點7,12ヲ越エテハ、自由運動ヲスルコトガ出來ヌヤウニスル。實線デ示シテアル左ノ位置ヘ點9ガ動ケバ、



指針ハ、止メ10ヲ「ピボット」トシテ、ソノマワリニ廻轉スルヤウニナリ、從ツテ運動ノ倍率ヲ突然ニ減少スル。同様ニ、點線ノ位置ヲ越エテ右ヘ動イテモ、尺度上ノ點12ノ向フ側デハ倍率ヲ減少スル。止メ10,11ハ、オ互ニ、又「ピボット」2ニ關シテモ、任意ノ希望ノ相對位置ニ置クコトガ出來ル。

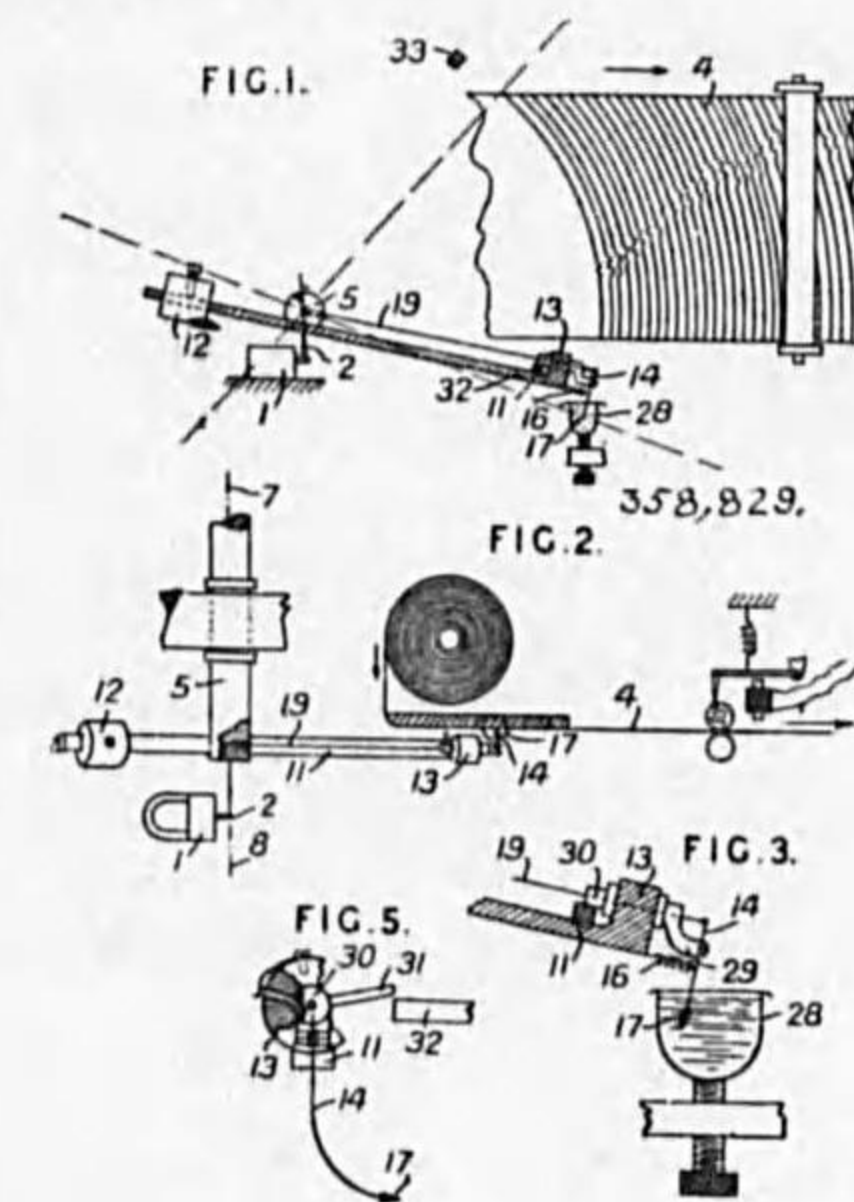
英 358,829 XIX
(Jan. 17, 1931)

記録装置
Recording-apparatus.

發明者
Florisson, C. L. and Soc. de
Condensation et D'Applications
Mecaniques. (佛)

測定器械用ノ、特ニ「オッシログラフ」用ノ記録装置ガ、動クコト
ノ出来ル記録帶ト、次ニ述ベルヤウナ腕デ支持サレテキル印附ケ
要素トヲ包含スル。即チ、ソノ腕ハ、豫メ定メタ振幅ダケ、與
ラレタ法則ニ從ツタ一定ノ角速度或ハ變化スル角速度デ、或1ツ
ノ軸ノマワリニ振動スルノデアル。

第1圖及ビ第2圖ニ示スヤウニ、軸
5ハ、軸線7,8ノマハリニ振動スル
コトガ出来、コノ軸5ニ腕11ヲ取リ
附ケテアル。腕11ハ、釣合重り12デ
釣合ハシテアリ、「ペン」或ハ他ノ印附
ケ腕14ノタメノ支エ13ヲ持ツテキル。
印附ハ腕14ハ、ばね16並ビニ絲若ク
ハ他ノ撓ミ組子19デ制御サレテキル。
絲19ハ、腕11ニ沿ツテ延ビテオリ、
軸5内ノ直角溝ヲ通ツテ、「オッシロ



グラフ」或ハ他ノ器械1ノ指針2マデ延ビテキル。腕11ノ振動運動
ハ、既知ノ方法、例ヘバ明細書334, 778 [クラス]106 (iv), 指示等.]ニ
述ベテアルヤウナ方法ニヨツテ起ストヨイ。印附ケ要素ハ「インキ」
壺28内ヘ浸シテアル「ペン」17ノ形ニ構成シテアル。或ハ又、明細書
337, 218 [クラス]146 (iii), 書寫器具等. **writing appliances &c.**ニ述ベ
テアルモノト同様ノモノデアツテモヨイ。「ペン」17ハ、記録帶4ト
共同シテオリ、記録帶4ハ、細々ノ記録運動ノアヒ間ニ、電磁裝
置ニヨツテ、進メラレルヤウニナツテキル。帶ハ、軸5ニ對シテ
直角ニ配置シテアリ、ソノ一方ノ縁ハ、軸5ノ軸線ノ平面内ニア
ル。支エ13ハ、第3圖及ビ第5圖、組子30ノタメノ軸受トナツテ
オリ、組子30ハ、印附ケ腕14ヲ支持シテキル又29ヲ備ヘテキル。

又、支エ13ハ、**extension pin** 31ヲ持ツテオリ、コノ「ピン」31ハ、**end stops** 32, 33ニカカツテ、「ペン」17ヲ、交互ノ振動ノ間、記録帯ニ接觸サセタリ、ソノ接觸ヲ離シタリスル役目ヲツトメル。帯ハ次ノヤウナ法則ニ從ツテ、時間ヲ表ハス線ニヨツテ、ソノ縁ニ對シテ並行ナ方向ニ、印附ケラレル。即チ、腕11ノ角運動ヲ支配シテキル法則ニ從ツテ、印附ケラレル。

英 359,810 XIX
(Jan. 2, 1931)

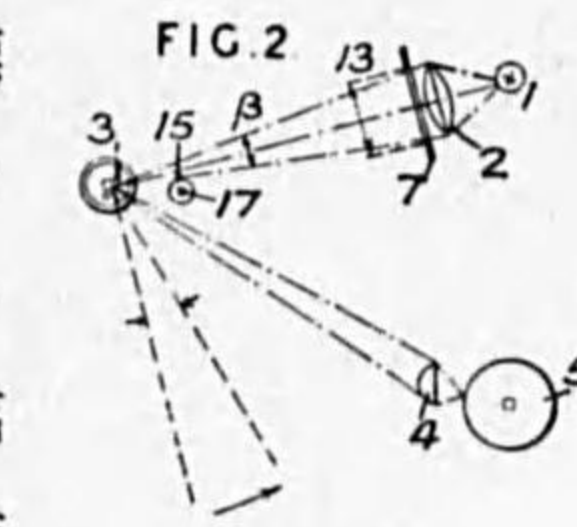
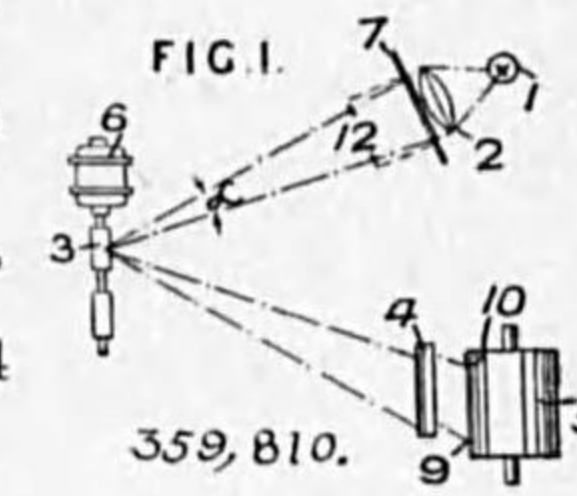
記録装置
Recording-apparatus.

發明者
Siemens & Halske Akt-Ges.
Germany

記録表面ノ目盛—寫真記録装置ニ於テ、特ニ「オッシュログラフ」ト共ニ使用スル際ニ、コノ記録帯ニ、次ノヤウナ鏡デ、時間ノ縦座標ヲ印附ケル。即チ、アル既知ノ光學裝置ト組合ツテキル廻轉鏡ヲ用ヒテ印附ケル。コノ鏡ハ、帯ノ運動方向ニ對シテ横ノ軸線上ニ取り附ケテアル。第1圖、第2圖ニ示スヤウ

ニ、光源1、「レンズ」2、及ビ矩形孔ヲ有スル「スクリーン」7ハ、鏡3上ニ角錐形光線ヲ投射スル。光線ハ、コノ鏡カラ反射シテ、圓筒形「レンズ」4上ニ落ち、記録帯5上ニ線ヲ生ズル。鏡3ハ、恒高速度電動機6ノ軸上ニ取り附ケル。縦座標ノ長サ9, 10ハ、「スクリーン」ノ孔ノ長サ12ニ基ク角 α ニヨツテ定マリ、線ノ幅ハ、「スクリーン」ノ孔ノ廣サ13ニ基ク角 β ニヨツテ定マル。線ノ幅ハ、廣サノ異ル鏡ヲ利用シテ變ヘルコトガ出來

ル。5番目毎ノ、或ハ10番目毎ノ線ガ、異ル廣サニナツテキル時間縦座標ノ列ヲ作ルニハ、電動機ノ軸ノマハリニ、次ノヤウナ鏡ノ列ヲ配列スレバヨイ。即チ、ソノ列ノウチノ1ツノ鏡ニ、他ノ鏡ヨリモ廣イ幅ヲ持タセルノデアアル。電動機ノ速度ハ、使用スル鏡ノ數ニ從ツテ減速スル。5番目毎ノ線ヲ厚クスルタメノ、モ1ツノ裝置デハ、軸17上ニ、「スクリーン」15、第2圖、ヲ備ヘテアツテ、薄イ縦座標ヲ作ル時間ノ間、光線ノ1部ヲ遮蔽スルヤウニナツテキル。



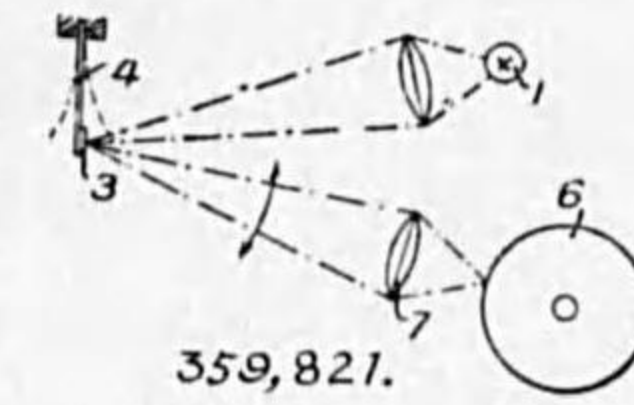
英 359,821 XIX
(Jan. 19, 1931)

記録装置
Recording-apparatus.

發明者
Siemens & Halske Akt.-Ges.
(Germany)

記録表面ノ目盛——親明細書(譯者註;一明細書

359, 810〔クラス106(iv)〕ニ述ベタヤウナ、記録
表面ニ時間ニ關スル縦座標ヲ作ルタメノ、寫
眞記録装置ニ於テ、廻轉鏡ハ、振り運動ヲス
ル鏡ト置キ換ヘルコトガ出來ル。圖示シテア



ルヤウニ、鏡3ハ、板ばね4ノ端ニ取り附ケテアツテ、板ばねハ、
手デ推スカ或ハ他ノ方法デ振動ヲ起サセル。光源1ノ反射像ハ、
圓筒形「レンズ」7デ、記録筒6上ニ焦點ヲ合ハシテアツテ、時間縦
座標ヲ作ル。

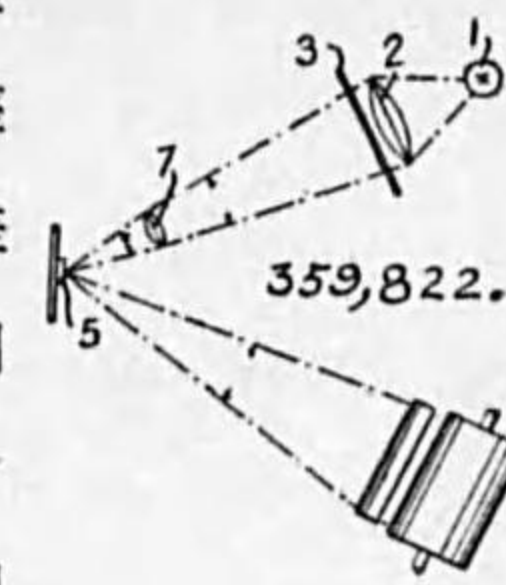
英 359,822 XIX
(Jan. 19. 1931)

記録装置
Recording-apparatus.

發明者
Siemens & Halske Akt-Ges.
(獨)

記録表面ノ目盛—親明細書(譯者註:—明細書 359, 810 [「クラフ」 106

iv)) ニ述ベタヤウナ、記録表面上ニ横ニ時間縦座標ヲ投象スルタメノ、寫眞記録装置ニ於テ、縦座標ノ長サハ、光線ノ通路ニ、附加的ノ「レンズ」ヲ差シ入レルコトニヨツテ制御スルニトガ出來ル。圖示シテアルヤウニ、光源1カラノ光線ハ、集中「レンズ」2及ビ孔ノアイタ「スクリーン」3ヲ通ツテ、廻轉「レンズ」又ハ振動「レンズ」ヘ投射シ、ソコカラ反射サレ、圓筒形「レンズ」ニヨツテ、記録面上ニ焦點サレテキル。カヤウニシテ作ツタ縦座標ノ長サハ、「スクリーン」3ヲ通ル光線ノ孔角ニヨツテ定マル。コノ孔角ヲ大キクスルタメニハ、入射光線ノ通路ニ集中「レンズ」7ヲ据エ附ケルカ、或ハ、反射光線ノ通路ニ凹面「レンズ」ヲ置クトヨイ。



(291)

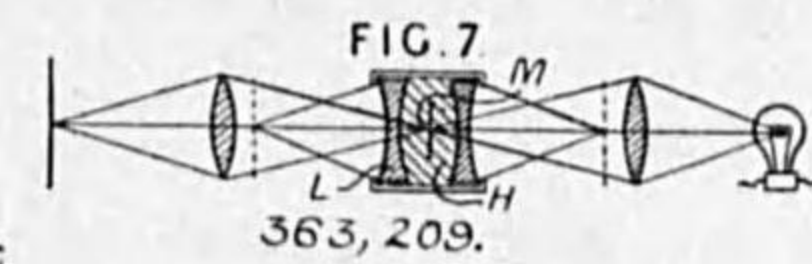
英 363,209 XIX
(Feb. 4, 1931)

記録装置
Recording-apparatus.

發明者
Gaumont-Franco-Tilm-
Aubert, France.

寫真記録器—

「オッシログラフ」或ハ他ノ装置ニ於テ、
減衰液ノ中ニツケラレタ鏡ノ振動ハ、光



學装置ノ助ニ依ツテ感光記録紙ノ上ニ記録セラレルノデア
ル。ソシテ圖ニ示ス如ク、「レンズ」Lハ粘液Hヲ圍ンデキテ、
曲面ヲ持ツテキルノデア
ル。ソシテ「レンズ」Lト鏡Mノ間ニアル液ノ層ハ、「レ
ンズ」トシテ働ラカセル爲ニ對稱的デア
ル事ガ好マシイ。

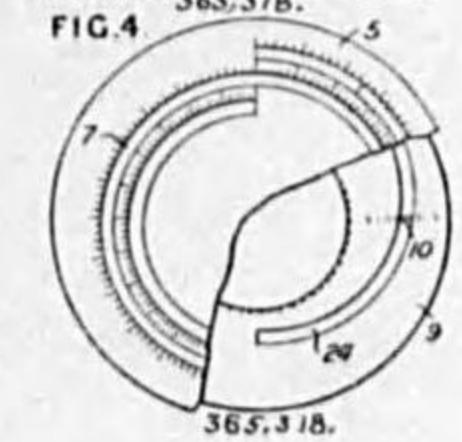
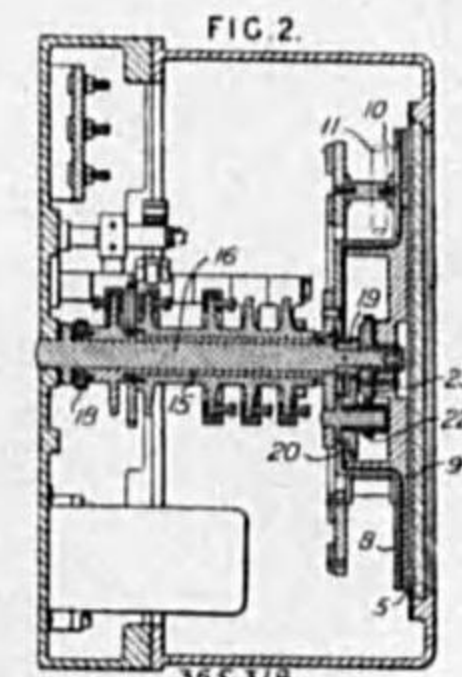
英 365,318 XIX
(Jan. 13, 1931)

指示装置、音響深度計
Indicating-apparatus,
depth-sounding apparatus.

發明者
Submarine Signal Co.
U. S. A.

コノ發明ハ、廻轉指針或ハコレト均等ノ物ヲ用ヒテキル器械ノ讀ヲ容易ニアル爲ノ装置ニ關スルモノデアツテ、螺線型目盛板ガアツテ、之ハ1回以上ノ捲旋ヲ有シテ居リ、又指針ニ關聯シテ廻轉スル圓板ヲ有シ又タ、目盛ノ捲旋ノ妥當ナ位置デノミ讀ガ取レルヨウニシタ溝孔ヲ備ヘテキルノデアアル。コノ發明ハ、明細書 226489 號 (class 118 (ii) signals) ノ反響装置ニ應用サレルヨウニ記載サレテキル。

圖 2 ニ於テ、音ハ、廻轉圓板 8 ニアル 1 ツノ「スリット」10 ノ後ニ取付ケテアル「ネオン」管 11 ガ、「ガラス板 5 ニアル螺線目盛 7 ノ零ノ所ヲ通過スル時ニ發セラレル。反響ガ受取ラレルト、「ネオン」管ガ閃光サセラレ、發信ノ時カラ動イタ角度距離ガ、深サノ量トナルノデアアル。第 2 ノ圓板 9 ハ、圓板 8 ノ前デ同ジ方向デハアルガヨリ遅イ速度デ廻轉シ、コレニハ又螺線溝孔 24 ガアツテ、コノ溝孔ヲ通シテ見エル「ネオン」管ノ「スリット」ノ部分ハ、螺線目盛 7 ニ從フヨウニナツテキル。圓板 8 ハ「ピニオン」18 ヲ通シテ「モーター」ニ依ツテ驅動サレ、「スリーブ」15 ハ固定軸 16 ヲ取圍ンデキル。圓板 9 ハ圓板 8 カラ、太陽輪及遊星軸 19, 20, 22, 23 ニ依ツテ廻轉サレル。



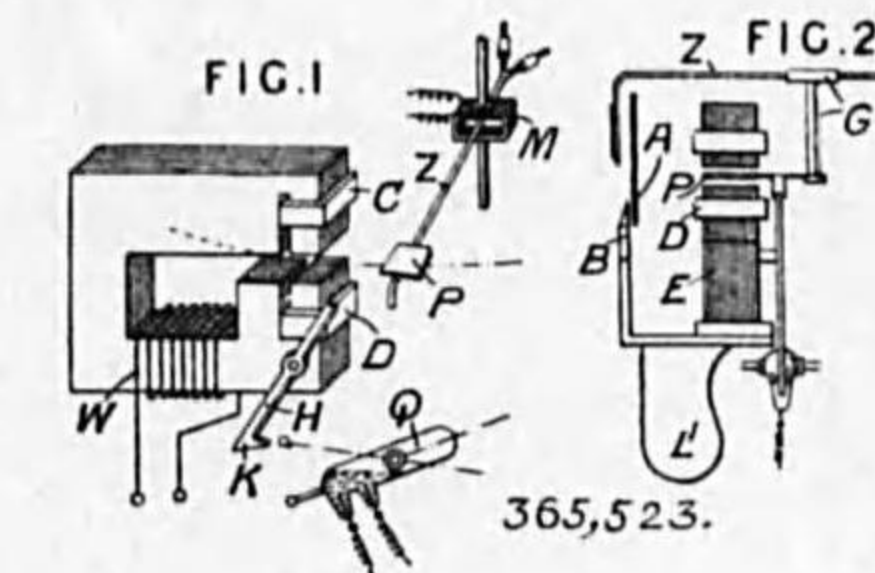
英 365523 (XIX)
(Dec. 31, 1929)

指示装置
Indicating-apparates

發明者
Siemens & Halske Akt.-Ges.,
German

特殊ノ讀ミノ指示方法——コノ装置デハ、測定器ノ指針ガアル豫メ定メラレタ讀ノ所ヘ來ルト、信號装置ヲ働ラカスノデアツテ指針ハ小サナ非磁性板ヲ持ツテキテ、コレガ所要ノ讀ミノ所デ、磁氣組織ノ影響ヲ受ケルノデアル。コノ磁氣組織ハ普通ノ交流磁器ト2次相變位「フェラリス」磁界トヨリ成ツテキテ、「フェラリス」磁界ガ接觸作動装置ヲ働ラカスヨウニ附加捻力ヲ與ヘルノデアル。

サテ測定器Mノ指針Zニ取付ケラレタ非磁性板Pハ、先ツ兩極ヲ横切ツテ卷線Wニ依ツテ作ラレル普通ノ交流磁界ノ影響ノ下ニ來ル。ソコデ



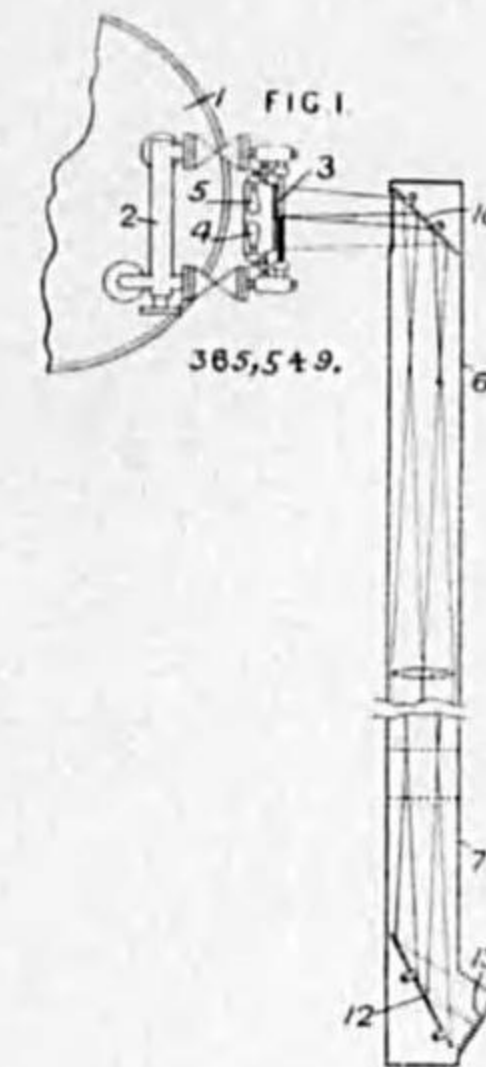
ハ指針ノ移動ハ影響ヲ受ケナイ。併シ豫メ定メラレタ讀ミニ近ヅクト、板Pハ短絡卷線C, Dニ依ツテ作ラレル「フェラリス」相變位磁界ノ中ニ入ル。コノ磁界ハ普通ノ磁界ニ依ツテ板Pノ中ニ作ラレル渦巻電流ト互ニ働イテ、指針Zヲ傾ケルヨウナ「エネルギー」ヲ生ジ、ソレニ依ツテ「レバー」Hヲ動カスノデアル。スルト普通ハ突起Kニ依ツテ支エラレテキル水銀管Qガ下ノ方ニ傾キ、信號ノ電氣回路ヲ閉ジルノデアル。實際ノ形ハ圖2ニ示ス様ナモノデ、板Pハ指針Zノ腕Gニ依ツテカ、エラレキテ、磁石Eハ、「ハンドル」L'ニ依ツテ、豫定ノ讀ミヲ變ヘルタメ調節出來ルヨウニナツテキル。ソノ讀ミハ指針Bニ依ツテ目盛板Aノ上ニ指示サレ、ソコデ信號ガナサレルノデアル。モシ「レバー」Hガ働ラカサレタ後モ指針Zガ働イテキルヨウナ場合ニハ、「スイッチ」ガ卷線Wノ回路ヲ切ルタメ同時ニ開カレバ良イ。

英 365549 (XIX)
(Oct. 20, 1930)

光學的指示装置
Optical indicating apparatus

發明者
Spearing, K. A.
England

コノ装置ハ、罐室ニアル「ゲージ」或ハ他ノ器械ノ像ガ離レタ場所
カラ見得ルヨウニ投影スルモノデアル。圖ニ示
ス様ニ、罐ノ胴體 1 ニ取付ケテアル水面指示計
2 ノ管 3 ハ、「ラムプ」4, 5 ニ依ツテ照ラサレテキ
テソノ像ハ、「レンズ・プリズム」或ハ筐 6 ニアル鏡
10, 12 等ニ依ツテ、映像面 13 ノ上ニ投影サレル。
筐ハ 4 角形ノ断面ヲ持ツテキテ、ソノ下端 Z ハ
像ヲ結バル爲ニ軸方向ニ動カス事ガ出來ル。



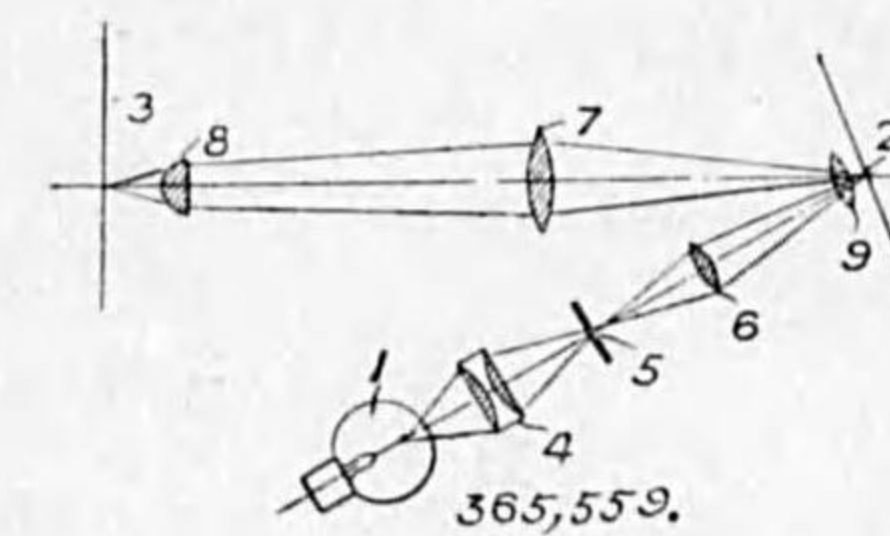
英 365559 (XIX)
(Oct. 15, 1930)

記録装置
Recording apparatus

發明者
Castellain, A. P.
England.

寫真記録器 — コレハ電流ノ變化ヲ記録スル装置デ、1ハ光源

デ「レンズ」4デ細隙5ノ上ニ焦點ガ結
バレル。ソコカラ出タ光線ハ、「レン
ズ」6ニ依ツテ「レンズ」9ヲ通シテ「オッ
シログラフ」ノ鏡2ノ上ニ焦點ガ結バ
レル。ソコデ細隙ノ像ハ反射サレ「レ



ズ」9ヲ通り又「レンズ」7及ビ「シリンドリカル・レンズ」8ヲ通シテ、
移動感光面3ノ上ニ像ヲ結ブ。「レンズ」9ノ外面ハ、投射及ビ反射
光線ノ兩方ニ對シ直角ニナツテキル。

英 366954 (XIX)
(Nov. 7, 1930)

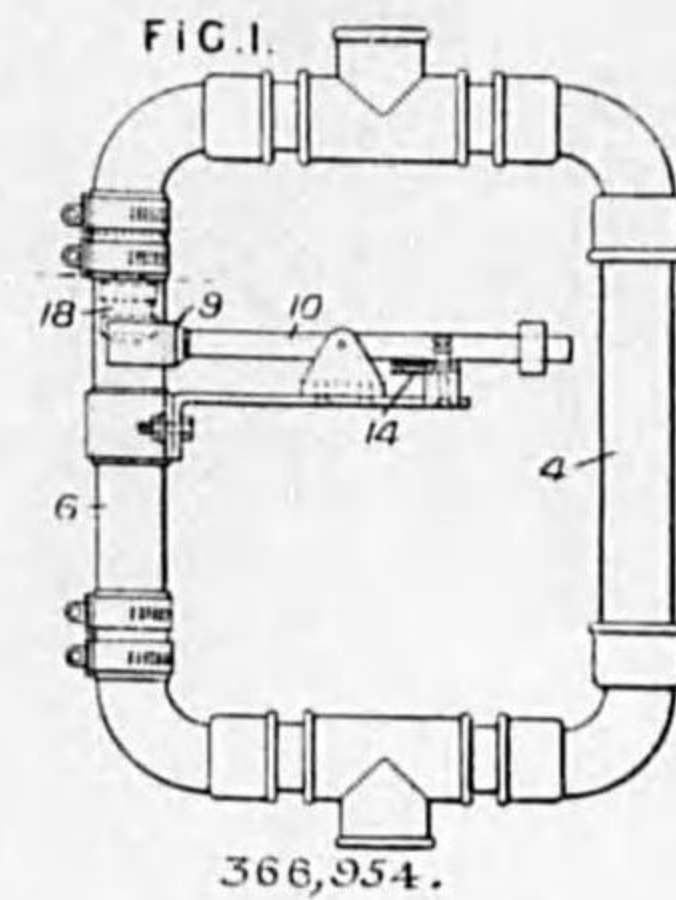
指示装置
Indicating-apparatus

發明者
Marconi's Wireless Telegraph
Co., Ltd. & Caswall, H. England

コノ装置デハ、電子管ニ對スル冷却媒質ガ缺乏スルト、供給管
ノ中ニアル浮ガ動ク様ニナツテキル。コノ動キハ、磁氣的ニ外部
素材ニ傳ヘラレ、ツレニ依リ缺乏ヲ指示シ
タリ或ハ動力供給ヲ斷ツタリスルノデアル。

サテ、水ハ管4及ビ硝子ノ脇路管6ヲ通
ツテ電子管ニ供給サレル。コノ脇路管ノ中
ニ、中空ノ鐵製浮18ガ入ツテキル。浮ノ腐
蝕ハ、ワニス或ハ「ペークライト」ヲ塗ツテ防
止シテアル。管6ハ一部分永久磁石9ノ外
殻デ以テ取圍マレテキテ、コレガ、浮18ガ
Fニ落ちタ時動イテ、例ヘバ水銀「スイッチ

チ」ノ様ナ「スイッチ」14ヲ「レバー」10ヲ通シテ働ラカセルノデア
ル。「レバー」ハ絶縁物デ出来テキテ、且調節釣合重リガツイテキ
ル。

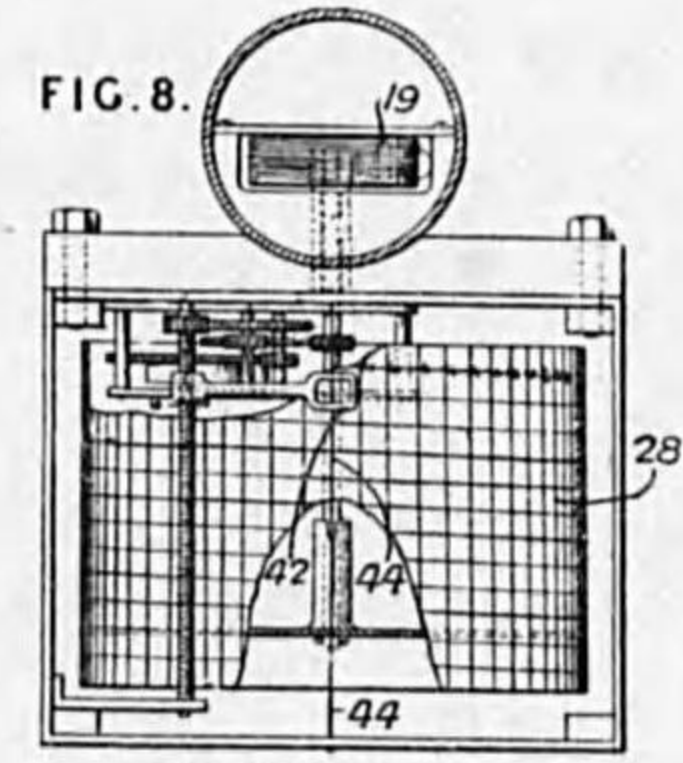


英 369622 (XIX)
(Dec. 15, 1930)

擴大指示装置
Multiple-indication apparatus

發明者
Bacon, L. B.
Australia.

コレハ浮作動液面計デアツテ、浮支持ヲ溝ノアル滑車19カラ巻戻ス事ガ、螺線形ニ目盛ヲシタ「ドラム」28ヲ廻轉スルノデアアル。讀遮蔽物42ハ、齒輪装置ニ依ツテ、「ドラム」ノ軸ニ並行ナ方向ニ動カサレ、ソレハ、「ドラム」ノ1廻轉ニ對シテ螺線ノ「ピッチ」ニ等シイダケノ距離進ムヨウニナツテキル。浮支持ノ復歸運動ハ、螺線發條或ハ釣合重リニ依ツテ助ケラレル。「マスク」42ハ、ソレニアケテアル孔ヲ通サレタ伸張針金44ノ上ヲ滑ルヤウニナツテキル。



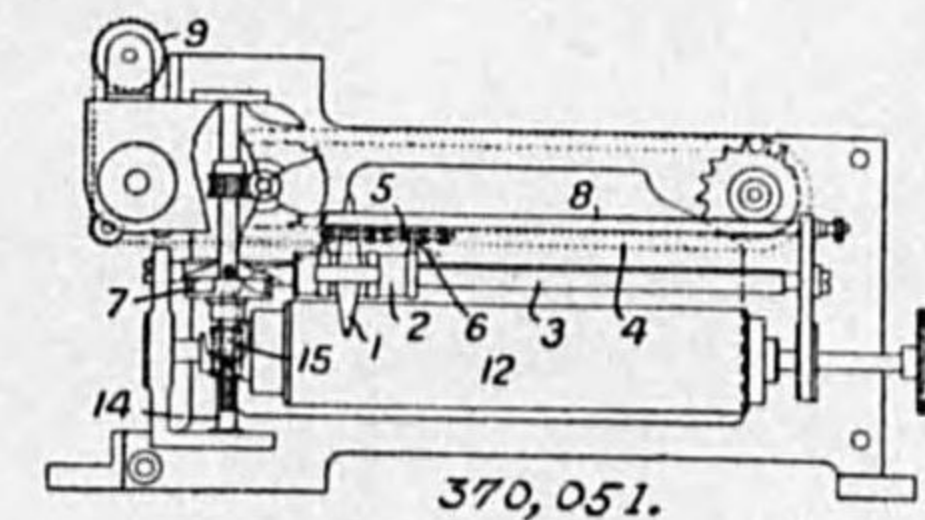
369,622.

英 370051 (XIX)
(Jan. 3, 1931)

記録装置
Recording apparatus

發明者
Carce, J. G. and Anthony, F. L.
England.

コレハ、電氣化學的ノ記録器デアツテ、特ニ反響音方法デ決定
サレル深度ノ記録ニ適スル様ニナツテキル。コノ装置ニハ、廻轉
記録胴ト、鎖ニ依ツテ往復動サレル往復臺ニ取付ケラレタ腕ニカ
、ヘラレテキル記録「ペン」ト、記録「ペン」ガ胴カラ持上ラレル様ニ往
復臺ノ行程ノ端ニ於テ此ノ往復臺ヲ
僅カノ角度ダケ傾ケル手段ト、往復
臺トソノ最初ノ位置ニ返ス爲ノ發條
機構トガ備ツテキル、



サテ胴12ハ、齒輪機構14, 15ニ依
ツテ廻轉サレ、記録「ペン」1ハ往復臺2ニ取付ケラレ、コノ往復臺
ハ、往復臺ノ上ノ突起6ト連續的ニ驅動サレテキル鎖4ニ取付ケ
ラレタ「ピン」5トノ係合ニ依ツテ、溝孔ヲ切ツタ軸3ニ沿ツテ動カ
サレル。往復臺2ガ、ソノ行程ノ右側端ニ達スルト、軸3ハ「カム」
7ニ依ツテ幾分カ廻轉サレ、ソノ結果突起6ハ「ピン」5カラハズレ
往復臺ハ發條9ニ依ツテソノ最初ノ位置ニ戻サレル。記録「ペン」1
ハ、ソレト同時ニ胴12カラ持上ラレル。棒8ハ、通常ハ記録「ペン」
ト接觸シテキテ記録ノ回路ヲ完成シテキル。コノ装置ノ變形ノモ
ノデハ、軸3ニハ溝ガ切ツテ無クテ、棒8ガ往復臺ヲ傾ケル爲ニ
「カム」ニ依ツテ動カサレル。遊星輪ガ軸ニ取付ケテアツテ鎖4ヲ驅
動シ、ソノ齒ト係合シテキル發條ガ、變壓器ノ一次線輪ヲ通シテ
回路ヲ開閉スル。二次線輪ノ方ハ記録「ペン」1ニ接續サレ、全装置
ハ記録面ニ目盛ヲ印ス手段トシテ存在シテキルノデアル。目盛録印
回路ハ、交互ニ、音ガ發セラレル度毎ニ電磁的ニ勢力ヲ附與サレ
ル音又ニ依ツテ制御サレル。時間録印ガナサレテキル時ハ、記録
「ペン」ハ反響回路カラハナサレテキル、「ブラッシ」ガ、記録「ペン」ノ後
デ往復臺ニ取付ケラレテキテ、電解液ヲ記録面ニ供給スル。

(308)

働サスノデアル。コノ「レバー」44ニ取付ケラレテキル指針54ハ、蒸
氣ト空氣ノ流ノ間ニ存スル正シイ關係カラノ外レヲ指示スルノデ
アル。

(309)

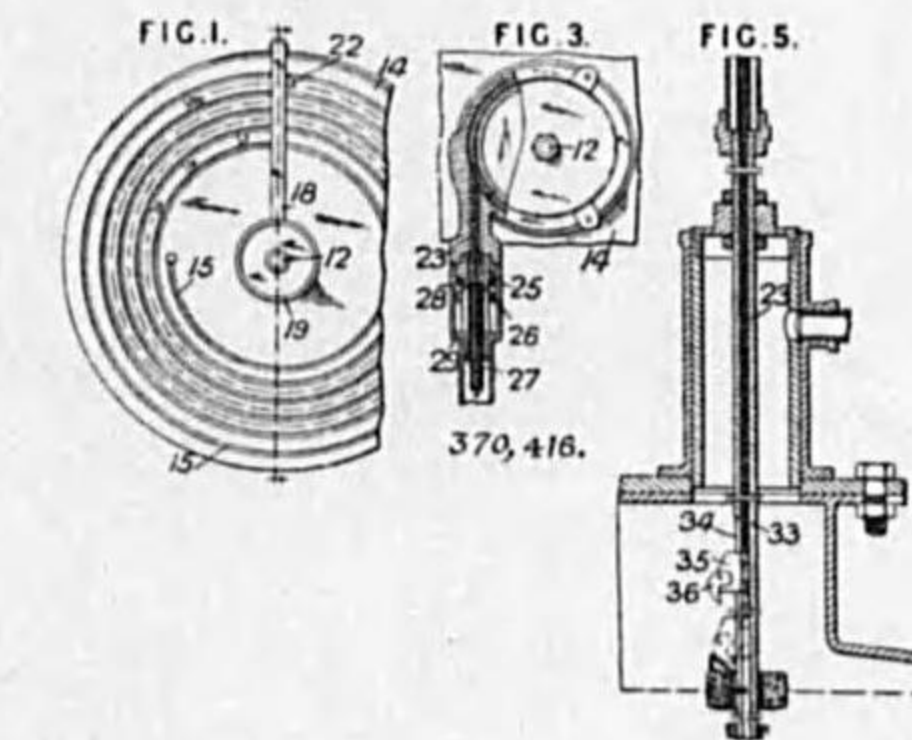
英 370416 (XIX)
(Jan. 1, 1931)

指示装置、液面指示計
Indicating apparatus;
liquid-level indicator's

發明者
Hartery, J. A. and Marriatt,
W. S. England

コレハ液面指示計デアツテ、螺線形ノ溝ヲ持ツタ目盛部分ト案
内部分ニ摺動自在ニ乗リ且ツ溝孔ニ係合シテキル指針ト、目盛部
分或ハ案内部分ヲ廻轉スル手段ト、及ビ目盛部分或ハ案内部分ニ
取付ケラレタ「ケーブル・ドラム」トヲ備ヘテキル。コノ「ケーブル」ハ、
ソレガ下方ニ動ク事ヲ止メル機構ニ接續サレテキテ、コノ降下運
動ハ、上記機構ガ、液面ニ乗ツテキ
ル浮ト協同スル時ニ起ルノデアル。

サテ圖3ニ於テ「ケーブル」23ハ、軸
12ノ周リニ廻轉スル「ドラム」ニ取付ケ
ラレ、且案内部分18ニ取付ケラレテ
キル。コノ案内部分ハ、固定圓板14
ノ面ニ接シテ廻轉スル様ニナツテキ



ル。コノ圓板ノ表面ニハ、螺線15ガ形成サレテキテ。コノ捲旋ト捲
旋ノ間ニ目盛ガツケラレテキル。指針22ハ案内部分18ノ上ヲ摺動
シ、且螺線ト係合スル突起ヲ持ツテキルノデ、案内部分ガ廻轉ス
ルト、指針ハソレニ相應シタ捲旋ノ目盛ヲ指示スルノデアル。圖
3ニ於テ、捲線ノ鞘27ハ「ケーブル」ヲ取卷イテキテ、且調節出來ル
様ニ割「スリーブ」25ノ中ニ支持サレテキル。コノ「スリーデ」ハ、内側
ニモ外側ニモねぢガ切ツテアツテ、止「ナット」26ヲ備ヘテキル。套
管28ハ柔軟座板29ヲ支持シテキテ、且「スリーブ」25ヲ取圍ンデキ
ル。「ケーブル」23ノ端ハ、爪36ヲ持ツテキル滑り子35ニ取付ケラ
レテキル。「ケーブル」ハ、爪36ガ支持33ノ齒34ト、浮ト接スル事ニ
依リ係合サセラレル迄、手動車19ニ依ツテ「ドラム」ヲ廻轉スル事ニ
依ツテ手繰リ出サレル。

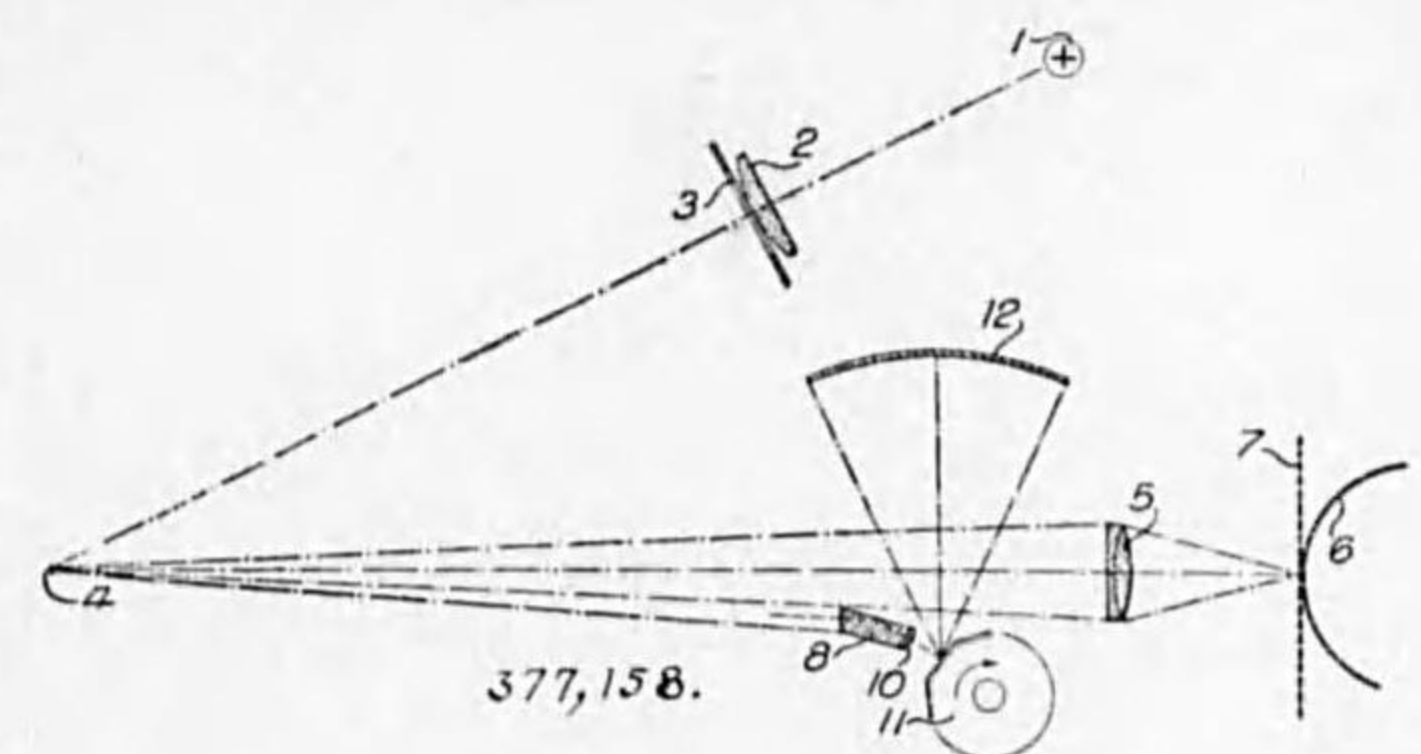
英 377158 (XIX)
(Jan. 12, 1931)

記録装置
Recording apparatus

發明者
Siemens & Halske Akt.-Ges,
Germany

寫真記録装置——コノ寫真記録装置ニ於テハ、記録曲線ガ直接
觀察サレルノデアツテ、ソノ方法トシテハ、光線ガ測定器械ノ鏡
ヲハナレル時、ソノ光線ノ一部ヲ外ラシテ觀測装置ニ持來ルノデ
アル。残りノ光線ハソ
ノマ、通過シテ寫真記
録装置ニ當テラレル。

圖ニ於テ、「ラムプ」1
カラ出タ光線ハ、「レン
ズ」2 及ビ「スリット」3 ヲ
通ツテ測定器械例ヘバ



「オツシログラフ」ノ鏡4ニアテラレル。反射サレタ光線ノ大部分ハ
「レンズ」5ヲ通ツテ感光「フィルム」或ハ廻轉筒6ニアテラレル。シ
カシ光線ノ一部分ハ、「プリズム」及ビ「レンズ」8, 9ノ合成ニ依ツテ
外ラサレ廻轉多角形鏡11ニアタリ、鏡ハコレヲ反射シテ觀測映像
面12ニアテルノデアアル。

昭和九年六月二十五日印刷

昭和九年六月三十日發行

東京市麹町區文部省內
發行者 波 多 野 貞 夫

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷者 島 連 太 郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所 三 秀 舍

東京市麹町區文部省內
發行所 日 本 學 術 振 興 會

終